



HIC-SB200/SB210

HIC-SD200/SD210

取扱説明書

HYTEC INTER Co., Ltd.

第 4 版

ご注意

- 本書の中に含まれる情報は、当社（ハイテクインター株式会社）の所有するものであり、当社の同意なしに、全体または一部を複製または転載することは禁止されています。
- 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一、ご不審な点や誤り、記載漏れなどのお気づきの点がありましたらご連絡ください。

改版履歴

第1版	2021年03月30日	新規作成
第2版	2022年10月21日	HIC-SB200/SB210/SD200/SD210 バージョン 5.1.1 対応
第3版	2023年7月11日	OSD 注意事項追記
第4版	2024年9月26日	ご使用上の注意事項 見直し

ご使用上の注意事項

- 本製品及び付属品をご使用の際は、取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
- 本製品は、一般事務用、通常の産業等の一般的用途を想定した製品であり、ハイセイフティ用途*での設備や機器としての使用またはこれらに組込んでの使用は意図されておりません。これらの設備や機器、システムなどに本製品を使用され、本製品の故障等により、人身事故、火災事故、社会的な損害が生じても当社はいかなる責任も負いかねます。お客様が、本製品をハイセイフティ用途に使用される場合は、必要な安全性を確保する措置を施す等十分な配慮をお願いします。
 - *：極めて高度な信頼性や安全性が要求され、機器の故障、誤動作により、信頼性や安全性が確保されない場合、生命、身体や財産等に損害を及ぼす恐れがある用途
- 本製品及び付属品を分解したり改造したりすることは絶対に行わないでください。
- 本製品及び付属品の故障、誤動作、不具合、あるいは天災、停電等の外部要因によって、通信などの機会を逸したために生じた損害等の純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品及び付属品は、改良のため予告なしに仕様が変更される可能性があります。あらかじめご了承ください。
- 本製品を掃除する時は、柔らかい乾いた布で汚れをふき取ってください。汚れがひどい場合は、中性洗剤をご使用ください。
- 太陽光などの非常に明るい被写体にカメラを向けるのは避けてください。イメージセンサが損傷する可能性があります。
- 本製品を使用する場合、Microsoft、Apple、Googleの関連コンテンツが含まれます。本ユーザーマニュアルの写真とスクリーンショットは、当社製品の使用方法を説明するためだけに使用しています。Microsoft、Apple、Googleに関連する商標、ロゴおよびその他知的財産の所有権は、上記の企業に帰属するものとします。
- 本ユーザーマニュアルは多くのモデルに対応しています。一部のモデルでは機能がなく、使用できないメニューや表示されないメニューがあります。また、本ユーザーマニュアルで使用されている例と画像はHIC-SB200を元に作成しており、ご利用のモデルの画面とは異なる場合があります。

免責事項

- インターネットにアクセスできる製品に関しては、製品の使用は完全にお客様自身の責任で行われるものとします。当社は、サイバー攻撃、ハッカー攻撃、ウイルス検査、その他のインターネットセキュリティリスクにより生じた異常動作、プライバシー漏えいその他の損害について、一切責任を負わないものとしますが、必要に応じてタイムリーな技術サポートを提供します。
- 監視法は国によって異なります。監視目的で本製品を使用する前に、お住まいの地域のすべての法律を確認してください。私たちは、違法な操作によって生じるいかなる結果についても責任を負いません。

サイバーセキュリティに関する推奨事項

- 強力なパスワードを使用します。パスワードには、少なくとも 8 文字、または文字、数字、大文字と小文字の組み合わせを使用する必要があります。
- デバイスのパスワードを定期的に変更して、承認されたユーザのみが system にアクセスできるようにします（推奨時間は 90 日です）。
- サービスのデフォルトポート(HTTP-80、HTTPS-443など)を変更して、部外者がアクセスできるリスクを軽減することをお勧めします。
- ルータのファイアウォールを設定することをお勧めします。しかし、いくつかの重要ポート(HTTPポート、HTTPSポート、データポートなど)は閉じることができません。
- デバイスを直接公衆ネットワークに接続することはお勧めしません。公衆ネットワークに接続する必要がある場合は、ルータを介しそれに対応するファイアウォールポリシーを設定してください。
- SNMP の v1 および v2 機能を使用することは推奨されません。
- WEBクライアントアクセスのセキュリティを強化するために、HTTPSを有効にするTLS証明書を作成してください。
- ブラックリストとホワイトリストを使用してIPアドレスをフィルタリングします。これにより、指定された IP アドレスを除くすべての人がシステムにアクセスできなくなります。
- 複数のユーザを追加する場合は、ゲストアカウントの機能を制限してください。
- UPnP を有効にすると、ルータまたはモデムのポートの転送が自動的に試行されます。ユーザにとっては便利な機能ですが、システムが自動的にポートを転送するためデータ漏洩のリスクが高まります。UPnP機能を必要としない場合は、無効に設定することをお勧めします。
- ログを確認してください。権限のないユーザによってデバイスがアクセスされたかどうかを知りたい場合は、ログで確認できます。システムログには、システムのログインに使用された IP アドレスとアクセスされた IP アドレスが表示されます。

規制情報

電波障害自主規制について

この装置は、クラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。 VCCI-A



RoHS

製品は、電気および電子機器における特定の有害物質の使用の制限に関する指令 EU RoHS 指令 2011/65/EU および修正指令 EU 2015/863 に従って設計され、製造されています。

2012/19/EU(WEEE 指令): 廃電・電子機器に関する指令(WEEE 指令)。WEEE の環境管理を改善するためには、寿命の末に電子機器の回収、処理、リサイクルの改善が不可欠です。したがって、この記号でマークされた製品は、責任ある方法で廃棄する必要があります。

指令 94/62/EC: この指令は、包装および包装廃棄物および環境保護の管理を目的としています。本書に記載されている製品の包装・包装廃棄物は、適切なリサイクルと環境保護のために、指定された収集ポイントで廃棄する必要があります。

REACH(EC1907/2006): REACH は化学物質の固有特性をより適切かつ早期に同定することで、人の健康と環境の高いレベルの保護を確保することを目的とした化学物質の登録、評価、認可、制限に関するものです。本書の製品は、REACH の規則および規則に準拠しています。REACH の詳細については、**DG GROWTH** または **ECHA** のウェブサイトをご覧ください。

安全上のご注意

安全に正しくお使いいただくために

ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みの上、正しくお使いください。
お読みになった後はいつでも見られる所に保管してください。

尚、本書は HIC-SB200/SB210/SD200/SD210 4機種をまとめたマニュアルとなっています。メニューは全て HIC-SB200 の画面を採用し、ファームウェアバージョンは、5.1.1.0 (36291) で作成しています。

絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。

その表示と意味は次のようになっています。

内容をよく理解してから本文をお読みください。

お買い上げになった機器に当てはまらない注意事項もありますが、ご了承ください。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。



○記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

使用上の注意



警告



- **本機に乗らない！**
倒れたり、こわれたりしてけがの原因になることがあります。



- **本機の上に重いものを置かない！**
バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因になることがあります。



- **移動させる場合は、必ず電源スイッチを切り、プラグを抜き、機器間の接続ケーブルをはずす！**
コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



- **長期間使用しないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜く！**
火災の原因となることがあります。



- **専用 AC アダプタ以外は使用しない！**
定格外の AC アダプタを使用すると、火災・感電の原因になることがあります。



- **電源コードを傷つけない！ 加工しない！ 無理に曲げない！ ねじらない！ 引っ張らない！ 加熱しない！**
コードが破損して火災・感電の原因となります。




- **雷が鳴り出したら、同軸コネクタ/ケーブルや電源プラグに触れない！**
感電の原因になります。





- **指定された消費電力 (W) を越える装置は接続しない！**
火災の原因となります。本機の AC アウトレットが供給できる電力 (W) は AC アウトレット付近または取扱説明書に表示してあります。




- **レンズで太陽・照明などをのぞかない！**
強い光が目にあたると視力障害を起こすことがあります。


 ● **本機のケース・裏パネル等はずさない!**
内部には高圧の部分があり、感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店または営業マンにご依頼ください。





 ● **本機の上に水などの入った容器を置かない!**
こぼれて中に入ると、火災・感電の原因になります。

 ● **風呂、シャワー室などの水場では使用しない!**
火災・感電の原因となります。

 ● **本機の上に小さな金属物を置かない!**
中に入ると、火災・感電の原因となります。

 ● **表示された電源電圧以外は使用しない!**
火災・感電の原因となります。

 ● **本機に水を入れたり、濡らしたりしない!**
火災・感電の原因になります。
雨天・降雪中・海岸・水辺での使用は特にご注意ください。


 ● **本機の開口部から金属物や燃えやすいものなどの異物を差し込まない! 落とし込まない!**
火災・感電の原因となります。


 ● **本機を改造しない!**
火災・感電の原因となります。

設置について



警告

 ● **不安定な場所に置かない!**
落ちたり、倒れたりして、けがの原因になります。

 ● **電源コードの上に重いものを置かない! 本機の下敷きにしない!**
コードが傷ついて、火災・感電の原因になります。コードの上を敷物などで覆うと、それに気付かず、重い物をのせてしまうことがあります。



- **水場に設置しない！**
火災・感電の原因となります。



- **指定された機器以外とは接続しない！**
火災・感電の原因となります。



- **本機の固定は工事専門業者に依頼を！**
本機を固定する場合は、指定された方法できちんと固定しないと、落ちたり、倒れたりして、火災・感電・けがの原因になります。特に、壁や天井に固定する場合は、必ず工事専門業者にご依頼ください。なお、取付け費用については、販売店または営業マンにご相談ください。



- **湿気やほこりの多い場所に置かない！**
火災・感電の原因となることがあります。



- **調理台や加湿器のそばなど油煙や湿気が当たる場所に置かない！**
火災・感電の原因となることがあります。



- **本機の通風孔をふさがない！**
通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。次のような使い方はしないでください。
 - ・本機を仰向けや横倒し、逆さまにする。風通しの悪い狭い所に押し込む。
 - ・じゅうたんや布団の上に置く。テーブルやクロスなどを掛ける。



- **電源コードを熱器具に近づけない！**
コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。



- **電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない！**
コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。



- **濡れた手で電源プラグを抜き差ししない！**
感電の原因となることがあります。

異常時の処理について



警告



- 煙が出ている、変なおいや音がするなどの異常状態の場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグを抜く！



そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
煙が出なくなるのを確認して、販売店または営業マンに修理をご依頼ください。
お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。



- 本機の内部に水などが入った場合は、電源スイッチを切り、電源プラグを抜く！



そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
販売店または営業マンにご連絡ください。



- 本機の内部に異物が入った場合は、電源スイッチを切り、電源プラグを抜く！



そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
販売店または営業マンにご連絡ください。



- 本機が故障した場合は、電源スイッチを切り、電源プラグを抜く！



そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
販売店または営業マンに修理をご依頼ください。



- 本機を落としたり、ケースが破損した場合は、電源スイッチを切り、電源プラグを抜く！



そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
販売店または営業マンにご連絡ください。



- 電源コードが傷んだ（芯線の露出・断線など）場合は、交換を依頼する！

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
販売店または営業マンに交換をご依頼ください。

お手入れについて



注意



- **お手入れの際は安全のため、スイッチを切り電源プラグを抜く！**
感電の原因となることがあります。



- **一年に一度くらいは、販売店または営業マンに内部の掃除の相談を！**
本機の内部にほこりがたまったまま使用し続けると、火災・故障の原因になることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行くと、より効果的です。
なお、掃除費用については販売店または営業マンにご相談ください。

**注意**

本パッケージに含まれる内容に損傷、不足、不適當なものがあつた場合、お住まいの地域の販売店までご連絡ください。本製品の不正改造を行うと保証の対象外となります。

その他

**通知**

- 本書に記載された情報は予告なしに変更される場合があります。
- 本書に含まれる情報は、あくまで参考用とみなされます。

**通知**

- インターネットを経由する機能については、お客様のインターネット環境に合わせた設定が必要です。
- お客様のインターネット環境の変更が必要となる場合もあります。

目次

1. はじめに	15
1.1 製品概要	15
1.2 特徴.....	15
1.3 監視アプリケーション.....	16
1.4 梱包物一覧	17
1.5 製品外観	18
1.6 カメラの設置	22
2. ネットワーク接続	29
2.1 LAN	29
2.1.1 IP-Tool によるアクセス	29
2.1.2 IE へ直接アクセス	32
2.2 WAN	33
2.2.1 ルータまたは仮想サーバを介したアクセス	33
2.2.2 静的 IP によるアクセス	34
3. ライブ画面	35
4. 設定ホーム	38
4.1 システム設定.....	39
4.1.1 基本情報	40
4.1.2 日付と時間	41
4.1.3 ローカル設定.....	43
4.1.4 ストレージ	44
4.2 画像設定	51
4.2.1 画質調整	52
4.2.2 映像/音声.....	56
4.2.3 OSD	58
4.2.4 プライバシーマスク	59
4.2.5 ROI	60
4.2.6 レンズの調整.....	61
4.3 アラーム設定	62
4.3.1 モーション検出	63

4.3.2	異常	69
4.3.3	アラーム入力	73
4.3.4	アラーム接点出力	74
4.3.5	アラームサーバ	77
4.4	イベント設定	78
4.4.1	物体検知（物体出現・消失検知）	79
4.4.2	妨害検知	82
4.4.3	ラインクロス（ライン超え検知）	84
4.4.4	領域に入る（エリア侵入検知）	88
4.4.5	領域を出る（エリア退出検知）	92
4.4.6	ターゲットカウント（ライン通過カウント）	96
4.4.7	地域統計（エリア内滞留カウント）	101
4.4.8	エリア侵入検知（エリア内活動検知）	105
4.4.9	顔検出	109
4.4.10	ヒートマップ	115
4.5	ネットワーク	118
4.5.1	TCP/IP	119
4.5.2	ポート	122
4.5.3	サーバ	123
4.5.4	ONVIF	124
4.5.5	DDNS	125
4.5.6	SNMP	128
4.5.7	802.1X	131
4.5.8	RTSP	132
4.5.9	RTMP	133
4.5.10	UPnP	134
4.5.11	Email	135
4.5.12	FTP	138
4.5.13	HTTP POST	140
4.5.14	HTTPS	141
4.5.15	QoS	144
4.6	セキュリティ設定	145
4.6.1	ユーザー	145
4.6.2	オンラインユーザ	149
4.6.3	ブロックと許可リスト	150
4.6.4	セキュリティ管理	151

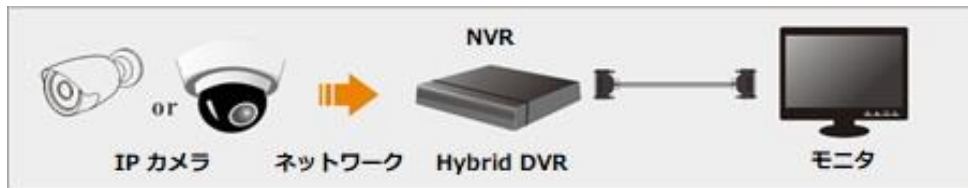
4.7	メンテナンス	154
4.7.1	バックアップと復元.....	155
4.7.2	再起動	157
4.7.3	アップグレード.....	158
4.7.4	操作ログ	159
5.	チャート	160
5.1	ターゲットカウント.....	160
5.2	ヒートマップ	162
5.3	地域統計	163
6.	検索.....	165
6.1	録画検索	166
6.1.1	ローカル録画（動画）	166
6.1.2	SDカード録画（動画）	167
6.2	画像検索	169
6.2.1	ローカル画像（静止画）	169
6.2.2	SDカード画像（静止画）	170
7.	製品仕様.....	171
8.	困ったときには	177
9.	製品保証.....	185

1.3 監視アプリケーション

カメラとコンピュータを LAN で接続



カメラと NVR などの録画装置を接続



カメラと CMS など監視ソフトウェアと接続



1.4 梱包物一覧

ご使用いただく前に本体と付属品を確認してください。万一、不足の品がありましたら、お手数ですがお買い上げの販売店までご連絡ください。

●HIC-SB200

名 称	数 量
本体	1 台
ネジ、アンカー（各 4 本）	1 式
ネジ（M3）	1 本
レンチ	1 本
ドリルテンプレート	1 枚
CVBS&DC 入力ケーブル	1 本

●HIC-SB210

名 称	数 量
本体	1 台
ネジ、アンカー（各 4 本）	1 式
ネジ（M3）	1 本
ゴムプラグ	1 個
ドリルテンプレート	1 枚

●HIC-SD200

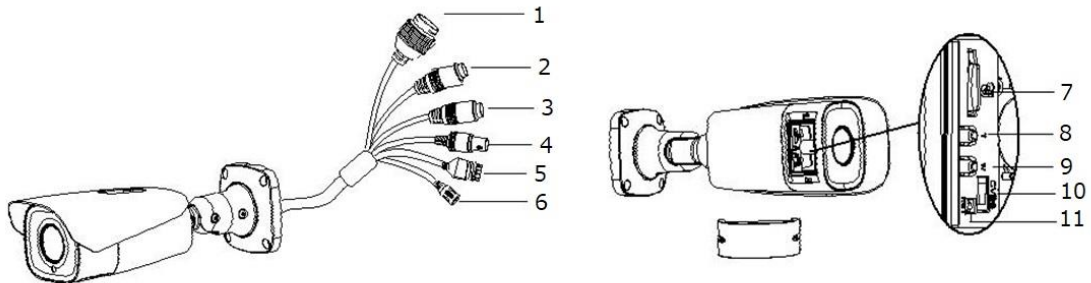
名 称	数 量
本体	1 台
ネジ、アンカー（各 4 本）	1 式
レンチ	1 本
ゴムプラグ	1 個
ドリルテンプレート	1 枚
CVBS&DC 入力ケーブル	1 本

●HIC-SD210

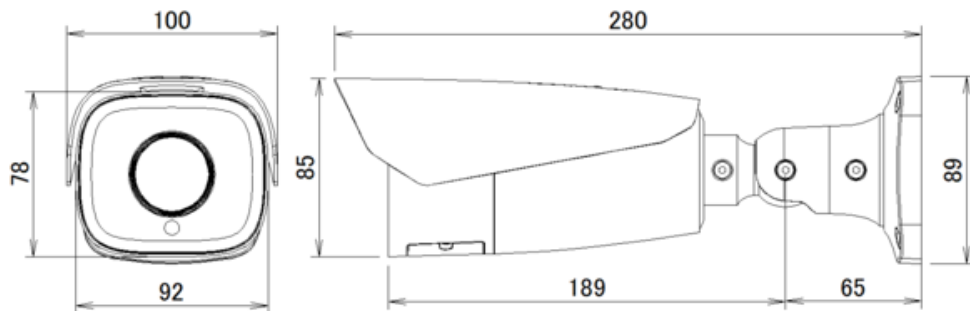
名 称	数 量
本体	1 台
ネジ、アンカー（各 4 本）	1 式
レンチ	1 本
ゴムプラグ	1 個
ドリルテンプレート	1 枚

1.5 製品外観

● バレットカメラ HIC-SB200

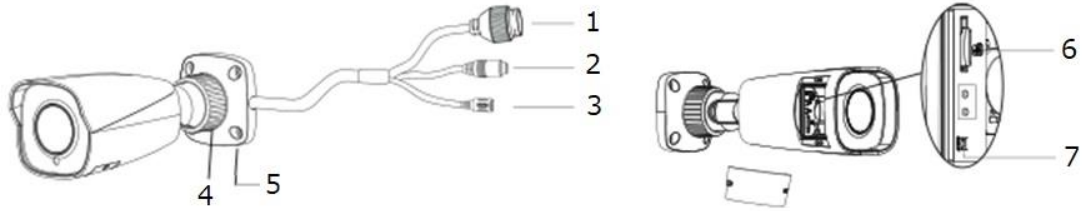


#	表示	説明
1	Ethernet	LAN ケーブル接続(10Mbps/100Mbps) ※PoE 対応
2	MIC	オーディオ入力 (LINE)
3	HP	オーディオ出力
4	VIDEO	ビデオ出力 (CVBS)
5	ALARM	アラームの入力/出力 1 : ALARM COM、2 : ALARM OPEN 3 : ALARM INA、4 : ALARM GND
6	POWER	DC12V 入力
7	SD カードスロット	メモ리카ード (Micro SD/SDHC/SDXC) をスロットに挿入 SD カードに録画、スナップショットの保存を行います。
8	T	ズームイン (望遠)
9	W	ズームアウト (広角)
10	CVBS	付属品の CVBS & DC 入力ケーブルを接続します。
11	リセット	リセットボタン

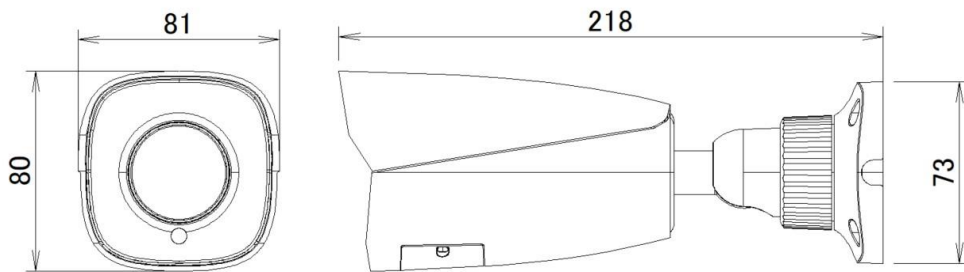


単位 : mm

● ミニバレットカメラ HIC-SB210

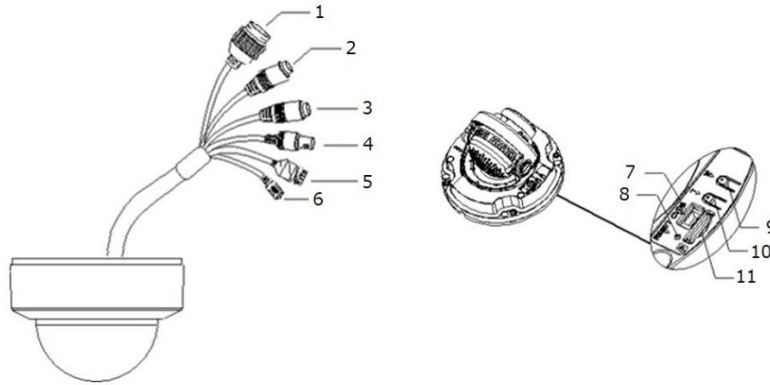


#	表示	説明
1	Ethernet	LAN ケーブル接続(10Mbps/100Mbps) ※PoE 対応
2	MIC	オーディオ入力 (LINE)
3	POWER	DC12V 入力
4	Fixed Ring	固定リング
5	Mounting Base	壁または天井に取付けるベース部分
6	SD カードスロット	メモ리카ード (Micro SD/SDHC/SDXC) をスロットに挿入 SD カードに録画、スナップショットの保存を行います。
7	リセット	リセットボタン

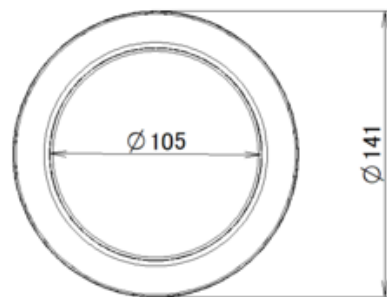
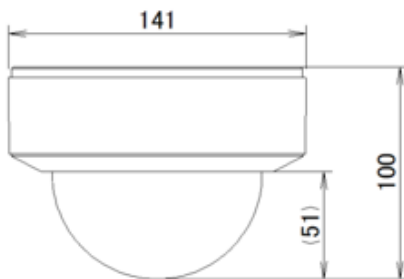


単位:mm

● バンダルドームカメラ HIC-SD200

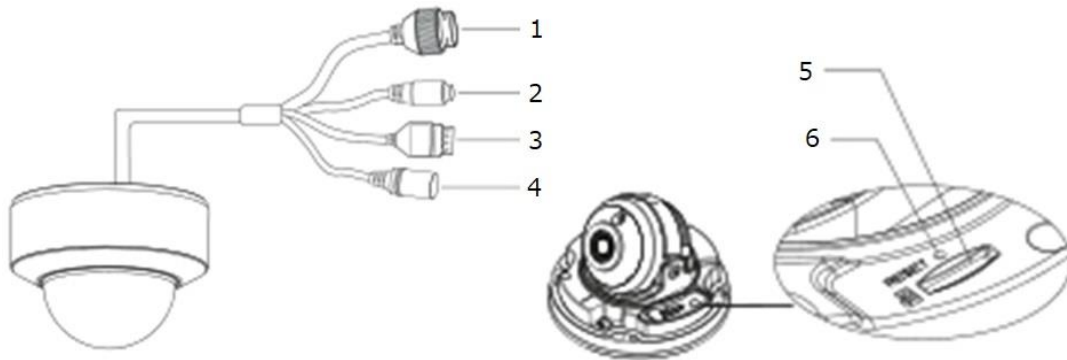


#	表示	説明
1	Ethernet	LAN ケーブル接続(10Mbps/100Mbps) ※PoE 対応
2	MIC	オーディオ入力 (LINE)
3	HP	オーディオ出力
4	VIDEO	ビデオ出力 (CVBS)
5	ALARM	アラームの入力/出力 1 : ALARM COM、2 : ALARM OPEN 3 : ALARM INA、4 : ALARM GND
6	POWER	DC12V 入力
7	CVBS	付属品の CVBS & DC 入力ケーブルを接続します。
8	リセット	リセットボタン
9	W	ズームアウト (広角)
10	T	ズームイン (望遠)
11	SD カードスロット	メモ리카ード (Micro SD/SDHC/SDXC) をスロットに挿入 SD カードに録画、スナップショットの保存を行います。

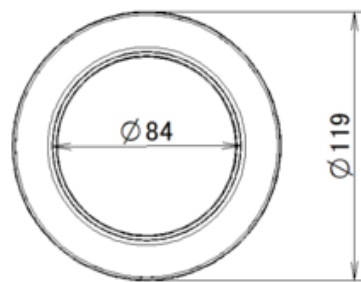
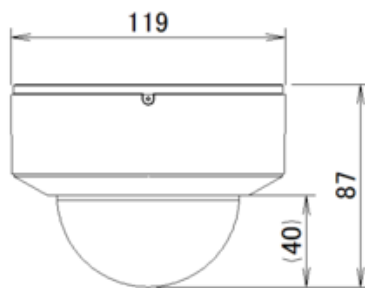


単位 : mm

● ミニバンダルドームカメラ HIC-SD210



#	表示	説明
1	Ethernet	LAN ケーブル接続(10Mbps/100Mbps) ※PoE 対応
2	MIC	オーディオ入力 (LINE)
3	ALARM	アラームの入力/出力 1 : ALARM COM、2 : ALARM OPEN 3 : ALARM INA、4 : ALARM GND
4	POWER	DC12V 入力
5	SD カードスロット	メモ리카ード (Micro SD/SDHC/SDXC) をスロットに挿入 SD カードに録画、スナップショットの保存を行います。
6	リセット	リセットボタン



単位 : mm

1.6 カメラの設置

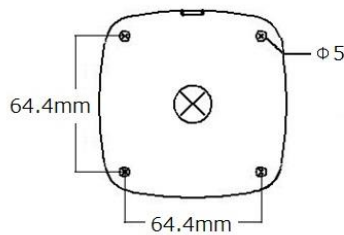
本製品の設置方法について説明します。以下の注意点をご確認の上、設置してください。

- 注 1** 壁または天井がカメラの 3 倍の重量に耐えられる強度であることを確認してください。
- 注 2** カメラは乾燥した場所に設置してください。下部ドームまたはカバーを取り外してから 4 時間以内に元に戻してください。
- 注 3** 取り付けが完了するまで保護フィルムを剥がさないでください。

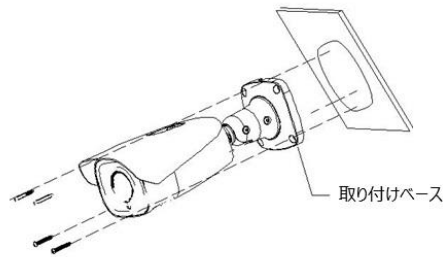
● バレットカメラ HIC-SB200

- ① カメラを設置する場所に、付属品の「ドリル用テンプレート」を貼りつけます。

テンプレートに従ってねじ穴 4 つと、ケーブル穴 1 つ(ケーブルを天井に通す場合)を開けます。[図-1]

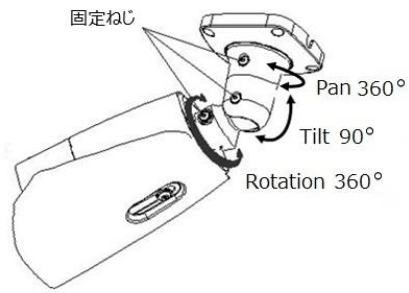


[図-1]

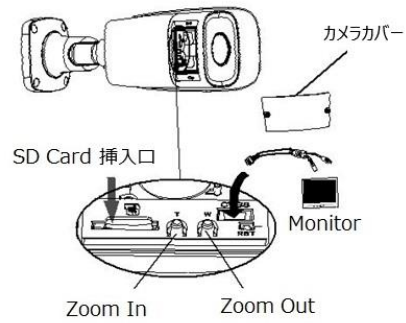


[図-2]

- ② 付属品の取り付けねじで、取り付けベースを天井または壁に固定します。[図-2]
- ③ モニタを接続し、カメラ映像を表示できます。付属品の六角棒スパナで固定ねじを緩めてから、Pan / Tilt / Rotation で角度を調整します。調整後は、固定ねじをしっかり締めます。[図-3]

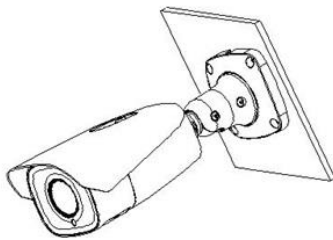


[図-3]



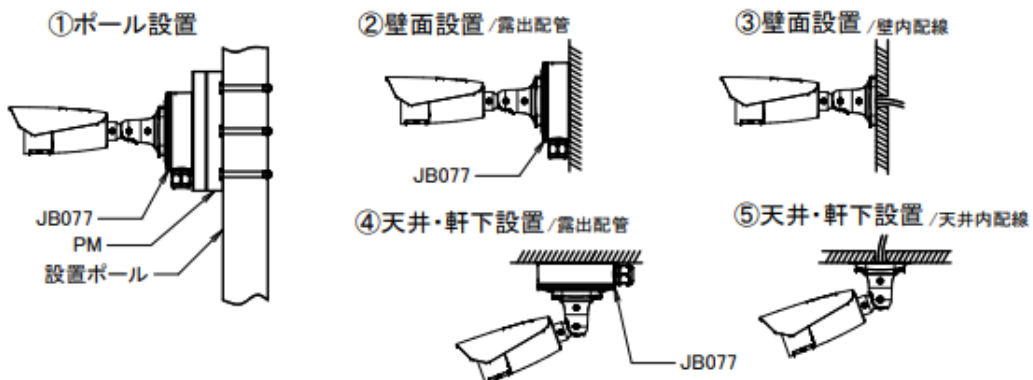
[図-4]

- ④ カメラカバーを開き、Micro SD カードを挿入します。T または W で、カメラのズームとフォーカスを調整します。[図-4]
- ⑤ カメラカバーを取り付け、ねじで固定します。最後に保護フィルムを剥がすと設置完了です。[図-5]



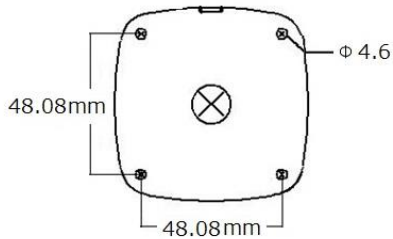
[図-5]

壁面などに設置する場合は、取り付け金具を使用します。

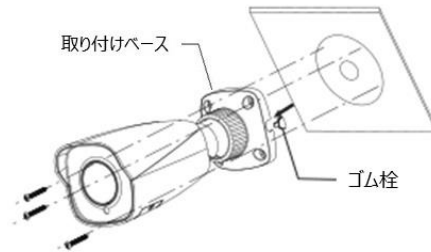


● ミニバレットカメラ HIC-SB210

- ① カメラを設置する場所に、付属品の「ドリル用テンプレート」を貼りつけます。
 テンプレートに従ってねじ穴 4 つと、ケーブル穴 1 つ(ケーブルを天井に通す場合)を開けます。[図-1]

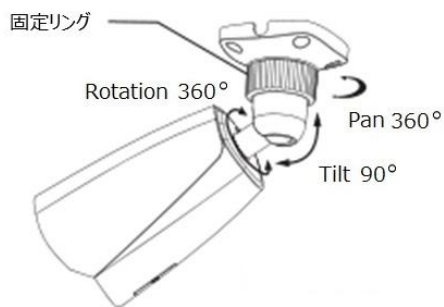


[図-1]

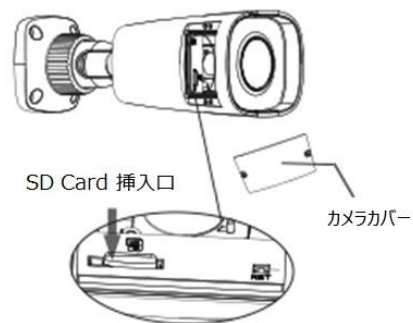


[図-2]

- ② 付属品の取り付けねじで、取り付けベースを天井または壁に固定します。[図-2]
- ③ 固定リングを緩めてから、Pan / Tilt / Rotation で角度を調整します。調整後は、固定リングをしっかり締めます。[図-3]

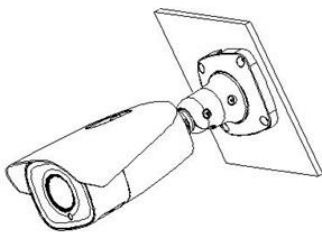


[図-3]



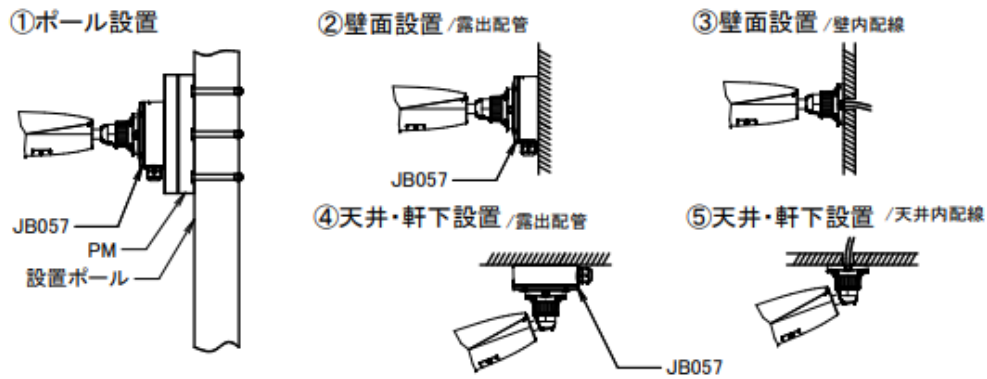
[図-4]

- ④ カメラカバーを開き、Micro SD カードを挿入します。[図-4]
- ⑤ カメラカバーを取り付け、ねじで固定します。最後に保護フィルムを剥がすと設置完了です。[図-5]



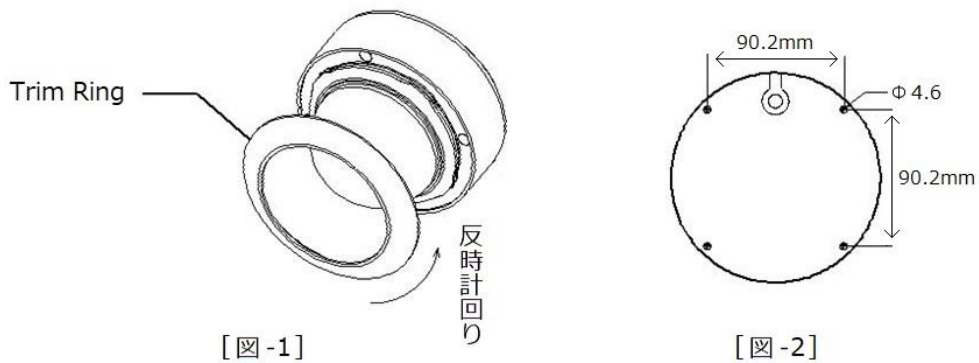
[図-5]

壁面などに設置する場合は、取り付け金具を使用します。



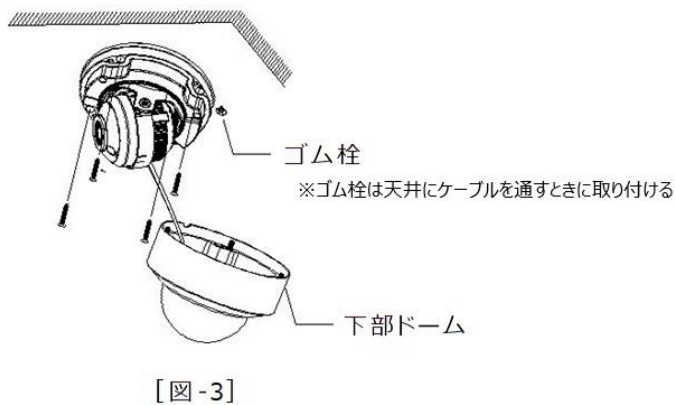
● バンダルドームカメラ HIC-SD200

- ① Trim Ring(黒枠)を反時計回りにまわして、カメラから取り外します。[図-1]

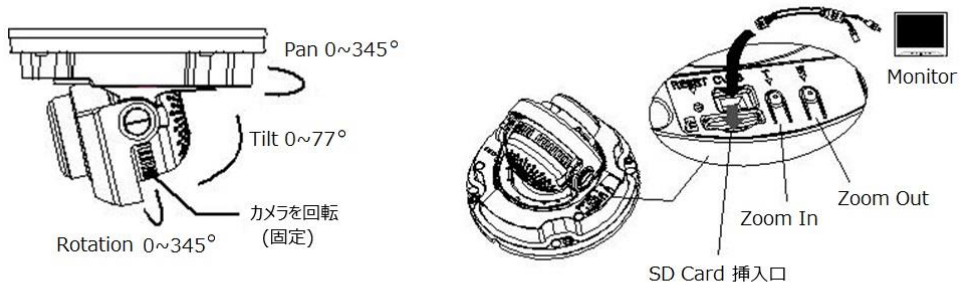


- ② カメラを設置する場所に、付属品の「ドリル用テンプレート」を貼りつけます。
テンプレートに従ってねじ穴 4 つと、ケーブル穴 1 つ(ケーブルを天井に通す場合)を開けます。[図-2]

- ③ 六角棒スパナでねじを緩め、下部ドームを開きます。付属品の取り付けねじで、天井または壁にカメラを固定します。[図-3]



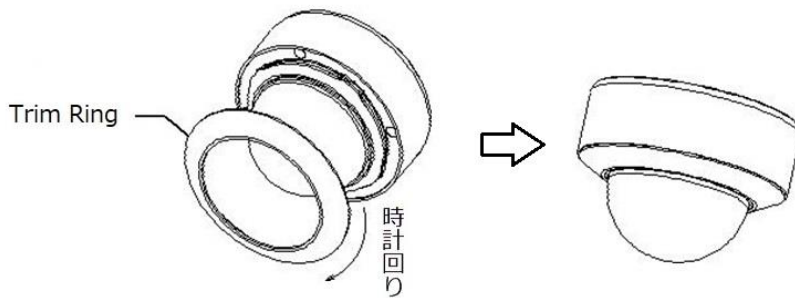
- ④ モニタを接続し、カメラ映像を表示できます。Pan / Tilt / Rotation で角度を調整します。[図-4]



[図-4]

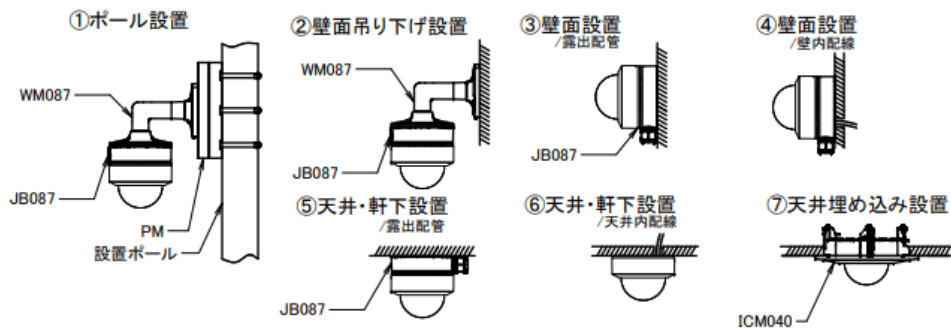
[図-5]

- ⑤ Micro SD カードを挿入します。T または W で、カメラのズームを調整します。[図-5]
- ⑥ 下部ドームをカメラに取り付け、六角棒スパナでねじを固定します。
- ⑦ Trim Ring(黒枠)を下部ドームに置いて、ロックされるまで時計回りにまわします。[図-6]
最後に保護フィルムを剥がすと、設置完了となります。



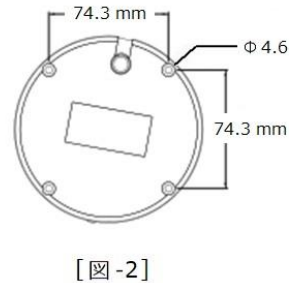
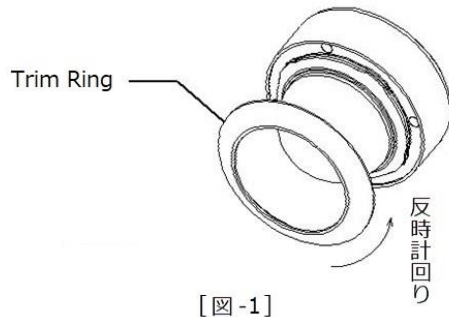
[図-6]

壁面などに設置する場合は、取り付け金具を使用します。



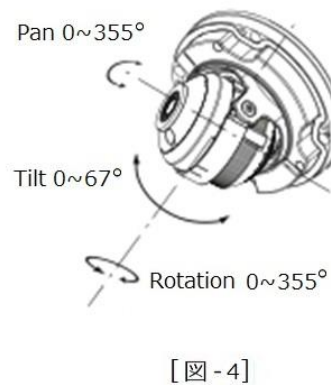
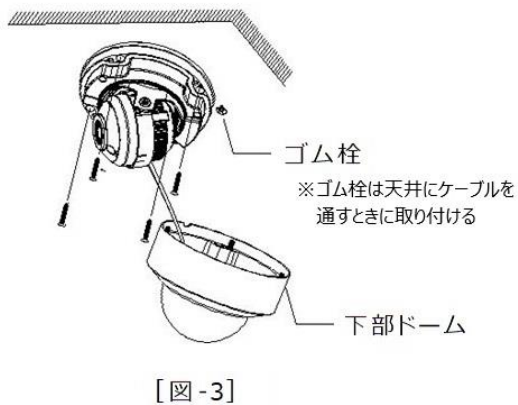
● ミニバンダルドームカメラ HIC-SD210

- ① Trim Ring(黒枠)を反時計回りにまわして、カメラから取り外します。[図-1]

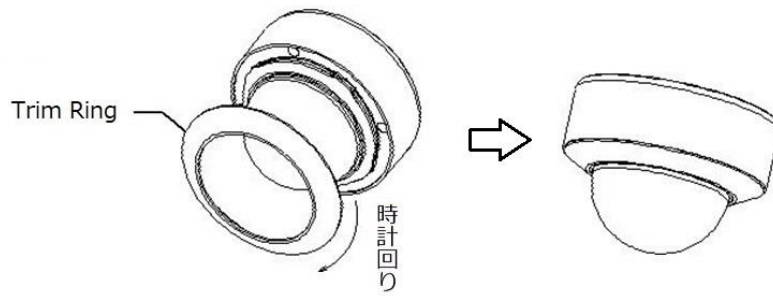


- ② カメラを設置する場所に、付属品の「ドリル用テンプレート」を貼りつけます。
テンプレートに従ってねじ穴 4 つと、ケーブル穴 1 つ(ケーブルを天井に通す場合)を開けます。[図-2]

- ③ 六角棒スパナでねじを緩め、下部ドームを開きます。付属品の取り付けねじで、天井または壁にカメラを固定します。[図-3]

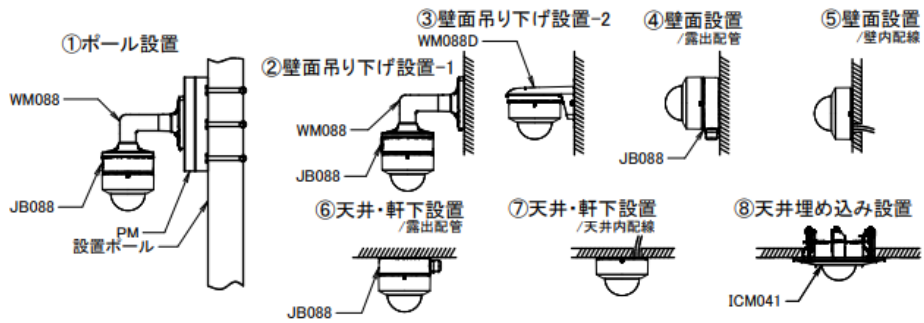


- ④ Pan / Tilt / Rotation で角度を調整します。[図-4]
- ⑤ 下部ドームをカメラに取り付け、六角棒スパナでねじを固定します。
- ⑥ Trim Ring(黒枠)を下部ドームに置いて、ロックされるまで時計回りにまわします。[図-5]
最後に保護フィルムを剥がすと、設置完了となります。



[図-5]

壁面などに設置する場合は、取り付け金具を使用します。



2. ネットワーク接続

LAN または WAN 経由で IP カメラを接続します。詳細は次のとおりです。

2.1 LAN

LAN では、IP カメラへのアクセス方法は 2 つあります。

2.1.1 IP-Tool によるアクセス

ネットワーク接続：




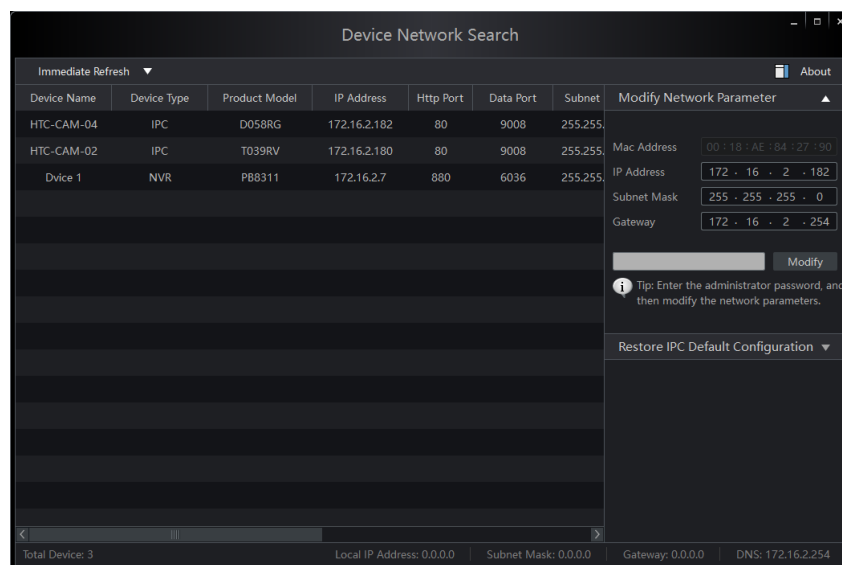
以下の手順で行います。

- ① IP-Tool を PC(コンピュータ)にインストールしておきます。

IP-Tool のダウンロードは以下 URL からお願いします。(他のカメラのリンク先の IP-Tool でも使えます。)

<https://hytec.co.jp/products/video/hic-sd200.html>

- ② PC と IP カメラが LAN で接続されていることを確認します。
- ③ デスクトップ上にある IP-Tool アイコン  をダブルクリックすると、以下のように動作します。



- ④ IP アドレスを変更します。本機のデフォルト IP アドレスは 192.168.226.201 です。リストのカメラをクリックすると、右手にネットワーク情報を表示します。ネットワークアドレスがコンピュータのローカルネットワークセグメントと同じであることを確認します。同じでない場合は、カメラの IP アドレスとゲートウェイを変更する必要があります。

例：コンピュータの IP アドレスが 172.16.2.4 である場合、カメラの IP アドレスを 172.16.2.X に設定します。変更後、管理者のパスワードを入力し、[Modify]ボタンをクリックして変更します。

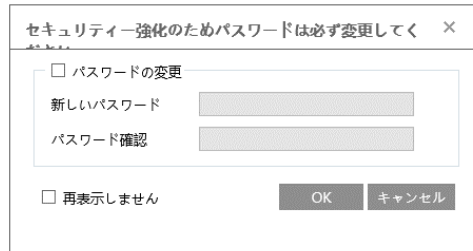
管理者のデフォルトパスワードは“**123456**”です。（カメラの管理者パスワードです。）

- ⑤ リスト内のカメラをダブルクリックすると、IE ブラウザがポップアップして IP カメラに接続します。指示に従い、該当するプラグインをインストールして実行します。※プラグインを自動的にダウンロード後、インストールする直前で IE ブラウザを閉じてからインストールします。閉じないでインストールするとプラグインのインストールに失敗する場合があります。失敗したときは再度インストールを試みてください。

名前とパスワードを入力します。言語は日本語を選択し、ログインします。

デフォルトの名前は“**admin**”、デフォルトパスワードは“**123456**”です。
カメラのバージョンが **5.1.1** の場合、Edge の IE モードでもアクセスができます。

- ⑥ デフォルトのパスワード変更を要求されます。セキュリティのために、デフォルトパスワードの変更をお勧めします。パスワードを変更する場合は、[パスワードの変更]にチェックを入れ、新しいパスワードを入力します。変更しない場合は、そのまま[OK]をクリックします。[再表示しません]にチェックを入れると、次回からこのメッセージは表示されません。



セキュリティ強化のためパスワードは必ず変更してください ×

パスワードの変更

新しいパスワード

パスワード確認

再表示しません

OK キャンセル

ログインが成功しプラグインのインストールに成功しているとカメラのライブ画像を表示することができます。※画像表示するときプラグインのインストールは必須です。

カメラのバージョンが 5.1.1 の場合、Edge の IE モードでもアクセスができます。

2.1.2 IE へ直接アクセス

デフォルトネットワーク設定を表示します。カメラに初めてログインするときは、下記のデフォルト設定を使用してください。

IP アドレス : 192.168.226.201	サブネットマスク : 255.255.255.0
ゲートウェイ : 192.168.226.1	HTTP ポート : 80
データポート : 9008	

LAN ケーブルを使用して、カメラとコンピュータを直接接続します。



- ① PC の IP アドレスを手動で設定し、IP カメラのデフォルト設定と同じネットワークセグメントにする必要があります。コントロールパネルを開き、ネットワークと共有センター ⇒ アダプタの設定の変更 ⇒ イーサネットを開きます。(例 : Windows10)
- ② イーサネットのプロパティから[インターネット プロトコルバージョン 4(TCP/IPv4)]を開きます。PC の IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、DNS サーバを入力し、[OK]をクリックします。
- ③ IE ブラウザを開き、IP カメラのデフォルト IP アドレスを入力します。
- ④ 指示に従い、該当するプラグインをインストールして実行します。※プラグインを自動的にダウンロード後、インストールする直前で IE ブラウザを閉じてからインストールします。閉じないでインストールするとプラグインのインストールに失敗する場合があります。失敗したときは再度インストールを試みてください。
- ⑤ ログイン画面で名前とパスワードを入力します。言語は日本語を選択し、ログインします。

デフォルトの名前は **“admin”**、デフォルトパスワードは **“123456”** です。

カメラのバージョンが 5.1.1 の場合、Edge の IE モードでもアクセスができます。

2.2 WAN

WAN では、IP カメラへのアクセス方法は 2 つあります。

2.2.1 ルータまたは仮想サーバを介したアクセス

ネットワーク接続：



- ① カメラがローカルネットワークで接続されていることを確認し、LAN 経由でカメラにログインします。
- ② 設定>ネットワーク>ポートメニュー(4.5.2 **ポート**)に移動して、ポート番号を設定します。

HTTPポート	<input type="text" value="80"/>
HTTPSポート	<input type="text" value="443"/>
データポート	<input type="text" value="9008"/>
RTSPポート	<input type="text" value="554"/>
ロングポーリングポート	<input type="text" value="8080"/> <input checked="" type="checkbox"/> 有効
WebSocketポート	<input type="text" value="7681"/>

- ③ 設定>ネットワーク>TCP/IP メニュー(4.5.1 **TCP/IP**)に移動して、IP アドレスを設定します。
[以下の IP アドレスを使う]を選択し、IP アドレスなどのパラメータを入力します。

IPv4	IPv6	PPPoE設定	IP変更通知設定
<input type="radio"/> 自動的にIPアドレスを取得する			
<input checked="" type="radio"/> 以下のIPアドレスを使う			
IPアドレス	<input type="text" value="192.168.226.201"/>	<input type="button" value="テスト"/>	
サブネットマスク	<input type="text" value="255.255.255.0"/>		
ゲートウェイ	<input type="text" value="192.168.226.1"/>		
優先DNSサーバ	<input type="text" value="192.168.226.1"/>		
代替DNSサーバ	<input type="text" value="8.8.8.8"/>		

WAN 経由で通信する場合は、ルータでポートフォワーディングの設定をする必要があります。

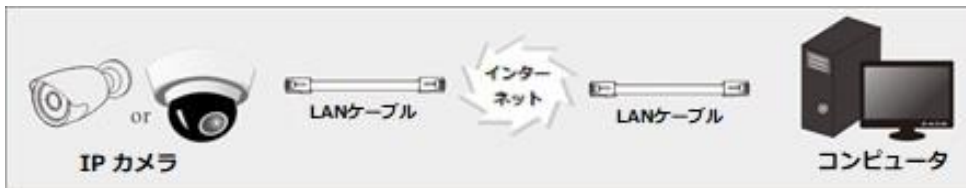
HTTP ポートとデータポートをフォワーディングしてください。Onvif 接続の時は、HTTP ポートと RTSP ポートをフォワーディングします。

- ④ IE ブラウザを開き、アクセスする WAN IP と HTTP ポートを入力します。

例 : <http://192.168.226.180:880>

2.2.2 静的 IP によるアクセス

ネットワーク接続 :



- ① 設定>ネットワーク>ポートメニュー(4.5.2 ポート)に移動して、ポート番号を設定します。

HTTPポート	<input type="text" value="80"/>
HTTPSポート	<input type="text" value="443"/>
データポート	<input type="text" value="9008"/>
RTSPポート	<input type="text" value="554"/>
ロングポーリングポート	<input type="text" value="8080"/> <input checked="" type="checkbox"/> 有効
WebSocketポート	<input type="text" value="7681"/>

- ② 設定>ネットワーク>TCP/IP メニュー(4.5.1 TCP/IP)に移動して、IP アドレスを設定します。

[以下の IP アドレスを使用してください]を選択し、IP アドレスなどのパラメータを入力します。

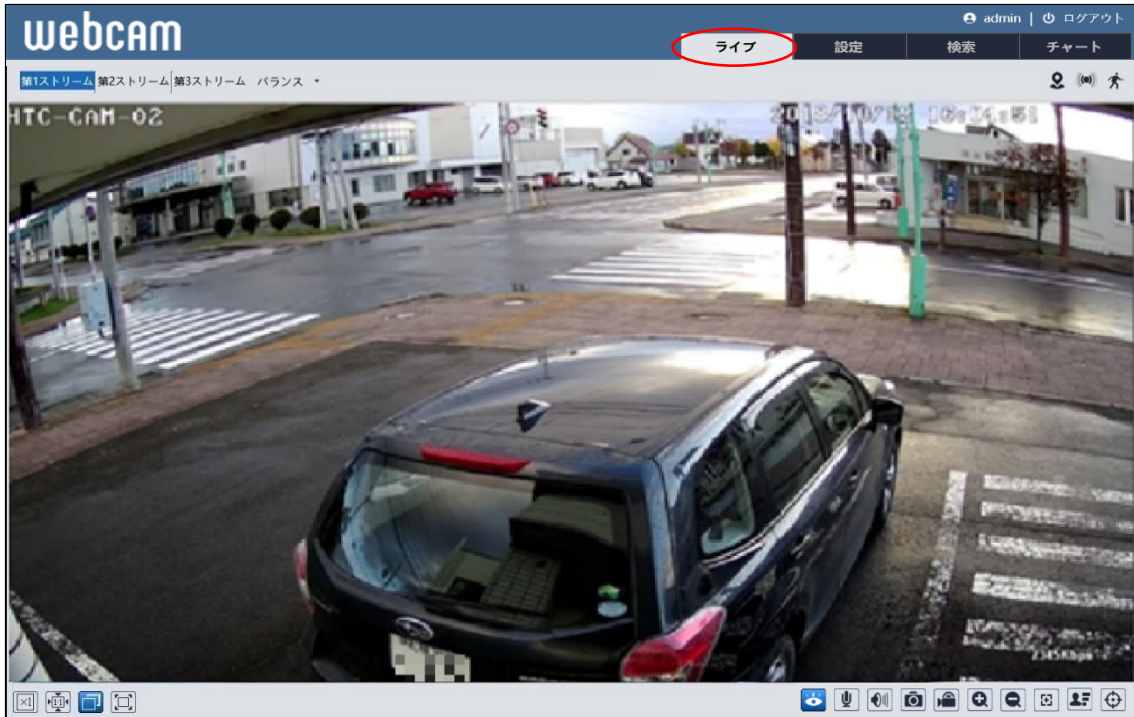
IPv4		IPv6	PPPoE設定	IP変更通知設定
<input type="radio"/> 自動的にIPアドレスを取得する <input checked="" type="radio"/> 以下のIPアドレスを使う				
IPアドレス	<input type="text" value="192.168.226.201"/>	<input type="button" value="テスト"/>		
サブネットマスク	<input type="text" value="255.255.255.0"/>			
ゲートウェイ	<input type="text" value="192.168.226.1"/>			
優先DNSサーバ	<input type="text" value="192.168.226.1"/>			
代替DNSサーバ	<input type="text" value="8.8.8.8"/>			

- ③ IE ブラウザを開き、アクセスする WAN IP と HTTP ポートを入力します。

例 : <http://192.168.226.180:880>

3. ライブ画面

右上の[ライブ]タブを開きます。



ライブ画面(左上)の説明

再生するライブ画面の画質を、第 1 ストリーム / 第 2 ストリーム / 第 3 ストリーム から選択します。

各ストリームの設定は、「4.2.2 映像/音声」で行います。

ライブ画面(左下)のアイコン説明

アイコン	説明	アイコン	説明
	等倍表示 (1 : 1)		オリジナルアスペクト比
	ウインドウに合わせる		フルスクリーン※1

※1 フルスクリーンモードの終了方法は、マウスでダブルクリックするか、キーボードの Esc キーを押します。

ライブ画面(右上)のアイコン説明 ※2

アイコン	説明	アイコン	説明
	モーション検出のアラーム表示		アラーム入力のアラーム表示
	物体検知のアラーム表示		急激なシーン変化のアラーム表示
	不鮮明画像（ピンボケ）のアラーム表示		映像妨害(隠す、塞ぐ)のアラーム表示
	ラインクロスのアラーム表示		領域に入るのアラーム表示
	領域を出るのアラーム表示		ターゲットカウントのアラーム表示
	地域統計を計算中		エリア侵入検知のアラーム表示
	顔検出のアラーム表示		ヒートマップを計算中
	SD カードの有無を表示※3		集密度を計算中

※2 各検出アラームが有効になっている場合のみアイコンを表示し、無効時は表示されません。検出された場合、アイコンが赤く点滅します。

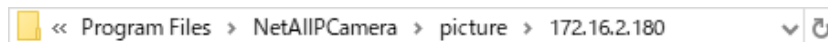
※3 SD カードは挿入されるとアイコンが表示され、録画・画像保存時に赤く点灯します。

ライブ画面(右下)のアイコン説明

アイコン	説明	アイコン	説明
	ライブビューのオン/オフ		双方向音声のオン/オフ
	スピーカのオン/オフ		スナップショット※4
	手動録画のオン/オフ※5		ズームイン/ズームアウト
	レンズ調整のオン/オフ※6		顔検出※7
	ルール情報のオン/オフ※8		

※4 スナップショットは、「4.1.3 ローカル設定」の「静止画保存のパス」のフォルダに保存されます。

《 静止画保存のパス > picture > IP アドレス 》




※5 録画は、「4.1.3 ローカル設定」の「録画保存のパス」のフォルダに保存されます。

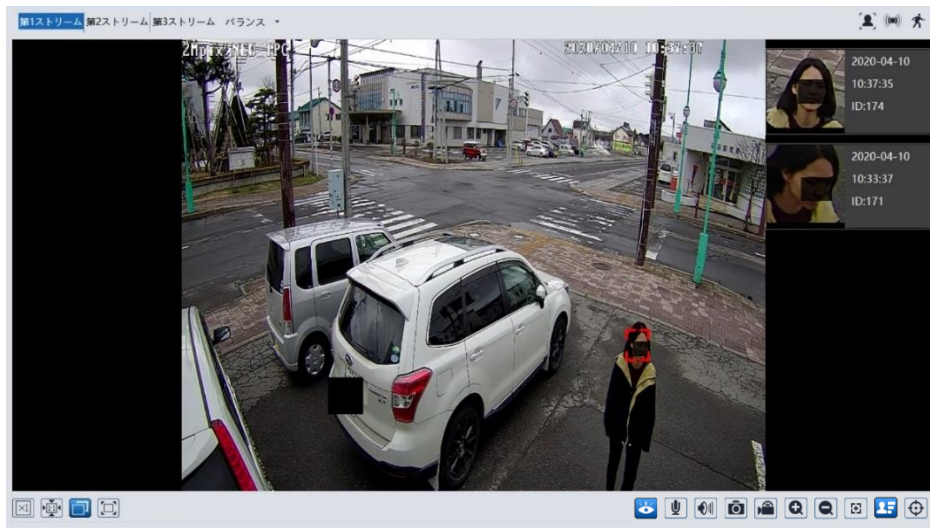
《 録画保存のパス > video > IP アドレス 》



※6 レンズの調整をオンにすると、以下のアイコンが表示されます。

アイコン	説明	アイコン	説明
	ズームアウト		ズームイン
	フォーカス近く		フォーカス遠く
	ワンクリックでフォーカスを調整		

※7 顔が検出されると、顔写真を右側に表示します。日付・時刻・ID 情報が表示されます。「4.4.9 顔検出」で、事前に顔の検出を有効にしてください。



※8 イベント設定で設定したエリアを表示したり消したりできます。

4. 設定ホーム

右上の[設定]タブを開きます。



4.1 システム設定

基本情報、日付と時間、ローカル設定、ストレージなどのサブメニューがあります。

<p> システム設定 基本情報 日付と時間 ローカル設定 ストレージ</p>	<p>設定ホーム ▶ システム設定</p>
<p> 画像設定 画質調整 映像/音声 OSD プライバシーマスク ROI構成 レンズの調整</p>	<p>システム設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 基本情報 デバイス名称や製品型名、ソフトウェアバージョン等、基本的な情報を表示します ● 日付と時間 本機の日付と時間を設定します。 ● ローカル設定 このPCでのファイルの保存先等を設定します。 ● ストレージ SDカードのフォーマットや、SDカード記録に関する項目を設定します。
<p> アラーム設定 モーション検出 異常 アラーム入力 アラーム接点出力 アラームサーバ</p>	
<p> イベント設定 物体検知 妨害検知 ラインクロス 領域に入る 領域を出る ターゲットカウント 地域統計 エリア侵入検知 顔検出 ヒートマップ</p>	
<p> ネットワーク設定 TCP/IP ポート 追加...</p>	
<p> セキュリティ設定 ユーザー オンラインユーザー ブロックと許可リスト セキュリティー管理</p>	
<p> メンテナンス バックアップと復元 再起動 アップグレード 操作ログ</p>	

4.1.1 基本情報

デバイス名やモデル名、ソフトウェアバージョン、MAC アドレスなど、基本的な情報を表示します。

設定ホーム ▶ システム設定 ▶ 基本情報	
デバイス名	IPC
モデル名	HIC-SB200
ブランド	Customer
ソフトウェアバージョン	5.1.1.0(36291)
ソフトウェア作成日	2022-09-01
Onvifバージョン	20.12
OCXバージョン	2.2.5.7
MAC	00:0f:3a:a3:68:83
このマシンについて	表示
プライバシーに関する声明	表示

※ デバイス名の変更は、「4.2.3OSD」の[デバイス名]にて変更できます。

[プライバシーに関する声明]の[表示]をクリックすると、プライバシーの取り扱いに関する記述を確認できます。

プライバシーに関する声明
<p>当社はお客様のプライバシーを完全に尊重するため、お客様の個人データの収集、使用、開示、保護、保存、および送信の方法を理解できるように、このアプリケーションプライバシーステートメント（以下、このステートメントと呼びます）を作成します。この声明を注意深くお読みください。ご不明な点がございましたら、お気軽にお問い合わせください。</p> <p>個人情報とは、電子的またはその他の方法で記録され、独立して、または他の情報と組み合わせて、自然人の個人情報を確認できるあらゆる種類の情報を指します。この声明は、当社がお客様の個人情報を処理する方法を説明していますが、すべてのシナリオを網羅しているわけではありません。この声明で説明、言及、および紹介された製品またはサービスは、すべての人またはすべての地理的な場所で利用できるわけではありません。特定の製品またはサービスがお客様の個人情報を処理する方法は、その製品またはサービスに関する特別なプライバシー通知または補足説明で当社によって公開されます。この声明に加えて、特定の製品またはサービスを使用する場合は、プライバシーに関する通知または補足声明を読むことをお勧めします。</p> <p>この声明は、コンピューターアプリケーション、モバイルインターネットアプリケーション、ソフトウェア、ツールキット、およびこの声明を表示または参照するサービスを含む、個人および企業の製品にのみ適用されます。</p> <p>このステートメントは、次のことを理解するのに役立ちます。</p> <p>I. お客様の個人情報を収集および使用する方法</p> <p>II. クッキーおよび同様の技術の使用法</p>
OK

4.1.2 日付と時間

デバイスの日付と時間の設定を行います。

設定ホーム ▶ システム設定 ▶ 日付と時間

タイムゾーン 日時合わせ

タイムゾーン GMT (Dublin, Lisbon, London, Reykjavik) ▼

サマータイム

自動サマータイム

手動サマータイム

開始時間 1月 ▼ 最初 ▼ 日曜日 ▼ 00 ▼ 時間

終了時間 2月 ▼ 最初 ▼ 月曜日 ▼ 00 ▼ 時間

オフセット時間 120分 ▼

保存

➤ タイムゾーン

[タイムゾーン]タブを開き、タイムゾーンの設定を行います。

タイムゾーン 日時合わせ

タイムゾーン GMT+09 (東京、大阪、名古屋、札幌、福岡、沖縄) ▼

サマータイム

自動サマータイム

手動サマータイム

開始時間 1月 ▼ 最初 ▼ 日曜日 ▼ 00 ▼ 時間

終了時間 2月 ▼ 最初 ▼ 月曜日 ▼ 00 ▼ 時間

オフセット時間 120分 ▼

保存

表示	説明
タイムゾーン	日本のタイムゾーンは、「GMT+09（東京、大阪、名古屋、札幌、福岡、沖縄）」です。
サマータイム	サマータイムを設定するには、[サマータイム]にチェックを入れ、自動サマータイムまたは手動サマータイムを選択します。手動サマータイムを選択した場合、開始時間と終了時間、オフセット時間を設定します。

➤ 日時合わせ

[日時合わせ]タブを開き、日付と時刻の設定を行います。

タイムゾーン 日時合わせ

日時調整モード

NTPサーバに同期

NTPサーバ: time.windows.com 更新間隔 1440 分

パソコンの時間に同期

日付 2022-09-20 時間 14:46:10

手動で設定

2022-09-20 05:45:45

時間形式 24時間

保存

日付と時刻の設定方法

◆ **NTP**

[NTPサーバに同期]を選択します。

NTPサーバのアドレスを入力し、日時の更新間隔(分)を設定します。

注： NTPサーバにネットワーク経由で接続する必要があります。事前に接続確認をしてください。

◆ **パソコンと時間同期**

[パソコンの時間と同期]を選択します。

パソコンの時間と自動的に同期を行います。

◆ **手動**

[手動で設定]を選択します。

📅をクリックして、カレンダーから日付を選択、時間を入力します。

※ SDカードに録画している場合、時計の時間を遅らせると、遅らせた時間分の録画は消去されます。

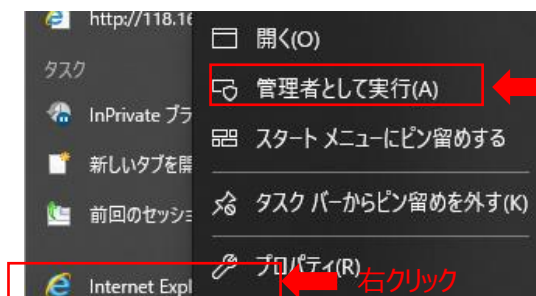
4.1.3 ローカル設定

ローカル PC の写真・録画ファイルの保存先などを設定します。

設定ホーム ▶ システム設定 ▶ ローカル設定		
静止画保存のパス	<input type="text" value="C:\Program Files\NetAllIPCamera"/>	<input type="button" value="保存先変更"/>
録画保存のパス	<input type="text" value="C:\Program Files\NetAllIPCamera"/>	<input type="button" value="保存先変更"/>
録画音声の設定	<input type="radio"/> ON	<input checked="" type="radio"/> OFF
ビットレートを表示	<input type="radio"/> ON	<input checked="" type="radio"/> OFF
ローカルスマート静止画保存ストレージ	<input type="radio"/> ON	<input checked="" type="radio"/> OFF
<input type="button" value="保存"/>		

表示	説明
静止画保存のパス	スナップショット画像を PC 内のフォルダに保存します。 保存先変更をクリックして保存先フォルダを指定します。
録画保存のパス	録画ビデオを PC 内のフォルダに保存します。 保存先変更をクリックして保存先フォルダを指定します。
録画音声の設定	録画ビデオに同時に音声を録画するかを指定します。 注 マイク付きのカメラのみ録音可能です。
ビットレートを表示	保存した画像やビデオファイルにビットレート表示させるか、有効(ON)または無効(OFF)を設定します。
ローカルスマート静止画保存ストレージ	スマート検知で撮影したスナップショット画像を PC 内のフォルダに保存します。

注 動画ファイルや静止画ファイルをローカル PC に保存するためには、ブラウザ（IE）は必ず管理者権限で起動してください。



4.1.4 ストレージ

SD カードのフォーマットや、写真・録画ファイルの保存に関する項目などを設定します。



SD カードを取付けてないときは「カードがありません」と表示します。

設定するときは、SD カードをカメラに取付ける必要があります。(最大 128GB)

設定ホーム ▶ システム設定 ▶ ストレージ	
<div style="display: flex; justify-content: space-between; border-bottom: 1px solid black;"> 管理 録画 写真撮影 </div>	
写真保存領域のサイズ	11891 MB
残りの写真保存容量	5354 MB
録画保存領域のサイズ	106945 MB
残りの録画容量	0 MB
状態	正常
写真保存領域	10 %
録画保存領域	90 %
<p>割り当て比率の変更を反映させる場合はフォーマットを実行してください。フォーマットすると記録されたデータは消去されます。</p> <div style="display: flex; justify-content: center; gap: 10px;"> カード取り出し フォーマット </div>	

➤ 管理

[管理]タブを開き、SD カードの容量を表示・設定します。

SD カードをカメラに取付けると、ライブ画面の右上にアイコン  が表示されます。SD カードに録画や画像が保存されると、アイコン  は赤く点灯します。

管理 録画 写真撮影	
写真保存領域のサイズ	11891 MB
残りの写真保存容量	5354 MB
録画保存領域のサイズ	106945 MB
残りの録画容量	0 MB
状態	正常
写真保存領域	10 %
録画保存領域	90 %
割り当て比率の変更を反映させる場合はフォーマットを実行してください。フォーマットすると記録されたデータは消去されます。	
<div style="display: flex; justify-content: center; gap: 10px;"> カード取り出し フォーマット </div>	

表示	説明
写真保存領域のサイズ	SD カード内の写真を保存できる容量を表示します。
残りの写真保存容量	写真を保存できる、残りの空き容量を表示します。
録画保存領域のサイズ	SD カード内の録画を保存できる容量を表示します。
残りの録画容量	録画できる、残りの空き容量を表示します。
状態	SD カードの状態を表示します。
写真保存領域 ※	SD カードの全容量に対して、写真を保存できる割合を設定します。
録画保存領域 ※	SD カードの全容量に対して、録画を保存できる割合を設定します。
カードの取り出し	カメラから SD カードを取り出すときにクリックしてください。 取り出しをクリックする前に SD カードを取り出すとファイル破損の原因となる可能性があります。
フォーマット	SD カードを初期化します。フォーマットを行うと、SD カード内のデータはすべて消去されます。

※写真と録画の保存割合を適用するには、フォーマットする必要があります。フォーマットを行うと、SD カード内のデータはすべて消去されます。

➤ 録画

[録画]タブを開き、SD カードへの録画に関する設定を行います。

設定ホーム ▶ システム設定 ▶ ストレージ

管理 **録画** 写真撮影

録画パラメータ

録画ストリーム

プリ録画時間 (H264,H265,MJPEG)

上書きする

設定された時間で実行

スケジュール記録有効 削除 追加

一週間の日程

曜日	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
日	00:00-24:00																								手動入力
月	00:00-24:00																								手動入力
火	00:00-24:00																								手動入力
水	00:00-24:00																								手動入力
木	00:00-24:00																								手動入力
金	00:00-24:00																								手動入力
土	00:00-24:00																								手動入力

休日設定とスケジュール

日付

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
00:00-24:00																								手動入力

録画パラメータ

表示	説明
録画ストリーム	録画を行うストリームを選択します。 解像度や画質などの設定は「4.2.2 映像/音声」で設定します。
プレ録画時間	“プレ録画なし”を選択した場合、「イベント発生中の時間+アラーム保持時間」の映像を録画します。 “3 秒”または“6 秒”を選択した場合、イベント発生の 3 秒または 6 秒前の映像から録画を行います。
上書きする	SD カードの空き容量が無くなったとき、上書き録画を行うか選択します。

※ イベントによる録画は、「4.3 アラーム設定」や「4.4 イベント設定」の連携するアラーム出力で、[SD カード録画]が有効(チェックあり)のときに実行されます。

設定された時間で実行

表示	説明
スケジュール記録有効	チェックを入れると、スケジュールによる録画を行います。

スケジュールの設定方法

◆ 一週間の日程

日曜日～土曜日の一週間のスケジュールを設定します。

消去 : 録画を無効にする時間帯をタイムライン上でクリックまたはドラッグします。(白)

追加 : 録画を有効にする時間帯をタイムライン上でクリックまたはドラッグします。(緑)

手動入力: [消去]または[追加]を選択してから、タイムライン右下の[手動入力]をクリックし、時間帯を設定します。

◆ 休日設定とスケジュール

日付を指定してスケジュールを設定します。

日付を指定し、**追加** をクリックします。その後、タイムラインでスケジュールを設定して保存します。

削除するときは、日付を選択してから **削除** をクリックします。

➤ 写真撮影

[写真撮影]タブを開き、SDカードに保存する静止画に関する設定を行います。

管理
総画
写真撮影

写真撮影パラメータ

画像フォーマット ▼

解像度 ▼

画質 ▼

イベント発生に連動

スナップショット間隔 秒

撮影枚数

設定された時間で実行

有効にする

スナップショット間隔 秒

削除 追加

一週間の日程

日	<div style="border-bottom: 1px solid black; padding-bottom: 5px;"> 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 00:00-24:00 手動入力 </div>
月	<div style="border-bottom: 1px solid black; padding-bottom: 5px;"> 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 00:00-24:00 手動入力 </div>
火	<div style="border-bottom: 1px solid black; padding-bottom: 5px;"> 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 00:00-24:00 手動入力 </div>
水	<div style="border-bottom: 1px solid black; padding-bottom: 5px;"> 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 00:00-24:00 手動入力 </div>
木	<div style="border-bottom: 1px solid black; padding-bottom: 5px;"> 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 00:00-24:00 手動入力 </div>
金	<div style="border-bottom: 1px solid black; padding-bottom: 5px;"> 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 00:00-24:00 手動入力 </div>
土	<div style="border-bottom: 1px solid black; padding-bottom: 5px;"> 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 00:00-24:00 手動入力 </div>

休日設定とスケジュール

日付 +

-

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24
 00:00-24:00 手動入力

写真撮影パラメータ

表示	説明
画像フォーマット	フォーマットを選択します。
解像度	スナップショットの解像度を選択します。
画質	画質を高い/中/低いから選択します。

※スナップショット解像度の設定は、「4.2.2 映像/音声」で行います。

イベント発生に連動

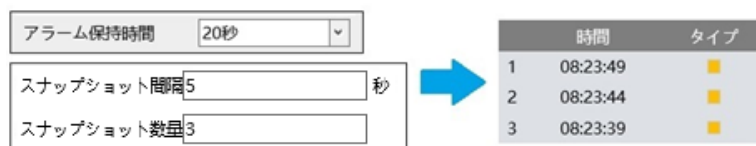
表示	説明
スナップショット間隔	「イベント発生中の時間+アラーム保持時間」の時間内で、何秒間隔でスナップショットを撮影し、SD カードに保存するか設定します。
撮影枚数	撮影時間間隔で、最大何枚のスナップショットを撮影するか設定します。

※「4.3 アラーム設定」や「4.4 イベント設定」の連携するアラーム出力で、[写真をSDカードに保存]が有効(チェックあり)のときに実行されます。

SD カードへのスナップショット保存例

[例 1] アラーム保持時間：20 秒、撮影時間間隔：5 秒、撮影枚数：3 枚の場合

→ イベント発生時に 1 枚、その後 5 秒間隔で 1 枚ずつ撮影され、計 3 枚(最大)のスナップショットが保存されます。



※ここでは、イベント発生時、発生から 5 秒後、10 秒後のスナップショットを保存しています。

[例 2] アラーム保持時間：3 秒、撮影時間間隔：5 秒、撮影枚数：2 枚の場合

→ イベント発生時に 1 枚、3 秒でアラーム保持時間が終了したため、5 秒後のスナップショットは撮影されず、発生時の 1 枚のみ保存されます。



※アラーム保持時間が終了した時点で、それ以降のスナップショットは保存されません。

設定された時間で実行

表示	説明
有効にする	チェックを入れると、スケジュールによる写真の保存を行います。
スナップショット間隔	有効の時間帯で何秒間隔の写真を保存するのか設定します。

スケジュールの設定方法

◆ 一週間の日程

日曜日～土曜日の一週間のスケジュールを設定します。


消去 : 写真保存を無効にする時間帯をタイムライン上でクリックまたはドラッグします。(白)


追加 : 写真保存を有効にする時間帯をタイムライン上でクリックまたはドラッグします。(緑)

手動入力 : [消去]または[追加]を選択してから、タイムライン右下の[手動入力]をクリックし、時間帯を設定します。

◆ 休日設定とスケジュール

日付を指定してスケジュールを設定します。

日付を指定し、をクリックします。その後、タイムラインでスケジュールを設定して保存します。削除

するときは、日付を選択してからをクリックします。

4.2 画像設定

画質調整、映像/音声、OSD、プライバシーマスク、ROI 構成、レンズの調整などのサブメニューがあります。

<p> システム設定 基本情報 日付と時間 ローカル設定 ストレージ</p>	<p>設定ホーム ▶ 画像設定</p>
<p> 画像設定 画質調整 映像/音声 OSD プライバシーマスク ROI構成 レンズの調整</p>	<p>画像設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 画質調整 カメラの画質（明るさ、コントラスト、彩度など）に関するパラメータを設定します ● 映像/音声 映像、音声のIPストリームを設定します。圧縮方式、解像度、フレーム数、ビットレート等を設定します。 ● OSD OSD（オンスクリーンディスプレイ）を設定します。 ● プライバシーマスク プライバシー保護のためのマスク設定を行います。 ● ROI構成 ROI機能はデータサイズを保ったまま特定領域だけを高画質にします。 ● レンズの調整 映像の画角調整とピントを合わせます。
<p> アラーム設定 モーション検出 異常 アラーム入力 アラーム接点出力 アラームサーバ</p>	
<p> イベント設定 物体検知 妨害検知 ラインクロス 領域に入る 領域を出る ターゲットカウント 地域統計 エリア侵入検知 顔検出 ヒートマップ</p>	
<p> ネットワーク設定 TCP/IP ポート 追加...</p>	
<p> セキュリティ設定 ユーザー オンラインユーザー ブロックと許可リスト セキュリティー管理</p>	
<p> メンテナンス バックアップと復元 再起動 アップグレード 操作ログ</p>	

4.2.1 画質調整

カメラの画質(輝度、コントラスト、彩度など)に関するパラメータを設定します。

設定ホーム ▶ 画像設定 ▶ 画質調整

カメラのパラメータ プロファイル管理



撮影設定 常時 ▼

輝度	<input type="range"/>	25
コントラスト	<input type="range"/>	50
色相	<input type="range"/>	50
彩度	<input type="range"/>	50
シャープネス	<input type="checkbox"/> <input type="range"/>	50
ノイズ除去	<input type="checkbox"/> <input type="range"/>	30
曇り鮮明化	<input type="checkbox"/> <input type="range"/>	50
オートアイリス	<input checked="" type="checkbox"/>	オートアイリスレンズを使う時だけ有効に設定してください
BLC	オフ	▼
フリッカレス	オフ	▼
ホワイトバランス	自動	▼
昼/夜モード	自動	▼
感度	中	▼
切替遅延時間 (秒)	<input type="range"/>	2
露出モード	自動	▼
ゲインモード	自動	▼
ゲイン制限	<input type="range"/>	50

初期値 取り消し

ビデオ調整

レンズ歪み補正 80

映像周波数 60HZ ▼

IR照明 自動 ▼

縦長撮影モード 0 ▼

画像左右反転 ON OFF

画像反転 ON OFF

➤ カメラのパラメータ

[カメラのパラメータ]タブを開き、通常・昼間・夜間のモード別に、輝度やコントラストなどを設定できます。



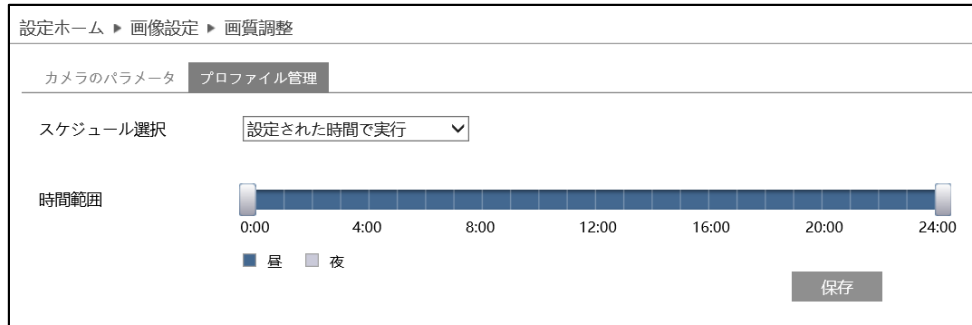
表示	説明
撮影設定	3パターンの撮影設定（常時、昼間専用、夜）を行います。それぞれに適したパラメータを以下より設定します。
輝度	カメラ画像の明るさ調整します。
コントラスト	最も明るい部分と最も暗い部分の明るさの差を調整します。
色相	色味を調整します。
彩度	色の濃さを調整します。
シャープネス	シャープネスにチェックを入れ、有効にします。 画像の輪郭強調レベルを調整します。
ノイズ除去	ノイズ除去にチェックを入れ、有効にします。 映像に発生しているランダムノイズの除去レベルを調整します。値を大きくするとノイズは減りますが、画像の解像度は低下します。
曇り鮮明化	曇り鮮明化にチェックを入れ、有効にします。 雨、霧、靄、煙、ほこり等でぼやけた映像を補正します。必要に応じて適切な値を設定し、鮮明な画像を表示することができます。
オートアイリス	レンズ明るさの調整を自動で行うレンズの場合にチェックしてください

BLC	<p>逆光補正機能(BLC)の設定を、以下から選択します。</p> <p>オフ：逆光補正機能を無効にします。(デフォルト)</p> <p>HWDR：デジタル処理によるワイドダイナミック補正です。ハイライト部と暗部の両方を自動調整し、鮮明な画像に調整します。</p> <p>HLC：ハイライト補正。強い光源をカバーします。</p> <p>BLC：逆光補正。逆光で陰になった部分を明るく補正します。</p>
フリッカレス	<p>オフ：フリッカ除去機能をオフにします。</p> <p>50Hz/60Hz：50Hz または 60Hz の照明条件でちらつきを低減します。</p>
ホワイトバランス	<p>オート、屋内、屋外を選択した場合は、環境に応じて自動的に色温度を調整します。マニュアルを選択した場合は、赤ゲインと青ゲインを使用し、手動で色温度を設定します。</p>
昼/夜モード	<p>自動：昼モードと夜モードを自動で切替えます (デフォルト) 切り替えの感度 (明るさ) と、切替遅延時間を設定できます。</p> <p>昼間固定：カラー撮影固定</p> <p>夜間固定：白黒撮影固定</p> <p>設定された時間で実行：昼モード/夜モードの切り替え時間を設定できます。</p>
感度	<p>昼/夜モードを切替える感度を設定します。</p> <p>高い・中・低いから選択します。</p>
切替遅延時間	<p>昼/夜モードを切替えるときに遅延させる時間を設定します。すぐに切り替わらないようにするときは長く設定します。</p>
露出モード	<p>自動またはマニュアルから選択します。</p> <p>マニュアルの場合、シャッター速度を選択できます。</p>
ゲインモード	<p>自動またはマニュアルから選択します。</p> <p>マニュアルの場合、ゲイン値を設定できます。</p>
ゲイン制限	<p>ゲイン値が高いほど、画像が明るくなり、画像のノイズが多くなります。</p>
レンズ歪み補正	<p>レンズ歪み補正にチェックを入れ、有効にします。※再起動を伴うので注意してください。</p> <p>レンズの周辺歪みを補正します。</p>
映像周波数	<p>周波数 50Hz(PAL)と 60Hz(NTSC)が設定できます。</p>
IR 照明	<p>オフでは IR 照明はフル発光です。オンでは、カメラの近くの被写体が白飛びしないように、自動で照明を調光します。</p>
縦長撮影モード	<p>0,90°,180°,270°で画像を回転させます</p>
画像左右反転	<p>カメラ画像を左右反転させます。</p>

画像反転	カメラ画像を上下反転させます。
------	-----------------

➤ プロファイル管理（スケジュール選択）

[プロファイル管理]タブを開き、昼間と夜の時間帯を指定します。




スケジュールの設定方法

◆ 24 時間連続

“24 時間連続”を選択した場合、撮影設定は常時、自動から選択します。

◆ 設定された時間で実行

“設定された時間で実行”を選択した場合、タイムライン上の“”をドラッグして昼間と夜の時間帯を設定します。ブルーが昼間時間、グレーが夜時間を表します。

カメラのパラメータの昼間/夜モードで“設定された時間で実行”が設定されている場合、設定されたスケジュールに従って自動的に昼間と夜に切り替わります。

4.2.2 映像/音声

映像、音声の IP ストリーム(圧縮方式や解像度、フレーム数、ビットレートなど)を設定します。

Index	ストリーム名	解像度	フレームレート	ビットレートタイプ	ビットレート (Kbps)	ビデオ品質	Iフレーム間隔	ビデオ圧縮	プロファイル
1	第1ストリーム	1920x1080	30	CBR	3072	中	120	H264	High Profile
2	第2ストリーム	704x480	30	CBR	768	中	120	H264	High Profile
3	第3ストリーム	352x240	30	CBR	512	中	120	H264	High Profile

写真のストリーム: 第2ストリーム サイズ (704x480)

ビデオエンコードスライス分割

ウォーターマーク (H264, H265のみをサポート) ウォーターマーク文字:

保存

➤ 映像

[映像]タブを開き、第 1/第 2/第 3 ストリームの解像度やフレームレートなどをそれぞれ設定します。

表示	説明
解像度	カメラ画像の表示解像度を設定します。
フレームレート	フレームレートを設定します。(範囲 1 ~ 30 フレーム) フレームレートが高いほど、映像は滑らかになります。
ビットレートタイプ	VBR または CBR から選択します。 VBR : 可変ビットレート / CBR : 固定ビットレート
ビットレート (Kbps)	CBR を選択した場合、ビットレート設定ができます。 ビットレートが高いほど、画質が向上します。
ビデオ品質	VBR を選択した場合、ビデオ品質設定ができます。 品質が高いほど、より多くのビットレートが必要になります。CBR のビットレート値が分からないときは VBR を選択します。
I-フレーム間隔	I-フレームの送信間隔を設定します。
ビデオ圧縮	H.264/H.265/H.264+/H.265+/H.264S/H.265S/MJPEG からビデオ圧縮方式を選択します。
プロファイル	H.264/H.264 + /H.264S を選択した場合、プロファイルを選択します。
写真のストリーム	イベント発生時に送信する、写真のサイズ(解像度)を選択します。
ビデオエンコードスライス分割	ビデオエンコードスライス分割にチェックを入れ、有効にします。 この機能を有効にすると、低性能の PC を使用しても滑らかな画像を得ることができます。
ウォーターマーク	ウォーターマークにチェックを入れ、有効にします。 ウォーターマーク符号に透かしテキストを入力します。検索画面で、ローカルに記録されたビデオを再生する時にウォーターマークを表示できます。

➤ 音声

[音声]タブを開き、音声圧縮方式や音声入出力レベルを設定します。

設定ホーム ▶ 画像設定 ▶ 映像/音声

映像 **音声**

有効

音声形式

音声タイプ

LINボリューム

音声出力音量

保存

表示	説明
有効	音声を有効にする場合はチェックを入れます。
音声形式	音声圧縮方式を選択します。(G711A または G711U)
音声タイプ	カメラ内蔵マイクと外部 LINE 入力を選択します。 (SD200 と SD210 のみ)
LIN ボリューム	カメラ内蔵マイクと外部 LINE 入力の入力レベルを調整します。
音声出力音量	外部音声出力の出力レベルを調整します。(SB200 と SD200 のみ)

4.2.3 OSD

OSD (On Screen Display) に関する設定を行います。

OSD の説明を行います。モデルによりメニューがないか選択できない項目があります。

表示	説明
日付形式	[日付時刻を画面表示する]にチェックを入れ、画面表示を有効にします。 表示形式を選択します。ディスプレイ上に赤枠でタイムスタンプを表示します。赤枠はドラッグして位置を変更できます。(時間は最後尾に表示します) 《 YYYY : 年、 MM : 月、 DD : 日 を表します 》
デバイス名	[デバイス名を画面表示する]にチェックを入れ、画面表示を有効にします。 デバイス名を入力すると、ディスプレイ上に赤枠でデバイス名を表示します。赤枠はドラッグして位置を変更できます。 ここで変更したデバイス名は、「4.1.1 基本情報」にも反映されます。
追加 OSD	チェックを入れ、追加 OSD または写真オーバーレイを有効にします。 ・追加 OSD を選択した場合、文字列を入力するとディスプレイ上に表示されるので、ドラッグして位置を変更します。 [1行追加]にチェックを入れると、文字列をもう1行追加できます。 ・写真オーバーレイを選択した場合、写真を表示することができます。 保存先変更から写真を指定し、アップロードをクリックします。

注意

**OSD に使用する文字は英数字を使用してください。
日本語を入力すると文字バグが発生します。**

4.2.4 プライバシーマスク

プライバシーマスクに関する設定を行います。プライバシーマスクは最大 4 か所に設定できます。



プライバシーマスクの設定

- ① [有効]にチェックを入れ、プライバシーマスクを有効にします。
- ② [エリアを描く]をクリックし、ディスプレイ上でマウスを右クリックしながらドラッグしてプライバシーマスクを描画します。プライバシーマスクは4か所まで設定できます。
- ③ [描画を終了]をクリックすると、プライバシーマスクの描画を終了します。
- ④ [クリア]をクリックするとプライバシーマスクを全て削除します。
- ⑤ [保存]をクリックして、設定したプライバシーマスクを保存します。

4.2.5 ROI

ROI (Region of Interest) に関する設定を行います。

ROI は、設定した領域の画像をほかの領域より高精細にします。



ROI の設定

- ① [有効]にチェックを入れ、ROI を有効にします。
- ② [エリアを描く]をクリックし、ディスプレイ上でマウスを右クリックしながらドラッグして ROI 領域を描画します。ROI 領域は 8 か所まで設定できます。
- ③ [描画を終了]をクリックすると、ROI 領域の描画を終了します。
- ④ [クリア]をクリックすると ROI 領域を消去します。
- ⑤ スライドの ● をドラッグして ROI レベルを調整します。
- ⑥ [保存]をクリックして、設定した ROI 領域を保存します。

4.2.6 レンズの調整

レンズに関する設定を行います。



表示	説明
Day/Night モード切り替え時のフォーカス調整	Day/Night モード切り替え時にフォーカス調整を行う場合にチェックします。
One Push フォーカス	ワンクリックでフォーカスを自動で合わせることができます。
ズームイン	ズームレンズの望遠（イン）と広角（アウト）の調整ができます。
ズームアウト	
フォーカス近	フォーカスを手動で調整できます。
フォーカス遠	
リセット	設定を初期状態に戻します。

4.3 アラーム設定

モーション検出、異常、アラーム入力、アラーム接点出力、アラームサーバなどのサブメニューがあります。




<p> システム設定 基本情報 日付と時間 ローカル設定 ストレージ</p>	<p>設定ホーム ▶ アラーム設定</p> <p>アラーム設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ● モーション検出 動体検出の検出エリアの設定や、感度、連携動作、動作スケジュールを設定します。 ■ 異常 アラームのパラメータを設定して異常アラームに連動させる設定も行います。 ■ アラーム入力 アラーム入力設定と連動スケジュールを設定します。 ■ アラーム接点出力 アラーム出力を設定します。 ■ アラームサーバ アラームサーバを設定します。
<p> 画像設定 画質調整 映像/音声 OSD プライバシーマスク ROI構成 レンズの調整</p>	
<p> アラーム設定 モーション検出 異常 アラーム入力 アラーム接点出力 アラームサーバ</p>	
<p> イベント設定 物体検知 妨害検知 ラインクロス 領域に入る 領域を出る ターゲットカウント 地域統計 エリア侵入検知 顔検出 ヒートマップ</p>	
<p> ネットワーク設定 TCP/IP ポート 追加..</p>	
<p> セキュリティ設定 ユーザー オンラインユーザー ブロックと許可リスト セキュリティ管理</p>	
<p> メンテナンス バックアップと復元 再起動 アップグレード 操作ログ</p>	

4.3.1 モーション検出

モーション検出のエリア設定や感度、連携アラーム、スケジュールを設定します。

➤ 検出設定

[検出設定]タブを開き、モーション検出のアラームを設定します。

表示	説明
有効	モーション検出を有効にする場合は、チェックを入れます。 有効である場合、ライブ画面の右上にアイコン  が表示されます。 モーションを検出すると、アイコン  は赤く点滅します。
アラーム持続時間	モーションアラームの持続時間を設定します。 持続している間は、ライブ画面上でアイコン  が赤く点滅しています。 3 秒、5 秒、10 秒、20 秒、30 秒、60 秒、2 分から選択します。
連携するアラーム出力	モーション検出では、以下の 5 つのアラームを設定できます。 アラーム接点出力、写真を SD カードに保存、SD カード録画、メールを送信、FTP ファイル転送 ※各アラームの説明は、次の 連携するアラーム出力 を参照してください。
保存	設定を保存します。

連携するアラーム出力

◆ アラーム接点出力

[アラーム接点出力]にチェックを入れると、カメラに接続している外部リレー出力がトリガーされます。

アラーム出力に関する設定は、「4.3.4 **アラーム接点出力**」で行う必要があります。

◆ 写真をSDカードに保存

チェックを入れると、検出時に画像をキャプチャしSDカードに保存します。

キャプチャ画像の解像度は、「4.2.2 映像/音声」の写真のストリームで設定します。

SDカードへの画像保存に関する設定は、「4.1.4 **ストレージ**」の「写真撮影」で行う必要があります。

SDカードへのスナップショット保存例

[例 1] アラーム持続時間：20 秒、撮影時間間隔：5 秒、撮影枚数：3 枚の場合

→ イベント発生時に 1 枚、その後 5 秒間隔で 1 枚ずつ撮影され、計 3 枚(最大)のスナップショットが保存されます。

アラーム持続期間	20秒	→	時間	タイプ	
スナップショット間隔	5 秒		1	08:23:49	■
撮影枚数	3		2	08:23:44	■
			3	08:23:39	■

※ここでは、イベント発生時、発生から 5 秒後、10 秒後のスナップショットを保存。

[例 2] アラーム持続時間：3 秒、撮影時間間隔：5 秒、撮影枚数：2 枚の場合

→ イベント発生時に 1 枚、アラーム持続時間が 3 秒で終了したため、5 秒後のスナップショットは撮影されず、発生時の 1 枚のみ保存されます。

アラーム持続期間	3秒	→	時間	タイプ	
スナップショット間隔	5 秒		1	08:31:47	■
撮影枚数	2				

※アラーム持続時間が終了した時点で、それ以降のスナップショットは保存されません。

◆ SD カード録画

チェックを入れると、検出時のビデオが SD カードに保存されます。

SD カードへの録画に関する設定は、「4.1.4 ストレージ」の「録画」で行う必要があります。

◆ メールを送信

[メールを送信]にチェックを入れると、E メールによる通知が有効になります。

通知メールの送信先をリストから選択し、メールの件名と内容を入力します。検出時の写真を添付する場合は[写真添付]にチェックを入れます。

<input checked="" type="checkbox"/> メールを送信	
メールの送信先	<input checked="" type="checkbox"/> 写真添付
<input checked="" type="checkbox"/> █████@hytec.co.jp	<input checked="" type="checkbox"/> 写真添付
<input checked="" type="checkbox"/> █████@yahoo.co.jp	<input checked="" type="checkbox"/> 写真添付
<input checked="" type="checkbox"/> █████@gmail.com	<input type="checkbox"/> 写真添付
メールの件名	<input type="text"/>
メールの内容	<input type="text"/>

E メール通知の送受信に関する設定は、「4.5.11」で事前に行う必要があります。

◆ FTP ファイル転送

チェックを入れると、FTP サーバへのファイル転送が有効になります。

FTP サーバをリストから選択し、検出時の写真を添付する場合は[写真添付]にチェックを入れます。

FTP サーバに関する設定は、「4.5.12」で事前に行う必要があります。

ログファイルとスナップショットは、《 指定フォルダ > MAC アドレス > イベント名 > 日付 > 時間 》に保存されます。



(1) 写真添付なしの場合

イベント発生時に、ログファイルが転送されます。

(2) 写真添付ありの場合

イベント発生時に、ログファイルとスナップショット 1 枚が転送されます。アラーム持続時間(5 秒)が経過後、スナップショット 1 枚が転送されます。

名前	日付時刻	種類	サイズ
MOTION_20200221103150.txt	2020/04/23 9:33	テキストドキュメント	1 KB
MOTION_20200221103150_163.jpg	2020/04/23 9:33	JPG ファイル	47 KB
MOTION_20200221103155_97.jpg	2020/04/23 9:33	JPG ファイル	48 KB

(3) イベント発生時間がアラーム持続時間を超える場合

イベント発生時に、ログファイルとスナップショット 1 枚が転送されます。アラーム持続時間を経過するごとにスナップショット 1 枚が転送されます。

[例] イベント発生時間：25 秒、アラーム持続時間：10 秒の場合

イベント発生時に「ログファイル」と「スナップショット 1 枚」、

1・2 回目のアラーム持続時間経過後に「スナップショット 1 枚ずつ(計 2 枚)」、

3 回目のアラームの途中でイベントが終了し、持続時間経過後に「最後のスナップショット 1 枚」

名前	日付時刻	種類	サイズ
SENSOR1_20200221111800.txt	2020/04/23 10:20	テキストドキュメント	1 KB
SENSOR1_20200221111800_127.jpg	2020/04/23 10:20	JPG ファイル	34 KB
SENSOR1_20200221111810_195.jpg	2020/04/23 10:20	JPG ファイル	30 KB
SENSOR1_20200221111820_120.jpg	2020/04/23 10:20	JPG ファイル	28 KB
SENSOR1_20200221111830_140.jpg	2020/04/23 10:20	JPG ファイル	29 KB

➤ エリアと感度

[エリアと感度]タブを開き、モーション検出エリアと感度を設定します。



モーション検出エリアの設定

- I. **エリアを描く** をクリックし、[追加]を選択してディスプレイ上でマウスをドラッグすると検出エリアを描画できます。[消去]を選択して検出エリア上でマウスをドラッグすると、検出エリアを一部分消去できます。



- II. **描画を終了** をクリックすると、検出エリアの描画を終了します。
- III. **全領域を選択** をクリックすると、全領域が検出エリアとなります。**すべてクリア** をクリックすると、検出エリアがすべて消去されます。**反転領域反転** をクリックすると、検出エリアと未検出エリアが反転します。
- IV. 感度を設定します。数値が大きいくほど感度は高くなります。



- V. **保存** をクリックし、検出エリアを保存します。

➤ スケジュール選択

[スケジュール選択]タブを開き、モーション検出のスケジュールを設定します。

スケジュールの設定方法

◆ 一週間の日程

日曜日～土曜日の一週間のスケジュールを設定します。

消去：モーション検出を無効にする時間帯を、タイムライン上でクリックまたはドラッグします。(白)

追加：モーション検出を有効にする時間帯を、タイムライン上でクリックまたはドラッグします。(緑)

手動入力：[削除]または[追加]を選択してから、タイムライン右下の[手動入力]をクリックし、時間帯を設定します。

◆ 休日設定とスケジュール

日付を指定してスケジュールを設定します。

日付を指定し、**追加** をクリックします。その後、タイムラインでスケジュールを設定して保存します。

削除するときは、日付を選択してから **削除** をクリックします。

4.3.2 異常

異常アラーム関連のパラメータ、連動アラームを設定します。

➤ SD カードフル

[SD カードフル]タブを開き、SD カードの容量が一杯になったときのアラームを設定します。

表示	説明
有効	SD カードの容量が一杯になったときに通知する場合は、チェックを入れます。
アラーム持続時間	アラームの持続時間を設定します。 3 秒、5 秒、10 秒、20 秒、30 秒、60 秒、2 分から選択します。
連携するアラーム出力	SD カードフルでは、以下の 3 つのアラームを設定できます。 アラーム接点出力、メールを送信、FTP ファイル転送 ※各アラームの説明は、4.3.1 の 連携するアラーム出力 を参照してください
保存	設定を保存します。

➤ SD カードエラー

[SD カードエラー]タブを開き、SD カードへの書き込みにエラーが生じたときのアラームを設定します。

設定ホーム ▶ アラーム設定 ▶ 異常	
SDカードフル	SDカードエラー
IPアドレスの競合	LANケーブル接続不良
<input checked="" type="checkbox"/> 有効	
アラーム持続期間	20秒
連携するアラーム出力	
<input type="checkbox"/> アラーム接点出力	
<input type="checkbox"/> メールを送信	
<input type="checkbox"/> FTPファイル転送	
保存	

表示	説明
有効	SD カードへの書き込みエラーがあることを通知する場合は、チェックを入れます。
アラーム持続時間	アラームの持続時間を設定します。 3 秒、5 秒、10 秒、20 秒、30 秒、60 秒、2 分から選択します。
連携するアラーム出力	SD カードエラーでは、以下の 3 つのアラームを設定できます。 アラーム接点出力、メールを送信、FTP ファイル転送 ※各アラームの説明は、4.3.1 の 連携するアラーム出力 を参照してください
保存	設定を保存します。

➤ IPアドレスの競合

[ipアドレスの競合]タブを開き、IPアドレスが競合したときのアラームを設定します。

設定ホーム ▶ アラーム設定 ▶ 異常

SDカードフル SDカードエラー **IPアドレスの競合** LANケーブル接続不良

有効

アラーム持続期間 ▼

連携するアラーム出力

アラーム接点出力

保存

表示	説明
有効	IPアドレスの競合を検出されたとき通知する場合は、チェックを入れます。
アラーム持続時間	アラームの持続時間を設定します。 3秒、5秒、10秒、20秒、30秒、60秒、2分から選択します。
連携するアラーム出力	IPアドレスの競合エラーでは、以下のアラームを設定できます。 アラーム接点出力 ※各アラームの説明は、4.3.1の 連携するアラーム出力 を参照してください
保存	設定を保存します。

➤ LAN ケーブル接続不良

[LAN ケーブル接続不良]タブを開き、ネットワーク接続にエラーが生じたときのアラームを設定します。

設定ホーム ▶ アラーム設定 ▶ 異常

SDカードフル SDカードエラー IPアドレスの競合 **LANケーブル接続不良**

有効

アラーム持続期間 ▼

連携するアラーム出力

アラーム接点出力

保存

表示	説明
有効	LAN ケーブル接続不良を通知する場合は、チェックを入れます。
アラーム持続時間	アラームの持続時間を設定します。 3 秒、5 秒、10 秒、20 秒、30 秒、60 秒、2 分から選択します。
連携するアラーム出力	LAN ケーブルの接続不良では、以下のアラームを設定できます。 アラーム接点出力 ※各アラームの説明は、4.3.1 の 連携するアラーム出力 を参照してください
保存	設定を保存します。

4.3.3 アラーム入力

センサーアラームの関連パラメータ、連動アラームを設定します。

設定ホーム ▶ アラーム設定 ▶ アラーム入力

検出設定 スケジュール選択

有効

接点形式 N.O. ▼

アラーム持続期間 20秒 ▼

センサー名

連携するアラーム出力

アラーム接点出力

写真をSDカードに保存

SDカード録画

メールを送信

FTPファイル転送

表示	説明
有効	アラーム入力があるときに通知する場合は、チェックを入れます。
接点形式	接点形式を選択します。 N.O. : A 接点。通常 = OFF N.C. : B 接点。通常 = ON
アラーム持続時間	アラームの持続時間を設定します。 3 秒、5 秒、10 秒、20 秒、30 秒、60 秒、2 分から選択します。
センサー名	表示するセンサー名を設定します。
連携するアラーム出力	アラーム入力では、以下の 5 つのアラームを設定できます。 アラーム接点出力、写真を SD カードに保存、SD カード録画、メールを送信、FTP ファイル転送 ※各アラームの説明は、4.3.1 の 連携するアラーム出力 を参照してください
保存	設定を保存します。

➤ スケジュール選択

[スケジュール選択]は、4.3.1 の[「スケジュール選択」](#)を参照してください。

4.3.4 アラーム接点出力

センサーアラームの出力についての関連パラメータを設定します。次の4つのアラーム出力モードから選択します。アラーム連動、手動操作、昼/夜の切替えとの連動、設定された時間で実行。

➤ アラーム連動

イベントの検出(モーション検出やラインクロスなど)に連動して、アラームを出力します。

アラーム出力を行う場合、各イベントの設定で[アラーム接点出力]にチェックを入れる必要があります。

設定ホーム ▶ アラーム設定 ▶ アラーム接点出力

アラーム出力モード	<input type="text" value="アラーム連動"/>
アラーム出力名	<input type="text" value="alarmOut1"/>
アラーム持続期間	<input type="text" value="20秒"/>
接点形式	<input type="text" value="N.C."/>

表示	説明
アラーム出力モード	アラーム連動を選択します。
アラーム出力名	アラーム出力名を設定します。例：alarmOut1
アラーム持続時間	アラームの持続時間を設定します。 イベントのアラーム持続時間が終了した後の、アラーム出力によるアラーム持続時間を設定します。
接点形式	アラームタイプを選択します。 N.O. : A 接点。通常 = OFF N.C. : B 接点。通常 = ON
保存	設定を保存します。

➤ 手動操作

手動でアラーム接点出力の ON/OFF を操作します。

設定ホーム ▶ アラーム設定 ▶ アラーム接点出力

アラーム出力モード

接点形式

手動操作

表示	説明
アラーム出力モード	手動操作を選択します。
接点形式	アラームタイプを選択します。 N.O. : A 接点。通常 = OFF N.C. : B 接点。通常 = ON
手動操作	ON または OFF をクリックしてアラーム接点出力を切り替えます。 ※カメラ内部でリレーの動作音が確認できます。
保存	設定を保存します。

➤ 昼/夜の切り替えとの連動

カメラが昼モードまたは夜モードに切り替わったときに、アラームを出力します。

設定ホーム ▶ アラーム設定 ▶ アラーム接点出力

アラーム出力モード

接点形式

昼

夜

表示	説明
アラーム出力モード	昼/夜の切り替えとの連動を選択します。
接点形式	アラームタイプを選択します。 N.O. : A 接点。通常 = OFF N.C. : B 接点。通常 = ON
昼	昼モードの時に、アラームを ON または OFF にするのか選択します。
夜	夜モードの時に、アラームを ON または OFF にするのか選択します。

保存	設定を保存します。
----	-----------

➤ 設定された時間で実行

指定した時間にアラームを ON にします。

設定ホーム ▶ アラーム設定 ▶ アラーム接点出力

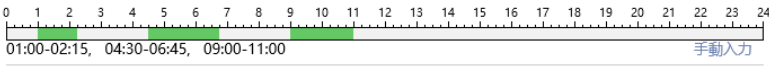
アラーム出力モード

接点形式

○ 削除 ● 追加

時間範囲 

手動入力

表示	説明
アラーム出力モード	設定された時間で実行を選択します。
接点形式	アラームタイプを選択します。 N.O. : A 接点。通常 = OFF N.C. : B 接点。通常 = ON
時間範囲	緑ラインのときに、アラームが ON になります。 削除(OFF)/追加(ON)を選択してから、手動入力をクリックして時間を指定するか、マウスをドラッグして時間を設定します。 
保存	設定を保存します。

4.3.5 アラームサーバ

アラームサーバを設定します。アラームが発生すると、アラームイベントをアラームサーバに転送します。

設定ホーム ▶ アラーム設定 ▶ アラームサーバ

サーバアドレス	<input style="width: 60%;" type="text" value="0.0.0.0"/>
ポート	<input style="width: 60%;" type="text" value="8010"/>
ハートビート	<input style="width: 60%;" type="text" value="無効にする"/> ▼
ハートビート間隔	<input style="width: 60%;" type="text" value="30"/> 秒

ハートビートとは、カメラが正常に動作していることを通知すること。また、通知の一定間隔を設定します。

表示	説明
サーバアドレス	アラームサーバ（NVMS-2.0）のアドレスを設定します。
ポート	アラームサーバ（NVMS-2.0）のポート番号を設定します。
ハートビート	カメラが正常に動作していることを通知します。
ハートビート間隔	ハートビートの通知間隔を設定します。
OK	設定を保存します。

4.4 イベント設定

物体検知、妨害検知、ラインクロス、領域に入る、領域を出る、ターゲットカウント、地域統計、エリア侵入検知、顔検出、ヒートマップなどのサブメニューがあります。

<p> システム設定</p> <p>基本情報 日付と時間 ローカル設定 ストレージ</p>	<p>設定ホーム ▶ イベント設定</p>
<p> 画像設定</p> <p>画像調整 映像/音声 OSD プライバシーマスク ROI構成 レンズの調整</p>	<p>イベント設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 物体検知 物体の置き去り、持ち去り、移動を検知します。 ● 妨害検知 カメラ妨害を検知します (向きを変える、ピンボケ、レンズに物をかざすなど) ● ラインクロス 指定したラインを指定方向に越えたことを検知します ● 領域に入る 指定されたエリアに進入する人と車両のフロー情報を計算します。 ● 領域を出る 指定されたエリアを出る人と車両のフロー情報を計算します。 ● ターゲットカウント ターゲットカウントは、ラインを横切る人と車両の数を数えます。 ● 地域統計 指定エリアの人や車両の流れ情報を計算します。 ● エリア侵入検知 指定した領域に外部から侵入したことを検知します。 ● 顔検出 映像の中の顔を検出して追跡します。 ● ヒートマップ 特定地域の人や車両の分布情報を計算します。
<p> アラーム設定</p> <p>モーション検出 異常 アラーム入力 アラーム接点出力 アラームサーバ</p>	
<p> イベント設定</p> <p>物体検知 妨害検知 ラインクロス 領域に入る 領域を出る ターゲットカウント 地域統計 エリア侵入検知 顔検出 ヒートマップ</p>	
<p> ネットワーク設定</p> <p>TCP/IP ポート 追加...</p>	
<p> セキュリティ設定</p> <p>ユーザー オンラインユーザー ブロックと許可リスト セキュリティー管理</p>	
<p> メンテナンス</p> <p>バックアップと復元 再起動 アップグレード 操作ログ</p>	

4.4.1 物体検知（物体出現・消失検知）

指定したエリアで物体の置き去り、あるいは、持ち去りを検知します。**注意：[置き去り]と[持ち去り]の選択は未サポートです。どちらを選択しても[置き去り]と[持ち去り]の両方を検知します。**

➤ 検出設定

[検出設定]タブを開き、物体検知によるアラームを設定します。

表示	説明
有効	物体検知を有効にする場合は、チェックを入れます。 [置き去り物検出]か[持ち去り物検出]のどちらかを選択します。 注意：[置き去り]と[持ち去り]の選択は未サポートです。どちらを選択しても[置き去り]と[持ち去り]の両方を検知します。
遅延時間	物体を検出するまでの遅延時間を設定します。
アラーム持続時間	アラームの持続時間を設定します。 3 秒、5 秒、10 秒、20 秒、30 秒、60 秒、2 分から選択します。
連携するアラーム出力	以下の 5 つのアラームを設定できます。 アラーム接点出力、写真を SD カードに保存、SD カード録画、メールを送信、FTP ファイル転送 ※各アラームの説明は、4.3.1 の 連携するアラーム出力 を参照してください
保存	設定を保存します。

➤ エリア

[エリア]タブを開き、物体検知の検出エリアを設定します。



表示	説明
検出領域	検出領域は 1 エリアのみ設定できます。
エリアを描く/描画終了	検出エリアを画面上に描画します。
クリア	検出エリアを削除します。
保存	設定を保存します。

物体検知エリアの設定

- ① 検出領域を選択します。(最大 1 つ)
- ② **エリアを描く** をクリックし、ディスプレイ上に検出したいエリアをクリックして赤丸を 4~6 つ置き、線で繋いで検出エリアを作成します。
- ③ **作図終了** をクリックすると、検出エリアの描画を停止します。
- ④ **クリア** をクリックすると、作成した検出エリアが削除されます。
- ⑤ **保存** をクリックし、検出エリアを保存します。



➤ スケジュール選択

[スケジュール選択]タブを開き、物体検知のスケジュールを設定します。

設定ホーム ▶ イベント設定 ▶ 物体検知

検出設定 エリア **スケジュール選択**

○ 削除 ● 追加

一週間の日程

日 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24
00:00-24:00 手動入力

月 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24
00:00-24:00 手動入力

火 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24
00:00-24:00 手動入力

水 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24
00:00-24:00 手動入力

木 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24
00:00-24:00 手動入力

金 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24
00:00-24:00 手動入力

土 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24
00:00-24:00 手動入力

休日設定とスケジュール

日付 09-29 +

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24
00:00-24:00 手動入力

保存

スケジュールの設定方法

◆ 一週間の日程

日曜日～土曜日の一週間のスケジュールを設定します。

削除：物体検知検出を無効にする時間帯を、タイムライン上でクリックまたはドラッグします。(白)

追加：物体検知検出を有効にする時間帯を、タイムライン上でクリックまたはドラッグします。(緑)

手動入力：[削除]または[追加]を選択してから、タイムライン右下の[手動入力]をクリックし、時間帯を設定します。

◆ 休日設定とスケジュール

日付を指定してスケジュールを設定します。

日付を指定し、**+** をクリックします。その後、タイムラインでスケジュールを設定して保存します。

削除するときは、日付を選択してから **-** をクリックします。

4.4.2 妨害検知

カメラへの妨害を検知します。（カメラの向きが急に変わる。ピンボケになる。カメラを隠す。）

➤ 検出設定

[検出設定]タブを開き、妨害検知によるアラームを設定します。

設定ホーム ▶ イベント設定 ▶ 妨害検知

検出設定 感度

急激なシーン変化検出

不鮮明画像（ピンボケ）検出

映像妨害検出

アラーム持続期間 20秒 ▾

連携するアラーム出力

アラーム接点出力




写真をSDカードに保存

SDカード録画

メールを送信

FTPファイル転送

保存

表示	説明
急激なシーン変化検出	急激なシーン変化検出を有効にする場合は、チェックを入れます。 有効に設定したとき、ライブ画面の右上にアイコン  が表示されます。 カメラの向きが急に変わるなどを検出すると、アイコンは赤く点滅します。
不鮮明画像 （ピンボケ）検出	不鮮明画像検出を有効にする場合は、チェックを入れます。 有効に設定したとき、ライブ画面の右上にアイコン  が表示されます。 ピンボケなどを検出すると、アイコンは赤く点滅します。
映像妨害 （隠す、塞ぐ）検出	アラーム入力を有効にする場合は、チェックを入れます。 有効に設定したとき、ライブ画面の右上にアイコン  が表示されます。 カメラが隠されるなどを検出すると、アイコンは赤く点滅します。
アラーム持続時間	アラームの持続時間を設定します。 1 秒、3 秒、5 秒、10 秒、20 秒、30 秒、60 秒、2 分から選択します。

連携するアラーム出力	以下の5つのアラームを設定できます。 アラーム接点出力、写真をSDカードに保存、SDカード録画、メールを送信、FTPファイル転送 ※各アラームの説明は、4.3.1の 連携するアラーム出力 を参照してください
保存	設定を保存します。

➤ 感度

検出感度を設定します。

設定ホーム ▶ イベント設定 ▶ 妨害検知

検出設定 **感度**

感度 50

保存

表示	説明
感度	妨害検知する感度を設定します。値が大きいほど感度は高くなります。
保存	設定を保存します。

4.4.3 ラインクロス（ライン超え検知）

設定したラインを検出対象が指定方向に通過したことを検知します。

➤ 検出設定

[検出設定]タブを開き、ラインクロスによるアラームを設定します。

設定ホーム ▶ イベント設定 ▶ ラインクロス

検出設定 エリア スケジュール選択

有効

元の画像をSDカードに保存

ターゲット画像をSDカードに保存

検出対象

ターゲット	感度
<input checked="" type="checkbox"/> 人間	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="flex-grow: 1; border-bottom: 1px solid gray; position: relative;"> <div style="position: absolute; left: 50%; top: -50%; transform: translate(-50%, -50%);">●</div> </div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 2px 5px; margin-left: 5px;">50</div> </div>
<input checked="" type="checkbox"/> 車両	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="flex-grow: 1; border-bottom: 1px solid gray; position: relative;"> <div style="position: absolute; left: 50%; top: -50%; transform: translate(-50%, -50%);">●</div> </div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 2px 5px; margin-left: 5px;">50</div> </div>
<input checked="" type="checkbox"/> オートバイ/自転車	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="flex-grow: 1; border-bottom: 1px solid gray; position: relative;"> <div style="position: absolute; left: 50%; top: -50%; transform: translate(-50%, -50%);">●</div> </div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 2px 5px; margin-left: 5px;">50</div> </div>

アラーム持続期間 ▼

連携するアラーム出力

アラーム接点出力



写真をSDカードに保存

SDカード録画

メールを送信

FTPファイル転送

保存

表示	説明
有効	ラインクロスを有効にする場合は、チェックを入れます。 有効に設定したとき、ライブ画面の右上にアイコン  が表示されます。 ラインクロスを検出すると、アイコン  は赤く点滅します。
元の画像をSDカードに保存	ラインクロス検出時に全景（第1ストリーム）をキャプチャします。 キャプチャ画像はローカルPC※1またはSDカード※2に保存されます。
ターゲット画像をSDカードに保存	ラインクロスで検出した全景写真からターゲット部分を切り抜いた写真をキャプチャします。 ターゲットの写真はローカルPC※1またはSDカード※2に保存されます。

検出対象	<p>ラインクロスを検出する対象(ターゲット)を選択し、感度を設定します。</p> <p>※感度設定について 設定したイベント検出の感度です。感度の数値を小さくすると検出対象を検出しにくくなります。感度の数値を大きくすると検出しやすくなります。</p> <p>ライブ画面上では、以下のように表示されます。</p> <p><u>通常時</u> 人間：緑色枠 車両：紫色枠 オートバイ/自転車：水色枠 設定したライン：青色線</p> <p><u>検出時</u> ターゲット：黄色枠 ライン：赤色線</p>
アラーム持続時間	<p>アラームの持続時間を設定します。</p> <p>3 秒、5 秒、10 秒、20 秒、30 秒、60 秒、2 分から選択します。</p> <p>持続している間は、ライブ画面上でアイコンが赤く点滅しています。</p>
連携するアラーム出力	<p>以下の 5 つのアラームを設定できます。</p> <p>アラーム接点出力、写真を SD カードに保存、SD カード録画、メールを送信、FTP ファイル転送</p> <p>※各アラームの説明は、4.3.1 の連携するアラーム出力を参照してください</p>
保存	設定を保存します。

※1:ローカル PC に保存する場合は、「4.1.3 **ローカル設定**」の「ローカルスマート静止画保存ストレージ」を有効(ON)にしてください。

写真は、《 静止画保存のパス > picture > IP アドレス > PEA > 日付 》に保存されます。



※2:SD カードに保存する場合は、[連携するアラーム出力](#)の「写真を SD カードに保存」を有効にする必要があります。

➤ エリア

[エリア]タブを開き、ラインクロスを検出エリアを設定します。



表示	説明
検出ライン	検出ラインを選択します。検出ラインは最大 4 パターン設定できます。
検出方向	設定した検出ラインを通過する方向を設定します。 A → B、B → A、A ⇔ B
エリアを描く/作図終了	検出ラインを画面上に描画します。
クリア	設定した検出ラインを削除します。
保存	設定を保存します。

ラインクロスのライン設定

- ① 検出ラインと検出方向を選択します。
- ② **エリアを描く** をクリックし、ディスプレイ上でドラッグし検出ラインを引きます。
- ③ **作図終了** をクリックすると、検出ラインの描画を終了します。
- ④ **クリア** をクリックすると、検出ラインが削除されます
- ⑤ **保存** をクリックし、検出ラインを保存します。



➤ スケジュール選択

[スケジュール選択]タブを開き、ラインクロス検出のスケジュールを設定します。

スケジュールの設定方法

◆ 一週間の日程

日曜日～土曜日の一週間のスケジュールを設定します。


消去：ラインクロス検出を無効にする時間帯を、タイムライン上でクリックまたはドラッグします。(白)

追加：ラインクロス検出を有効にする時間帯を、タイムライン上でクリックまたはドラッグします。(緑)

手動入力：[削除]または[追加]を選択してから、タイムライン右下の[手動入力]をクリックし、時間帯を設定します。

◆ 休日設定とスケジュール

日付を指定してスケジュールを設定します。

日付を指定し、 をクリックします。その後、タイムラインでスケジュールを設定して保存します。

削除するときは、日付を選択してから  をクリックします。

4.4.4 領域に入る（エリア侵入検知）

指定したエリアに侵入する人や車両を検出します。

➤ 検出設定

[検出設定]タブを開き、指定領域に入ったときのアラームを設定します。

設定ホーム ▶ イベント設定 ▶ 領域に入る

検出設定 エリア スケジュール選択

有効

元の画像をSDカードに保存

ターゲット画像をSDカードに保存

検出対象

ターゲット	感度	
<input checked="" type="checkbox"/> 人間	<input type="range" value="50"/>	50
<input checked="" type="checkbox"/> 車両	<input type="range" value="50"/>	50
<input checked="" type="checkbox"/> オートバイ/自転車	<input type="range" value="50"/>	50

アラーム持続期間 ▼

連携するアラーム出力



アラーム接点出力

写真をSDカードに保存

SDカード録画

メールを送信

FTPファイル転送

表示	説明
有効	領域侵入による検出を有効にする場合は、チェックを入れます。 有効に設定したとき、ライブ画面の右上にアイコン  が表示されます。 領域侵入を検出すると、アイコン  は赤く点滅します。
元の画像をSDカードに保存	領域侵入を検出時に全景（第1ストリーム）をキャプチャします。 キャプチャ画像はローカルPC※1またはSDカード※2に保存されます。
ターゲット画像をSDカードに保存	領域侵入を検出時に全景写真からターゲット部分を切り抜いた写真をキャプチャします。 ターゲットの写真はローカルPC※1またはSDカード※2に保存されます。
検出対象	領域侵入を検出する対象(ターゲット)を選択し、感度を設定します。

	<p>※感度設定について 設定したイベント検出の感度です。感度の数値を小さくすると検出対象を検出しにくくなります。感度の数値を大きくすると検出しやすくなります。 ライブ画面上では、以下のように表示されます。</p> <p><u>通常時</u> 人間：緑色枠 車両：紫色枠 オートバイ/自転車：水色枠 設定した枠：青色枠</p> <p><u>検出時</u> ターゲット：黄色枠 侵入エリア：赤色枠</p>
アラーム持続時間	<p>アラームの持続時間を設定します。 3 秒、5 秒、10 秒、20 秒、30 秒、60 秒、2 分から選択します。 持続している間は、ライブ画面上でアイコンが赤く点滅しています。</p>
連携するアラーム出力	<p>以下の 5 つのアラームを設定できます。 アラーム接点出力、写真を SD カードに保存、SD カード録画、メールを送信、FTP ファイル転送 ※各アラームの説明は、4.3.1 の連携するアラーム出力を参照してください</p>
保存	<p>設定を保存します。</p>

※1:ローカル PC に保存する場合は、「4.1.3 **ローカル設定**」の「ローカルスマート静止画保存ストレージ」を有効(ON)にしてください。

写真は、《 静止画保存のパス > picture > IP アドレス > PEA > 日付 》に保存されます。



※2:SD カードに保存する場合は、[連携するアラーム出力](#)の「写真を SD カードに保存」にチェックを入れて有効にする必要があります。

➤ エリア

[エリア]タブを開き、領域侵入の検出エリアを描画します。



表示	説明
検出領域	検出領域を選択します。検出領域は最大 4 パターン設定できます。
エリアを描く/作図終了	検出エリアを画面上に描画します。 マウスで画面上にクリックすると赤い点が表示されます。囲むようにクリックします。
クリア	検出エリアを削除します。
保存	設定を保存します。

領域に入る エリア設定

- ① 検出領域を選択します。最大 4 つ設定できます。
- ② **エリアを描く** をクリックし、ディスプレイ上でクリックし赤丸を 4～6 つ置き、線で繋ぎ侵入検出エリアを作成します。
- ③ **作図終了** をクリックすると、検出エリアの描画を終了します。
- ④ **クリア** をクリックすると、検出エリアが削除されます
- ⑤ **保存** をクリックし、検出エリアを保存します。



➤ スケジュール選択

[スケジュール選択]タブを開き、領域侵入のスケジュールを設定します。

スケジュールの設定方法

◆ 一週間の日程

日曜日～土曜日の一週間のスケジュールを設定します。


消去：領域侵入を無効にする時間帯を、タイムライン上でクリックまたはドラッグします。(白)

追加：領域侵入を有効にする時間帯を、タイムライン上でクリックまたはドラッグします。(緑)

手動入力：[削除]または[追加]を選択してから、タイムライン右下の[手動入力]をクリックし、時間帯を設定します。

◆ 休日設定とスケジュール

日付を指定してスケジュールを設定します。

日付を指定し、 をクリックします。その後、タイムラインでスケジュールを設定して保存します。

削除するときは、日付を選択してから  をクリックします。

4.4.5 領域を出る（エリア退出検知）

指定したエリアから出る人や車両を検知します。

➤ 検出設定

[検出設定]タブを開き、指定領域から出るときのアラームを設定します。

設定ホーム ▶ イベント設定 ▶ 領域を出る

検出設定 エリア スケジュール選択

有効

元の画像をSDカードに保存

ターゲット画像をSDカードに保存

検出対象

ターゲット	感度	値
<input checked="" type="checkbox"/> 人間	<input type="range" value="50"/>	50
<input checked="" type="checkbox"/> 車両	<input type="range" value="50"/>	50
<input checked="" type="checkbox"/> オートバイ/自転車	<input type="range" value="50"/>	50

アラーム持続期間

連携するアラーム出力



アラーム接点出力

写真をSDカードに保存

SDカード録画

メールを送信

FTPファイル転送

表示	説明
有効	領域退出による検出を有効にする場合は、チェックを入れます。 有効に設定したとき、ライブ画面の右上にアイコン  が表示されます。 領域退出を検出すると、アイコン  は赤く点滅します。
元の画像をSDカードに保存	領域退出を検出時に全景（第1ストリーム）をキャプチャします。 キャプチャ画像はローカルPC※1またはSDカード※2に保存されます。
ターゲット画像をSDカードに保存	領域退出を検出時に全景写真からターゲット部分を切り抜いた写真をキャプチャします。 ターゲットの写真はローカルPC※1またはSDカード※2に保存されます。
検出対象	領域退出を検出する対象(ターゲット)を選択し、感度を設定します。

	<p>※感度設定について 設定したイベント検出の感度です。感度の数値を小さくすると検出対象を検出しにくくなります。感度の数値を大きくすると検出しやすくなります。 ライブ画面上では、以下のように表示されます。</p> <p><u>通常時</u> 人間：緑色枠 車両：紫色枠 オートバイ/自転車：水色枠 設定した枠：青色枠</p> <p><u>検出時</u> ターゲット：黄色枠 侵入エリア：赤色枠</p>
アラーム持続時間	<p>アラームの持続時間を設定します。 3 秒、5 秒、10 秒、20 秒、30 秒、60 秒、2 分から選択します。 持続している間は、ライブ画面上でアイコンが赤く点滅しています。</p>
連携するアラーム出力	<p>以下の 5 つのアラームを設定できます。 アラーム接点出力、写真を SD カードに保存、SD カード録画、メールを送信、FTP ファイル転送 ※各アラームの説明は、4.3.1 の連携するアラーム出力を参照してください</p>
保存	<p>設定を保存します。</p>

※1:ローカル PC に保存する場合は、「4.1.3 **ローカル設定**」の「ローカルスマート静止画保存ストレージ」を有効(ON)にしてください。

写真は、《 静止画保存のパス > picture > IP アドレス > PEA > 日付 》に保存されます。



※2:SD カードに保存する場合は、[連携するアラーム出力](#)の「写真を SD カードに保存」にチェックを入れて有効にする必要があります。

➤ エリア

[エリア]タブを開き、領域退出の検出エリアを描画します。



表示	説明
検出ライン	検出領域を選択します。検出領域は最大 4 パターン設定できます。
エリアを描く/作図終了	検出エリアを画面上に描画します。 マウスで画面上にクリックすると赤い点が表示されます。囲むようにクリックします。
クリア	検出エリアを削除します。
保存	設定を保存します。

領域を出る エリア設定

- ① 検出領域を選択します。最大 4 つ設定できます。
- ② **エリアを描く** をクリックし、ディスプレイ上でクリックし赤丸を 4～6 つ置き、線で繋ぎ退出検出エリアを作成します。
- ③ **作図終了** をクリックすると、退出エリアの描画を終了します。
- ④ **クリア** をクリックすると、検出エリアが削除されます
- ⑤ **保存** をクリックし、検出エリアを保存します。



➤ スケジュール選択

[スケジュール選択]タブを開き、領域退出のスケジュールを設定します。

設定ホーム ▶ イベント設定 ▶ 領域退出

検出設定 エリア **スケジュール選択**

削除 追加

一週間の日程

日 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24
00:00-24:00 手動入力

月 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24
00:00-24:00 手動入力

火 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24
00:00-24:00 手動入力

水 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24
00:00-24:00 手動入力

木 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24
00:00-24:00 手動入力

金 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24
00:00-24:00 手動入力

土 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24
00:00-24:00 手動入力

休日設定とスケジュール

日付 09-30 +

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24
00:00-24:00 手動入力

保存

スケジュールの設定方法

◆ 一週間の日程

日曜日～土曜日の一週間のスケジュールを設定します。

消去：領域退出を無効にする時間帯を、タイムライン上でクリックまたはドラッグします。(白)

追加：領域退出を有効にする時間帯を、タイムライン上でクリックまたはドラッグします。(緑)

手動入力：[削除]または[追加]を選択してから、タイムライン右下の[手動入力]をクリックし、時間帯を設定します。

◆ 休日設定とスケジュール

日付を指定してスケジュールを設定します。

日付を指定し、**+** をクリックします。その後、タイムラインでスケジュールを設定して保存します。



削除するときは、日付を選択してから **-** をクリックします。


4.4.6 ターゲットカウント（ライン通過カウント）

設定したラインを通過する人や車両、オートバイ・自転車の数をカウントします。

➤ 検出設定

[検出設定]タブを開き、指定したラインを通過する人や車両、オートバイ・自転車のアラーム設定をします。

表示	説明
有効	ラインの通過によるカウントを有効にする場合は、チェックを入れます。 有効に設定したとき、ライブ画面の右上にアイコン  が表示されます。 ライン通過を検出すると、アイコン  は赤く点滅します。
元の画像を SD カードに保存	ラインの通過を検出時に全景（第 1 ストリーム）をキャプチャします。 キャプチャ画像はローカル PC※1 または SD カード※2 に保存されます。
ターゲット画像を SD カードに保存	ラインの通過を検出時に全景写真からターゲット部分を切り抜いた写真をキャプチャします。 ターゲットの写真はローカル PC※1 または SD カード※2 に保存されます。

検出対象	<p>ラインの通過を検出する対象(ターゲット)を選択し、感度を設定します。 検出エリア内での滞在検出時間を滞在しきい値として設定します。</p> <p>※感度設定について 設定したイベント検出の感度です。感度の数値を小さくすると検出対象を検出しにくくなります。感度の数値を大きくすると検出しやすくなります。 ライブ画面上では、以下のように表示されます。</p> <p><u>通常時</u> 人間：緑色枠 車両：紫色枠 オートバイ/自転車：水色枠 設定した枠：青色枠</p> <p><u>検出時</u> ターゲット：黄色枠 エリア侵入：赤色枠</p>
カウントリセット	<p>[設定された時間で実行]で、カウントリセットの間隔を設定します。</p> <p>毎日：時間を指定します。 毎週：曜日(日～土)と時間を指定します。 毎月：日にち(1～31)と時間を指定します。 オフ：カウントリセットはしません。 マニュアル： をクリックして、手動でリセットを行います。</p>
アラーム持続時間	<p>アラームの持続時間を設定します。 3 秒、5 秒、10 秒、20 秒、30 秒、60 秒、2 分から選択します。 持続している間は、ライブ画面上でアイコンが赤く点滅しています。</p>
連携するアラーム出力	<p>以下の5つのアラームを設定できます。 アラーム接点出力、写真をSDカードに保存、SDカード録画、メールを送信、FTPファイル転送 ※各アラームの説明は、4.3.1の連携するアラーム出力を参照してください</p>
保存	<p>設定を保存します。</p>

※1:ローカル PC に保存する場合は、「4.1.3 **ローカル設定**」の「ローカルスマート静止画保存ストレージ」を有効(ON)にしてください。

写真は、《 静止画保存のパス > picture > IP アドレス > PEA > 日付 》に保存されます。



※2:SDカードに保存する場合は、[連携するアラーム出力](#)の「写真をSDカードに保存」を有効にする必要があります。

➤ エリア

[エリア]タブを開き、ターゲットカウントの検出ラインを描画します。




表示	説明
検出ライン	検出ラインを選択します。検出ラインは最大 1 パターン設定できます。
検出方向	設定した検出ラインを通過する方向を設定します。 A → B、B → A
統計	画面に統計情報を表示する場合はチェックします。
エリアを描く/作図終了	検出ラインを画面上に描画します。
クリア	設定した検出ラインを削除します。
保存	設定を保存します。

ターゲットカウントのライン設定

- ① 検出ラインは 1 つのみ設定できます。
ラインに対する A エリアと B エリアの検出方向を設定します。
A->B : A から B を Entrance (入る)、B から A を Exit (出る) でカウントします。
A<-B : A から B を Exit (出る)、B から A を Entrance (入る) でカウントします。



- ② **エリアを描く** をクリックし、ディスプレイ上でドラッグし検出ラインを作成します。
- ③ **作図終了** をクリックすると、検出ラインの描画を終了します。
- ④ **クリア** をクリックすると、検出ラインが削除されます、

- ⑤ Entrance（入る）と Exit（出る）のカウンタを表示します。右上の赤枠をドラッグすると表示位置を変更できます。
- ⑥  をクリックし、検出ラインを保存します。

➤ スケジュール選択

[スケジュール選択]タブを開き、ターゲットカウントのスケジュールを設定します。

スケジュールの設定方法

◆ 一週間の日程

日曜日～土曜日の一週間のスケジュールを設定します。


消去：ターゲットカウントを無効にする時間帯を、タイムライン上でクリックまたはドラッグします。(白)

追加：ターゲットカウントを有効にする時間帯を、タイムライン上でクリックまたはドラッグします。(緑)

手動入力：[削除]または[追加]を選択してから、タイムライン右下の[手動入力]をクリックし、時間帯を設定します。

◆ 休日設定とスケジュール

日付を指定してスケジュールを設定します。

日付を指定し、 をクリックします。その後、タイムラインでスケジュールを設定して保存します。



削除するときは、日付を選択してから  をクリックします。


4.4.7 地域統計（エリア内滞留カウント）

指定したエリアに存在する物体をカウントします。

➤ 検出設定

[検出設定]タブを開き、指定したエリアに存在する物体のカウントとアラーム設定をします。

表示	説明
有効	地域統計を有効にする場合は、チェックを入れます。 有効に設定したとき、ライブ画面の右上にアイコン  が表示されます。 検出対象を検出すると、アイコン  は赤く点滅します。
元の画像を SD カードに保存	検出対象を検出時に全景（第 1 ストリーム）をキャプチャします。 キャプチャ画像はローカル PC※1 または SD カード※2 に保存されます。
ターゲット画像を SD カードに保存	検出対象を検出時に全景写真からターゲット部分を切り抜いた写真をキャプチャします。 ターゲットの写真はローカル PC※1 または SD カード※2 に保存されます。
検出対象	検出エリア内で検出する対象(ターゲット)を選択し、感度を設定します。

	<p>検出エリア内での滞在検出時間を滞在しきい値として設定します。</p> <p>※感度設定について 設定したイベント検出の感度です。感度の数値を小さくすると検出対象を検出しにくくなります。感度の数値を大きくすると検出しやすくなります。</p> <p>ライブ画面上では、以下のように表示されます。</p> <p><u>通常時</u> 人間：緑色枠 車両：紫色枠 オートバイ/自転車：水色枠 設定した枠：青色枠</p> <p><u>検出時</u> ターゲット：黄色枠 エリア侵入：赤色枠</p>
カウントリセット	<p>[設定された時間で実行]で、カウントリセットの間隔を設定します。</p> <p>毎日：時間を指定します。</p> <p>毎週：曜日(日～土)と時間を指定します。</p> <p>毎月：日にち(1～31)と時間を指定します。</p> <p>オフ：カウントリセットはしません。</p> <p>マニュアル： をクリックして、手動でリセットを行います。</p>
アラーム持続時間	<p>アラームの持続時間を設定します。</p> <p>3 秒、5 秒、10 秒、20 秒、30 秒、60 秒、2 分から選択します。</p> <p>持続している間は、ライブ画面上でアイコンが赤く点滅しています。</p>
連携するアラーム出力	<p>以下の 5 つのアラームを設定できます。</p> <p>アラーム接点出力、写真を SD カードに保存、SD カード録画、メールを送信、FTP ファイル転送</p> <p>※各アラームの説明は、4.3.1 の連携するアラーム出力を参照してください</p>
保存	<p>設定を保存します。</p>

※1:ローカル PC に保存する場合は、「4.1.3 **ローカル設定**」の「ローカルスマート静止画保存ストレージ」を有効(ON)にしてください。

写真は、《 静止画保存のパス > picture > IP アドレス > PEA > 日付 》に保存されます。



※2:SD カードに保存する場合は、[連携するアラーム出力](#)の「写真を SD カードに保存」を有効にする必要があります。

➤ エリア

[エリア]タブを開き、地域統計の検出領域を描画します。



表示	説明
検出領域	検出領域を選択します。検出領域は最大 1 パターン設定できます。
統計	画面に統計情報を表示する場合はチェックします。
エリアを描く/作図終了	検出エリアを画面上に描画します。
クリア	設定した検出エリアを削除します。
保存	設定を保存します。

検出領域のエリア設定

- ① 検出領域を選択します。1 エリアのみ設定できます。
- ② **エリアを描く** をクリックし、ディスプレイ上でクリックし赤丸を 4~6 つ置き、線で繋ぎ地域統計検出エリアを作成します。
- ③ **作図終了** をクリックすると、検出エリアの描画を終了します。
- ④ **クリア** をクリックすると、検出エリアが削除されます。
- ⑤ 赤枠の統計情報の表示領域をクリックしてドラックすると、表示場所を変更できます。
- ⑥ **保存** をクリックし、検出エリアを保存します。



➤ スケジュール選択

[スケジュール選択]タブを開き、地域統計のスケジュールを設定します。

スケジュールの設定方法

◆ 一週間の日程

日曜日～土曜日の一週間のスケジュールを設定します。


消去：地域統計を無効にする時間帯を、タイムライン上でクリックまたはドラッグします。(白)

追加：地域統計を有効にする時間帯を、タイムライン上でクリックまたはドラッグします。(緑)

手動入力：[削除]または[追加]を選択してから、タイムライン右下の[手動入力]をクリックし、時間帯を設定します。

◆ 休日設定とスケジュール

日付を指定してスケジュールを設定します。

日付を指定し、 をクリックします。その後、タイムラインでスケジュールを設定して保存します。

削除するときは、日付を選択してから  をクリックします。

4.4.8 エリア侵入検知（エリア内活動検知）

指定したエリアに侵入したことを検知します。

➤ 検出設定

[検出設定]タブを開き、指定したエリアに侵入したときのアラームを設定します。

設定ホーム ▶ イベント設定 ▶ エリア侵入検知

検出設定 エリア スケジュール選択

有効

元の画像をSDカードに保存

ターゲット画像をSDカードに保存

検出対象

ターゲット	感度
<input checked="" type="checkbox"/> 人間	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="flex-grow: 1; border-bottom: 1px solid gray; position: relative;"> <div style="position: absolute; right: -10px; top: -5px;">50</div> </div> </div>
<input checked="" type="checkbox"/> 車両	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="flex-grow: 1; border-bottom: 1px solid gray; position: relative;"> <div style="position: absolute; right: -10px; top: -5px;">50</div> </div> </div>
<input checked="" type="checkbox"/> オートバイ/自転車	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="flex-grow: 1; border-bottom: 1px solid gray; position: relative;"> <div style="position: absolute; right: -10px; top: -5px;">50</div> </div> </div>

アラーム持続期間 20秒

連携するアラーム出力

アラーム接点出力



写真をSDカードに保存

SDカード録画

メールを送信

FTPファイル転送

保存

表示	説明
有効	エリア侵入による検出を有効にする場合は、チェックを入れます。 有効に設定したとき、ライブ画面の右上にアイコン  が表示されます。 エリア侵入を検出すると、アイコン  は赤く点滅します。
元の画像をSDカードに保存	エリア侵入による検出時に全景（第1ストリーム）をキャプチャします。 キャプチャ画像はローカルPC※1またはSDカード※2に保存されます。
ターゲット画像をSDカードに保存	エリア侵入による検出時に全景写真からターゲット部分を切り抜いた写真をキャプチャします。 ターゲットの写真はローカルPC※1またはSDカード※2に保存されます。

検出対象	<p>エリア侵入を検出する対象(ターゲット)を選択し、感度を設定します。</p> <p>※感度設定について 設定したイベント検出の感度です。感度の数値を小さくすると検出対象を検出しにくくなります。感度の数値を大きくすると検出しやすくなります。</p> <p>ライブ画面上では、以下のように表示されます。</p> <p><u>通常時</u> 人間：緑色枠 車両：紫色枠 オートバイ/自転車：水色枠 設定した枠：青色枠</p> <p><u>検出時</u> ターゲット：黄色枠 エリア侵入：赤色枠</p>
アラーム持続時間	<p>アラームの持続時間を設定します。</p> <p>3 秒、5 秒、10 秒、20 秒、30 秒、60 秒、2 分から選択します。</p> <p>持続している間は、ライブ画面上でアイコンが赤く点滅しています。</p>
連携するアラーム出力	<p>以下の 5 つのアラームを設定できます。</p> <p>アラーム接点出力、写真を SD カードに保存、SD カード録画、メールを送信、FTP ファイル転送</p> <p>※各アラームの説明は、4.3.1 の連携するアラーム出力を参照してください</p>
保存	設定を保存します。

※1:ローカル PC に保存する場合は、「4.1.3 **ローカル設定**」の「ローカルスマート静止画保存ストレージ」を有効(ON)にしてください。

写真は、《 静止画保存のパス > picture > IP アドレス > PEA > 日付 》に保存されます。



※2:SD カードに保存する場合は、[連携するアラーム出力](#)の「写真を SD カードに保存」を有効にする必要があります。

➤ エリア

[エリア]タブを開き、エリア侵入検知の検出エリアを描画します。



表示	説明
検出領域	検出領域を選択します。検出領域は最大 4 パターン設定できます。
エリアを描く/作図終了	検出エリアを画面上に描画します。 マウスで画面上にクリックすると赤い点が表示されます。囲むようにクリックします。
クリア	検出エリアを削除します。
保存	設定を保存します。

エリア侵入検出 エリア設定

- ① 検出領域を選択します。最大 4 つ設定できます。
- ② **エリアを描く** をクリックし、ディスプレイ上でクリックし赤丸を 4~6 つ置き、線で繋ぎエリア侵入検出エリアを作成します。
- ③ **作図終了** をクリックすると、検出エリアの描画を終了します。
- ④ **クリア** をクリックすると、検出エリアが削除されます
- ⑤ **保存** をクリックし、検出エリアを保存します。



➤ スケジュール選択

[スケジュール選択]タブを開き、エリア侵入検知のスケジュールを設定します。

設定ホーム ▶ イベント設定 ▶ エリア侵入検知

検出設定 エリア **スケジュール選択**

○ 削除 ● 追加

一週間の日程

日 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24
00:00-24:00 手動入力

月 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24
00:00-24:00 手動入力

火 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24
00:00-24:00 手動入力

水 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24
00:00-24:00 手動入力

木 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24
00:00-24:00 手動入力

金 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24
00:00-24:00 手動入力

土 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24
00:00-24:00 手動入力

休日設定とスケジュール

日付 09-30 +

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24
00:00-24:00 手動入力

保存

スケジュールの設定方法

◆ 一週間の日程

日曜日～土曜日の一週間のスケジュールを設定します。

消去：エリア侵入検知を無効にする時間帯を、タイムライン上でクリックまたはドラッグします。(白)

追加：エリア侵入検知を有効にする時間帯を、タイムライン上でクリックまたはドラッグします。(緑)

手動入力：[削除]または[追加]を選択してから、タイムライン右下の[手動入力]をクリックし、時間帯を設定します。

◆ 休日設定とスケジュール

日付を指定してスケジュールを設定します。

日付を指定し、**+** をクリックします。その後、タイムラインでスケジュールを設定して保存します。

削除するときは、日付を選択してから **-** をクリックします。

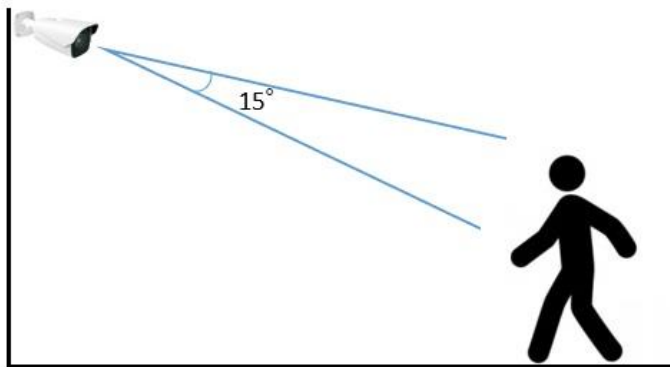
4.4.9 顔検出

映像の中の顔を検出して追跡を行います。本機にはデータベース機能はありません。

顔比較のデータベース機能を持つ NVR/VMS と連携して使用してください。

カメラおよび周辺地域の構成要件

- ◆ カメラは、安定した十分な光源のある場所に設置すること。
- ◆ 設置高さは 2.0m～3.5m の範囲で、レンズの焦点距離と対象物の距離に応じて調整すること。
- ◆ カメラの俯角※1 は、15°以下でなければならない。



※1 俯角：水平方向に見下ろしたときの、検出可能な角度。

- ◆ 顔検出の精度を確保するため、左右方向に 30°以内、上下方向に 20°以内の顔のみ撮影されます。
- ◆ 混雑したシーン(空港、駅、広場など)、逆光のシーン、交差点などは撮影できません。

➤ 検出設定

[検出設定]タブを開き、指定したエリアで顔を検出したときのアラームを設定します。

設定ホーム ▶ イベント設定 ▶ 顔検出

検出設定
エリア
高度な設定
スケジュール選択

状態 ワーキング

有効

ソース情報をSDカードに保存

顔情報をSDカードに保存

アラームトリガー状態 全てのアラーム ▼

アラーム持続期間 20秒 ▼

連携するアラーム出力

アラーム接点出力




写真をSDカードに保存

SDカード録画

メールを送信

FTPファイル転送

保存

表示	説明
状態	状態を表示します。
有効	顔検出を有効にする場合は、チェックを入れます。 有効に設定したとき、ライブ画面の右上にアイコン  が表示されます。 顔検出後に、アイコンは赤く  点滅します。また、右下の  で、検出された顔を確認することができます。
ソース情報をSDカードに保存	顔検出時に全景（第1ストリーム）をキャプチャします。 キャプチャ画像はローカル PC※1 または SDカード※2 に保存されます。
顔情報をSDカードに保存	顔検出時に全景写真からターゲット部分を切り抜いた写真をキャプチャします。 ターゲットの写真はローカル PC※1 または SDカード※2 に保存されます。
アラーム持続時間	アラームの持続時間を設定します。

	3 秒、5 秒、10 秒、20 秒、30 秒、60 秒、2 分から選択します。 持続している間は、ライブ画面上でアイコンが赤く点滅しています。
連携するアラーム出力	以下の 5 つのアラームを設定できます。 アラーム接点出力、写真を SD カードに保存、SD カード録画、メールを送信、FTP ファイル転送 ※各アラームの説明は、4.3.1 の 連携するアラーム出力 を参照してください
保存	設定を保存します。

※1:ローカル PC に保存する場合は、「4.1.3 **ローカル設定**」の「ローカルスマート静止画保存ストレージ」を有効(ON)にしてください。

写真は、《 静止画保存のパス > picture > IP アドレス > PEA > 日付 》に保存されます。



※2:SD カードに保存する場合は、[連携するアラーム出力](#)の「写真を SD カードに保存」を有効にする必要があります。

➤ エリア

[エリア]タブを開き、顔検出エリア（黄色枠）と顔の大きさを設定します。



表示	説明
エリアを描く/作図終了	顔検出エリアを画面上に描画します。 マウスで画面上をドラッグして描画します。最初は黄色枠が全体に設定されています。クリアを押して黄色枠を削除してから作成します。 (黄色枠の中で顔検出します。検出領域は1か所設定できます。)
クリア	検出エリアを削除します。
最小	検出する顔の最小サイズを設定します。
最大	検出する顔の最大サイズを設定します。
保存	設定を保存します。

顔検出エリアと検出する顔の大きさを設定

- ① **エリアを描く** をクリックし、ディスプレイ上に黄色の枠で顔検出エリアを作成します。検出エリアは 1 か所設定できます。
- ② **作画終了** をクリックすると、顔検出エリアの描画を停止します。
- ③ **クリア** をクリックすると、検出エリアが削除されます。
- ④ 次に顔の大きさの最小値と最大値を設定します。(設定範囲：3~50%)
 選択されている方は赤い点で表されます。**エリアを描く** をクリックしたときは、赤い点をドラッグすることで大きさが調節できます。
- ⑤ **保存** をクリックし、検出エリアと顔の大きさを保存します。



➤ 高度な設定

顔検出に関する設定をします。

設定ホーム ▶ イベント設定 ▶ 顔検出

検出設定 エリア **高度な設定** スケジュール選択

重複排除期間

重複期間 ▼

写真撮影数

保存

表示	説明
重複期間 (撮影時間間隔)	写真を撮影する間隔を設定します。 30 秒が選択されている場合、同じターゲットが映像内に存在していると 30 秒に 1 度キャプチャします。
写真撮影数	チェックを入れることで、スナップショットの枚数を指定できます。上記の撮影時間間隔で、最大何枚の写真を撮影するか設定します。チェックが外れている(無効)場合、撮影時間間隔(上図では 30 秒間隔)で 1 枚撮影します。
保存	設定を保存します。

➤ スケジュール選択

[スケジュール選択]タブを開き、スケジュールを設定します。

設定ホーム ▶ イベント設定 ▶ 顔検出

検出設定 エリア 高度な設定 **スケジュール選択**

○ 削除 ● 追加

一週間の日程

日 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24
00:00-24:00 手動入力

月 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24
00:00-24:00 手動入力

火 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24
00:00-24:00 手動入力

水 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24
00:00-24:00 手動入力

木 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24
00:00-24:00 手動入力

金 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24
00:00-24:00 手動入力

土 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24
00:00-24:00 手動入力

休日設定とスケジュール

日付 09-30 +

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24
00:00-24:00 手動入力

保存

スケジュールの設定方法

◆ 一週間の日程

日曜日～土曜日の一週間のスケジュールを設定します。


消去：顔検出を無効にする時間帯を、タイムライン上でクリックまたはドラッグします。(白)

追加：顔検出を有効にする時間帯を、タイムライン上でクリックまたはドラッグします。(緑)

手動入力：[削除]または[追加]を選択してから、タイムライン右下の[手動入力]をクリックし、時間帯を設定します。

◆ 休日設定とスケジュール

日付を指定してスケジュールを設定します。

日付を指定し、 をクリックします。その後、タイムラインでスケジュールを設定して保存します。


削除するときは、日付を選択してから  をクリックします。

4.4.10 ヒートマップ

指定したエリアの人や車両の分布情報を計算します。

➤ 検出設定

[検出設定]タブを開き、検出対象を設定します。

表示	説明
有効	ヒートマップを有効にする場合は、チェックを入れます。 有効に設定したとき、ライブ画面の右上にアイコン  が表示されます。
検出対象	エリア侵入を検出する対象(ターゲット)を選択し、感度を設定します。 またライブ画面上では、以下のように表示されます。 <u>通常時</u> 人間：緑色枠 車両：紫色枠 オートバイ/自転車：水色枠 設定した枠：青色枠 <u>検出時</u> ターゲット：黄色枠 エリア侵入：赤色枠
保存	設定を保存します。

➤ エリア

[エリア]タブを開き、ヒートマップ検出エリアを設定します。



表示	説明
検出領域	検出領域を選択します。検出領域は最大 4 パターン設定できます。
エリアを描く/作図終了	検出エリアを画面上に描画します。 マウスで画面上にクリックすると赤い点が表示されます。囲むようにクリックします。
クリア	検出エリアを削除します。
保存	設定を保存します。

エリア設定

- ① 検出領域を選択します。
- ② **エリアを描く** をクリックし、ディスプレイ上でクリックし赤丸を 4~6 つ置き、線で繋ぎヒートマップ検出エリアを作成します。
- ③ **作図終了** をクリックすると、検出エリアの描画を終了します。
- ④ **クリア** をクリックすると、検出エリアが削除されます
- ⑤ **保存** をクリックし、検出エリアを保存します。



➤ スケジュール選択

[スケジュール選択]タブを開き、スケジュールを設定します。

スケジュールの設定方法

◆ 一週間の日程

日曜日～土曜日の一週間のスケジュールを設定します。


消去：ヒートマップを無効にする時間帯を、タイムライン上でクリックまたはドラッグします。(白)

追加：ヒートマップを有効にする時間帯を、タイムライン上でクリックまたはドラッグします。(緑)

手動入力：[削除]または[追加]を選択してから、タイムライン右下の[手動入力]をクリックし、時間帯を設定します。

◆ 休日設定とスケジュール

日付を指定してスケジュールを設定します。

日付を指定し、 をクリックします。その後、タイムラインでスケジュールを設定して保存します。

削除するときは、日付を選択してから をクリックします。

4.5 ネットワーク

TCP/IP、ポート、サーバ、ONVIF、DDNS、SNMP、802.1X、RTSP、RTMP、UPnP、Email、FTP、HTTP POST、HTTPS、QoS などのサブメニューがあります。

<p>システム設定 基本情報 日付と時間 ローカル設定 ストレージ</p>	<p>設定ホーム ▶ ネットワーク設定</p> <p>ネットワーク設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ● TCP/IP ネットワークを設定します。(IPアドレス、DNSサーバ、PPPoEなど) ● ポート HTTP、HTTPS、データ、RTSPなどのポート設定 ● サーバ 認証サーバを設定します。 ● ONVIF 統合プロトコルユーザーは、RTSPおよびOnvifプロトコルのログイン管理に適用されます。Onvifプロトコルの追加、変更、削除、およびクエリは、統合プロトコルのユーザーを操作しています。 ● DDNS DDNSサーバを設定します。 ● SNMP ネットワーク機器を監視してネットワーク障害の原因を把握します。 ● 802.1X デバイスの認証モードを手動で選択できるようにします。 ● RTSP リモートビデオストリーミングを使用する場合はRTSPを設定します。 ● RTMP リモートビデオストリーミングのRTMP設定と構成。 ● UPnP ネットワークに接続する機器同士の接続を簡単にします。 ● Email メール設定を行います。 ● FTP FTPサーバを設定します。 ● HTTP POST デバイスからの通知やアラームなどを受信するために使用できるHTTPPOSTサーバをセットアップします。 ▼ HTTPS httpsはSSLを利用したhttp通信です。SSLは通信を暗号化し、安全に情報を取り扱うことができます。 ▼ QoS ネットワーク機器にQoSを実装することで、特定の通信を優先して伝送させたり、帯域幅を確保することができます。
<p>画像設定 画像調整 映像/音声 OSD プライバシーマスク ROI構成 レンズの調整</p>	
<p>アラーム設定 モーション検出 異常 アラーム入力 アラーム接点出力 アラームサーバ</p>	
<p>イベント設定 物体検知 妨害検知 ラインクロス 領域に入る 領域を出る ターゲットカウント 地域統計 エリア侵入検知 顔検出 ヒートマップ</p>	
<p>ネットワーク設定 TCP/IP ポート 追加...</p>	
<p>セキュリティ設定 ユーザー オンラインユーザー ブロックと許可リスト セキュリティ管理</p>	
<p>メンテナンス バックアップと復元 再起動 アップグレード 操作ログ</p>	

4.5.1 TCP/IP

ネットワークの設定を行います。(IPv4 アドレス、IPv6 アドレス、PPPoE など)

設定ホーム ▶ ネットワーク設定 ▶ TCP/IP

IPv4 IPv6 PPPoE設定 IP変更通知設定

自動的にIPアドレスを取得する

以下のIPアドレスを使う

IPアドレス

サブネットマスク

ゲートウェイ

優先DNSサーバ

代替DNSサーバ

➤ IPv4 アドレス

IPv4 の設定方法

◆ 自動的に IP アドレスを取得する

DHCP より自動的に IP アドレスを取得します。

◆ 以下の IP アドレスを使う

IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、DNS サーバを手動で設定・変更する必要があります。

をクリックすると、IP アドレスが使えるのか(競合していないか)確認することができます。

設定ホーム ▶ ネットワーク設定 ▶ TCP/IP

IPv4 IPv6 PPPoE設定 IP変更通知設定

自動的にIPアドレスを取得する

以下のIPアドレスを使う

IPアドレス

サブネットマスク

ゲートウェイ

優先DNSサーバ

代替DNSサーバ

➤ IPv6 アドレス

IPv6 の設定方法

◆ **自動的に IP アドレスを取得する**

DHCP より自動的に IP アドレスを取得します。

◆ **以下の IP アドレスを使う**

IP アドレス、サブネットプレフィックス長さ、ゲートウェイを手動で設定・変更する必要があります

➤ PPPoE 設定

有効にチェックを入れ、PPPoE を有効にします。

ISP(プロバイダ)から提供された、ユーザー名とパスワードを入力し、保存をクリックします。

WAN IP を取得すると、インターネットに接続できます。

➤ IP 変更通知設定

デバイスの IP アドレスを変更すると、新しい IP アドレスが自動的にメールまたは FTP に送信されます。

IPv4 IPv6 PPPoE設定 IP変更通知設定

Eメールを送信

メールの送信先

@hytec.co.jp

@yahoo.co.jp

@gmail.com

FTPファイル転送

サーバアドレス

172.16.2.3

保存

[Eメールを送信]にチェックを入れると、Eメールによる通知が有効になります。

通知メールの送信先をリストから選択します。

※Eメール通知の送受信に関する設定は、「4.5.11」で事前に行う必要があります。

[FTPファイル]にチェックを入れると、FTPサーバへのファイル転送が有効になります。

FTPサーバをリストから選択します。

※FTPサーバに関する設定は、「4.5.12」で事前に行う必要があります。

保存 をクリックして、設定を保存します。

4.5.2 ポート

HTTP、HTTPS、データ、RTSP のポート番号を設定します。

設定ホーム ▶ ネットワーク設定 ▶ 高度な設定

ポート	サーバー	ONVIF	DDNS	SNMP	802.1X	RTSP	RTMP	UPnP	Email	FTP	HTTP POST	HTTPS	QoS
HTTPポート	<input type="text" value="80"/>												
HTTPSポート	<input type="text" value="443"/>												
データポート	<input type="text" value="9008"/>												
RTSPポート	<input type="text" value="554"/>												
ロングポーリングポート	<input type="text" value="8080"/>												<input checked="" type="checkbox"/> 有効
WebSocketポート	<input type="text" value="7681"/>												

表示	説明
HTTP ポート	HTTP プロトコルで制御を行うポートです。(初期値 : 80)
HTTPS ポート	HTTPS プロトコルで制御を行うポートです。(初期値 : 443)
データポート	カメラ制御を行うポートです。(初期値 : 9008)
RTSP ポート	RTSP プロトコル制御を行うポートです。(初期値 : 554)
ロングポーリングポート	Web サーバ永続接続要求を行うポートです。(初期値 : 8080)
WebSocket ポート	双方向通信を行うポートです。(初期値 : 7681)
保存	設定を保存します。

4.5.3 サーバ

認証サーバを設定します。この機能は、主にネットワークビデオ管理システムの接続に使用されます。

設定ホーム ▶ ネットワーク設定 ▶ 高度な設定	
ポート	サーバ
	ONVIF DDNS SNMP 802.1X RTSP RTMP UPnP Email FTP HTTP POST HTTPS QoS
<input checked="" type="checkbox"/> 有効	
サーバポート	<input type="text" value="2009"/>
サーバアドレス	<input type="text" value="*****.autoddns.com"/>
デバイスID	<input type="text" value="1"/>
<input type="button" value="保存"/>	

サーバを設定します。

- ① 有効にチェックを入れ、サーバを有効にします。
- ② ECMS/NVMS の転送メディアサーバの IP アドレスと自動レポートポートを確認します。
- ③ ECMS/NVMS に新しいデバイスを追加するとき、自動レポートを確認します。
- ④ デバイスの情報を ECMS/NVMS に入力します。
- ⑤ システムはすべてのデバイス ID を自動的に表示します。ECMS/NVMS で確認してください。
- ⑥ 上記のサーバアドレス、サーバポート、デバイス ID を入力します。
- ⑦ をクリックして、設定を保存します。

4.5.4 ONVIF

ONVIF プロトコルで操作できるユーザーを登録します。この機能は、ONVIF プロトコルを利用できるカメラのみ利用できます。

設定ホーム ▶ ネットワーク設定 ▶ 高度な設定			
ポート サーバー ONVIF DDNS SNMP 802.1X RTSP RTMP UPnP Email FTP HTTP POST HTTPS QoS			
追加 変更 削除			
Index	ユーザー名	ユーザー区分	
1	admin	管理者	

[追加]ボタンをクリックしてユーザーを追加します。ユーザー名、パスワード、ユーザー区分を入力して[OK]をクリックします。ヒントに従ってパスワードを設定してください。

ユーザーの追加 ×

ユーザー名

パスワード

レベル

パスワード確認

ユーザー区分

パスワードは、数字、特殊文字、大文字または小文字で構成できます。

パスワードを変更する場合は、該当ユーザーを選択して[変更]ボタンをクリックします。

ユーザーを削除したい場合は、該当ユーザーを選択して[削除]ボタンをクリックします。

4.5.5 DDNS

DDNS サーバを設定します。

DDNS 設定方法

いくつかの DDNS タイプが選択されている場合、サーバアドレスとドメイン名を入力する必要があります。DNS ウェブサイトにアクセスしてドメイン名を登録し、ここに登録されたドメイン情報を入力してください。

《例》 **www.dvrdydns.com** をサーバとした場合

- ① IE アドレスバーに **www.dvrdydns.com** を入力し、DDNS ウェブサイトにアクセスしてください。

- ② [Registration (登録)] ボタンをクリックすると、以下のようにインターフェースに進みます。DDNS アカウント情報 (ユーザ名、パスワードなど) を設定し、[Submit (送信)] ボタンをクリックして、アカウントを保存します。

- ③ ドメイン名を作成し、[Request Domain (ドメインの要求)]をクリックします。

- ④ ドメイン名を要求すると、ドメイン名の情報がリストに表示されます。

Click a name to edit your domain settings.

NAME	STATUS	DOMAIN
HTC1234		htc1234.dvrdydns.com

Last Update: *Not yet updated* IP Address: 203.141.138.227

Create additional domain names [1]

- ⑤ DDNS 設定を開きます。DDNS を有効にし、DDNS タイプは `www.dvrdydns.com` を選択します。登録したユーザー名、パスワード、ドメイン名を入力し、[保存]をクリックします。

ポート	サーバー	ONVIF	DDNS	SNMP	802.1X	RTSP	RTMP	UPnP	Email	FTP	HTTP POST	HTTPS	QoS
<input checked="" type="checkbox"/> 有効													
サーバタイプ		<input type="text" value="dvrdydns"/>											
ユーザー名		<input type="text"/>											
パスワード		<input type="text"/>											
ドメイン		<input type="text"/>											
<input type="button" value="保存"/>													

- ⑥ ルータの IP アドレスと HTTP ポートをマッピングします。(UPnP 機能が有効になっている場合は、この手順をスキップできます)
- ⑦ IE アドレスバーに `http://www.xxx.dvrdydns.com:81` のような登録済みのドメイン名と HTTP ポートを入力し、入力キーを押して IE クライアントに進みます。

4.5.6 SNMP

SNMP を設定します。

SNMP 機能は、カメラのステータスやパラメータ、アラーム情報を取得し、カメラをリモートで管理できます。

設定ホーム ▶ ネットワーク設定 ▶ 高度な設定	
ポート サーバー ONVIF DDNS SNMP 802.1X RTSP RTMP UPnP Email FTP HTTP POST HTTPS QoS	
SNMP v1/v2	
<input type="checkbox"/> SNMPv1を有効にする	
<input type="checkbox"/> SNMPv2を有効にする	
読み込み専用コミュニティ名	public
書き込み専用コミュニティ名	private
トラップアドレス	192.168.226.201
トラップポート	162
トラップグループ名	public
SNMP v3	
<input type="checkbox"/> SNMPv3を有効にする	
ユーザー名のリード	public
セキュリティレベル	auth, priv
認証アルゴリズム	<input checked="" type="radio"/> MD5 <input type="radio"/> SHA
認証パスワード	*****
秘密鍵アルゴリズム	<input checked="" type="radio"/> DES <input type="radio"/> AES
秘密鍵パスワード	*****
ユーザー名を書く	private
セキュリティレベル	auth, priv
認証アルゴリズム	<input checked="" type="radio"/> MD5 <input type="radio"/> SHA
認証パスワード	*****
秘密鍵アルゴリズム	<input checked="" type="radio"/> DES <input type="radio"/> AES
秘密鍵パスワード	*****
SNMPその他の設定	
SNMPポート	161
<input type="button" value="保存"/>	

➤ SNMP v1/v2

[SNMPv1 を有効にする][SNMPv2 を有効にする]にチェックを入れ、SNMPv1/v2 を有効にします。

SNMP v1/v2	
<input checked="" type="checkbox"/> SNMPv1を有効にする	
<input checked="" type="checkbox"/> SNMPv2を有効にする	
読み込み専用コミュニティ名	<input type="text" value="public"/>
書き込み専用コミュニティ名	<input type="text" value="private"/>
トラップアドレス	<input type="text" value="192.168.226.201"/>
トラップポート	<input type="text" value="162"/>
トラップグループ名	<input type="text" value="public"/>

表示	説明
読み込み専用コミュニティ名	Read-only。SNMP による読み取り専用のコミュニティ名を入力します。
書き込み専用コミュニティ名	Read-write。SNMP による読み書き専用のコミュニティ名を入力します。
トラップアドレス	トラップ送信先 SNMP マネージャの IP アドレスを入力します。
トラップポート	トラップポートを入力します。
トラップグループ名	トラップのコミュニティ名を入力します。
保存	設定を保存します。

➤ SNMP v3

[SNMPv3 を有効にする]にチェックを入れ、SNMPv3 を有効にします。

SNMP v3	
<input checked="" type="checkbox"/> SNMPv3を有効にする	
ユーザー名のリード	<input type="text" value="public"/>
セキュリティレベル	<input type="text" value="auth, priv"/>
認証アルゴリズム	<input checked="" type="radio"/> MD5 <input type="radio"/> SHA
認証パスワード	<input type="text" value="●●●●●●"/>
秘密鍵アルゴリズム	<input checked="" type="radio"/> DES <input type="radio"/> AES
秘密鍵パスワード	<input type="text" value="●●●●●●"/>
ユーザー名を書く	<input type="text" value="private"/>
セキュリティレベル	<input type="text" value="auth, priv"/>
認証アルゴリズム	<input checked="" type="radio"/> MD5 <input type="radio"/> SHA
認証パスワード	<input type="text" value="●●●●●●"/>
秘密鍵アルゴリズム	<input checked="" type="radio"/> DES <input type="radio"/> AES
秘密鍵パスワード	<input type="text" value="●●●●●●"/>

表示	説明
ユーザー名のリード	SNMP による読み取り専用のユーザー名を入力します。
ユーザー名を書く	SNMP による読み書き専用のユーザー名を入力します。
セキュリティレベル	ユーザー認証には 3 つのセキュリティレベルがあります。 ・ auth, priv : 認証アルゴリズムで認証。暗号化あり。 ・ auth, no priv : 認証アルゴリズムで認証。暗号化なし。 ・ no auth, no priv : ユーザー名のみで認証。暗号化なし。
認証アルゴリズム	認証方式を MD5 または SHA から選択します。
認証パスワード	認証パスワードを設定します。
秘密鍵アルゴリズム	暗号化方式を DES または AES から選択します。
秘密鍵パスワード	暗号化パスワードを設定します。
保存	設定を保存します。

➤ SNMP その他の設定

SNMP ポートを設定して、保存をクリックします。

SNMPその他の設定	
SNMPポート	<input type="text" value="161"/>
<input type="button" value="保存"/>	

4.5.7 802.1X

802.1X を設定します。

設定ホーム ▶ ネットワーク設定 ▶ 高度な設定	
ポート サーバー ONVIF DDNS SNMP 802.1X RTSP RTMP UPnP Email FTP HTTP POST HTTPS QoS	
<input checked="" type="checkbox"/> 有効	
プロトコルタイプ	EAP MD5 ▼
EAPOLバージョン	1 ▼
ユーザー名	<input type="text"/>
パスワード	●●●●●
パスワード確認	●●●●●
<input type="button" value="保存"/>	

802.1X の設定方法

- ① 有効にチェックを入れ、802.1X 認証を有効にします。
- ② プロトコルタイプと EAPOL バージョンは、デフォルト設定でご使用ください。
- ③ ユーザー名とパスワードは、認証サーバに登録されているユーザー名とパスワードを入力してください。

4.5.8 RTSP

RTSP を設定します。

設定ホーム ▶ ネットワーク設定 ▶ 高度な設定	
ポート	サーバー ONVIF DDNS SNMP 802.1X RTSP RTMP UPnP Email FTP HTTP POST HTTPS QoS
<input checked="" type="checkbox"/> 有効	
ポート	<input type="text" value="554"/>
アドレス	<input type="text" value="rtsp://IP or domain name:port/profile1"/>
	<input type="text" value="rtsp://IP or domain name:port/profile2"/>
	<input type="text" value="rtsp://IP or domain name:port/profile3"/>
マルチキャストアドレス	
第1ストリーム	<input type="text" value="239.0.0.0"/> <input type="text" value="50554"/> <input type="checkbox"/> 自動スタート
第2ストリーム	<input type="text" value="239.0.0.1"/> <input type="text" value="51554"/> <input type="checkbox"/> 自動スタート
第3ストリーム	<input type="text" value="239.0.0.2"/> <input type="text" value="52554"/> <input type="checkbox"/> 自動スタート
音声	<input type="text" value="239.0.0.3"/> <input type="text" value="53554"/> <input type="checkbox"/> 自動スタート
<input type="checkbox"/> 匿名ログイン許可 (ユーザー名およびパスワード不要)	
<input type="button" value="保存"/>	

[有効]にチェックを入れ、RTSP を有効にします。

- ポート：「4.5.2 ポート」の RTSP ポートと連動しています。
- アドレス：VLC プレーヤーなどで再生する時に使用する RTSP アドレスを表示します。
 [例] RTSP アドレス (ユニキャスト)。IP アドレスが 192.168.1.226 の場合。
 第 1 ストリーム ⇒ rtsp://192.168.1.226:554/profile1
 第 2 ストリーム ⇒ rtsp://192.168.1.226:554/profile2
 第 3 ストリーム ⇒ rtsp://192.168.1.226:554/profile3
- マルチキャストアドレス：マルチキャストアドレス、ポート番号を設定します。
 [例] RTSP アドレス (マルチキャスト)。IP アドレスが 192.168.1.226 の場合。
 第 1 ストリーム ⇒ rtsp://192.168.1.226:554/profile1?transportmode=mcast
 第 2 ストリーム ⇒ rtsp://192.168.1.226:554/profile2?transportmode=mcast
 第 3 ストリーム ⇒ rtsp://192.168.1.226:554/profile3?transportmode=mcast
 カメラ起動時に、自動的に配信開始したい場合は、[自動スタート]をチェックします。
- [匿名ログインを許可する (ユーザー名またはパスワードは不要)] に、チェックを入れると RTSP 認証を省いて再生できます。

4.5.9 RTMP

RTMP を設定します。YouTube 配信に使用します。

設定ホーム ▶ ネットワーク設定 ▶ 高度な設定

ポート サーバー ONVIF DDNS SNMP 802.1X RTSP **RTMP** UPnP Email FTP HTTP POST HTTPS QoS

有効 (H264のみをサポート)

ストリーム形式 第1ストリーム 第2ストリーム 第3ストリーム

タイムアウト後に再接続する 秒

サーバアドレス

接続状態 接続されていません 更新

保存

[有効]にチェックを入れ、RTMP を有効にします。

表示	説明
ストリーム形式	YouTube 配信で使用するストリームを選択します。※ 1、※ 2
タイムアウト後に再接続する	設定した時間以内なら再接続します。
サーバアドレス	YouTube Studio でメモしたストリーム URL/ストリームキーを貼付けます。 例：rtmp://a.rtmp.youtube.com/live2/abcd-efgh-ijkl-mnop-qrst
接続状態	接続完了の表示になれば YouTube との接続は完了しています。
保存	設定を保存します。

※1:ストリーム設定は「4.2.2 映像/音声」で設定します。通信回線の速度に応じて、最適な設定を行います。ビデオ圧縮は必ず、「H.264」を設定する必要があります。

※2:お使いのインターネット接続で安定して映像を転送できる品質に設定します。実際に配信する動きや音声でテストを行う必要があります。設定した解像度、フレームレート、ビットレートは YouTube が自動的に検出します。

4.5.10 UPnP

UPnP 機能はポートマッピングなしのルータ経由で WAN に接続され、IE からカメラにアクセスできます。

The screenshot shows a web interface for configuring UPnP. At the top, there is a breadcrumb trail: 設定ホーム ▶ ネットワーク設定 ▶ 高度な設定. Below this is a horizontal menu with various settings: ポート, サーバー, ONVIF, DDNS, SNMP, 802.1X, RTSP, RTMP, UPnP (highlighted), Email, FTP, HTTP POST, HTTPS, and QoS. Under the UPnP menu, there is a checkbox labeled '有効' (Enabled) which is currently unchecked. Below the checkbox is a text input field labeled 'UPnP名' (UPnP Name). At the bottom center of the form is a button labeled '保存' (Save).

UPnP の設定方法

- ① ルータが UPnP 機能に対応し、ルータで有効になっていることを確認します。
- ② ルータに対応するカメラの IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイなどを設定します。
- ③ 有効にチェックを入れ、UPnP 機能を有効にします。この機能を有効にすると、LAN 経由でカメラにすばやくアクセスすることができます。
- ④ UPnP 名を入力して、保存をクリックします。

4.5.11 Email

Email に関する設定を行います。

設定ホーム ▶ ネットワーク設定 ▶ 高度な設定

ポート サーバー ONVIF DDNS SNMP 802.1X RTSP RTMP UPnP **Email** FTP HTTP POST HTTPS QoS

送信者

送信者アドレス

ユーザー名 匿名ログイン

パスワード

サーバアドレス

安全な接続

SMTPポート

送信間隔(S) (10-3600)

受信者

受信者アドレス

➤ 送信者

送信者の E メールアドレス、SMTP サーバなどを設定します。

送信者	
送信者アドレス	<input type="text" value="■■■■@gmail.com"/>
ユーザー名	<input type="text" value="■■■■@gmail.com"/>
パスワード	<input type="password" value="●●●●●"/>
サーバアドレス	<input type="text" value="smtp.gmail.com"/>
安全な接続	SSL ▼
SMTPポート	<input type="text" value="465"/> デフォルト
<input type="checkbox"/> 送信間隔(S)	<input type="text" value="60"/> (10-3600)
<input type="button" value="クリア"/> <input type="button" value="テスト"/>	

送信者の設定方法

- ① 送信者の E メールアドレスを入力します。
- ② ユーザー名はアカウント名(メールアドレスの@より前の部分)、パスワードはメールのパスワードを入力します。
- ③ サーバアドレスは SMTP サーバを入力します。
- ④ セキュリティは SSL を選択し、SMTP ポートは 465 を指定します。 **デフォルト** で初期値に戻ります。
- ⑤ Eメールの送信間隔を設定します。
送信間隔にチェックを入れ 300 秒に設定した場合、300 秒に 1 通のメールが送信されます。300 秒の間に複数検出された場合、検出時間などをまとめて 1 通で通知します。添付ファイルの静止画は最初に検出した静止画のみを添付します。
- ⑥ **テスト** をクリックして、アカウントの接続テストを行います。

注 1 Yahoo や Gmail 等のフリーメールはご利用いただけません。ISP が提供するメールサービスをお使いください。

➤ 受信者

[受信者アドレス]欄に受信者のメールアドレスを入力し、**追加** をクリックしてリストに追加します。
削除する場合は、リストから削除するアドレスを選択し、**削除** をクリックしてリストから削除します。

The screenshot shows a window titled "受信者" (Recipients). Inside, there is a list of email addresses: "@hytec.co.jp" (highlighted in blue), "@yahoo.co.jp", and "@gmail.com". Below the list is an input field labeled "受信者アドレス" (Recipient Address) and two buttons: "追加" (Add) and "削除" (Delete).

4.5.12 FTP

FTP サーバの設定を行います。

設定ホーム ▶ ネットワーク設定 ▶ 高度な設定

ポート サーバー ONVIF DDNS SNMP 802.1X RTSP RTMP UPnP Email **FTP** HTTP POST HTTPS QoS

サーバ名	サーバアドレス	ポート	ユーザー名	パス
FTP_TEST	192.168.XXX.XXX	21	ftp_user	/

追加 変更 削除 テスト 保存

➤ FTP 追加/変更

FTP サーバを追加するには、**追加** をクリックします。変更する場合は、**変更** をクリックします。

FTPを追加 ×

サーバ名	<input style="width: 90%;" type="text"/>	
サーバアドレス	<input style="width: 90%;" type="text"/>	
パス	<input style="width: 90%;" type="text" value="例:/Dir/folder"/>	
ポート	<input style="width: 90%;" type="text" value="21"/>	
ユーザー名	<input style="width: 90%;" type="text"/>	<input type="checkbox"/> 匿名
パスワード	<input style="width: 90%;" type="password"/>	

表示	説明
サーバ名	FTP サーバの名前を入力します。
サーバアドレス	FTP サーバの IP アドレスまたはドメイン名を入力します。
パス	ファイルのアップロード先を設定します。
ポート	FTP サーバのポート番号を入力します。
ユーザー名/パスワード	FTP サーバのユーザー名とパスワードを入力します。 匿名にチェックを入れると、ユーザー名とパスワードの入力を省きます。
OK	設定を保存します。

➤ テスト

テスト をクリックすると、選択している FTP サーバとの接続確認を行います。

➤ FTP 削除

削除 をクリックすると、選択している FTP サーバを削除します。

4.5.13 HTTP POST

HTTP POST を設定します。

設定ホーム ▶ ネットワーク設定 ▶ 高度な設定	
ポート サーバー ONVIF DDNS SNMP 802.1X RTSP RTMP UPnP Email FTP HTTP POST HTTPS QoS	
<input checked="" type="checkbox"/> 有効	
プロトコルタイプ	API
サーバアドレス	...
サーバポート	8082
ハートビート間隔	90 秒
オンライン状態	オフライン 更新
保存	

[有効]にチェックを入れ、HTTP POST を有効にします。

表示	説明
プロトコルタイプ	API 固定
サーバアドレス	HTTP POST サーバの IP アドレスを入力します。
サーバポート	HTTP POST サーバのポート番号を入力します。
ハートビート間隔	HTTP POST サーバの稼働状態を確認する間隔を設定します。
オンライン状態	HTTP POST サーバの接続状態を表示します。
保存	設定を保存します。

4.5.14 HTTPS

HTTPS を設定します。HTTPS は Web サイトの認証を提供し、ユーザーのプライバシーを保護します。

有効にチェックを入れて、HTTPS へのアクセスを有効にし、**保存** をクリックして設定を保存します。

Web ブラウザを使用して、「https://IP アドレス:HTTPS ポート」にアクセスします。

《 例 : https://192.168.226.201:443 》

デフォルトで証明書がインストールされています。

デフォルトの証明書を使用しない場合は、**削除** をクリックして証明書を削除し、プライベート証明書を作成することもできます。

インストールタイプを選択して、各タイプで設定してください。

- 証明書に署名して、直接インストールしてください

インストールタイプ

- 証明書に署名して直接インストールしてください。
- プライベート証明書を作成する
- 証明書要求の作成

証明書をインストールする

[参照...]ボタンをクリックして、インストールする証明書ファイルを選択してから、[インストール]ボタンをクリックして証明書をインストールします。
最後に[保存]ボタンをクリックします。

- プライベート証明書を作成する

インストールタイプ

- 証明書に署名して直接インストールしてください。
- プライベート証明書を作成する
- 証明書要求の作成

プライベート証明書を作成する

[作成]ボタンをクリックして、プライベート証明書を作成します。国(2文字のみ利用可能)、ドメイン(NVRのIPアドレス/ドメイン)、有効期限、パスワード、州(都道府県)、領域(地域)などを入力します。[*]は、必須項目です。次に、[OK]をクリックして設定を保存します。最後に[保存]ボタンをクリックします。

プライベート証明書を作成する

国 *

ドメイン *

有効期限 * 日

パスワード

州/州

領域

組織

単位

Eメール

➤ 証明書要求の作成

[作成]をクリックして証明書要求を作成します。

国(2文字のみ利用可能)、ドメイン(NVRのIPアドレス/ドメイン)、パスワード、州(都道府県)、領域(地域)などを入力します。「*」は、必須項目です。次に、[OK]をクリックして設定を保存します。

そうすると、[ダウンロード]ボタンがアクティブになりますので、クリックして、証明書要求ファイルをダウンロードし、署名のために信頼された証明機関に送信します。署名された証明書を受け取った後、証明書をデバイスにインポートします。上述の[証明書に署名して、直接インストールしてください]項で証明書をインストールしてください。

また、[削除]をクリックして、作成した証明書要求ファイルを削除できます。

4.5.15 QoS

データストリームの転送に優先順位を付けることができます。

設定ホーム ▶ ネットワーク設定 ▶ 高度な設定

[ポート](#)
[サーバー](#)
[ONVIF](#)
[DDNS](#)
[SNMP](#)
[802.1X](#)
[RTSP](#)
[RTMP](#)
[UPnP](#)
[Email](#)
[FTP](#)
[HTTP POST](#)
[HTTPS](#)
QoS

ビデオ/オーディオDSCP

アラームDSCP

マネージャDSCP

保存

ネットワーク遅延やネットワーク混雑を改善するために、それぞれのストリームに優先度を設定し、順番に転送を行います。数値が大きいくほど、優先度は高くなります。

表示	説明
ビデオ/オーディオ DSCP	0～63 の範囲でビデオ/オーディオの優先度を設定します。
アラーム DSCP	0～63 の範囲でアラームの優先度を設定します。
マネージャ DSCP	0～63 の範囲でマネージャの優先度を設定します。
保存	設定を保存します。

4.6 セキュリティ設定

ユーザー、オンラインユーザー、ブロックと許可リスト、セキュリティ管理などのサブメニューがあります。

<p>システム設定 基本情報 日付と時間 ローカル設定 ストレージ</p> <p>画像設定 画質調整 映像/音声 OSD プライバシーマスク ROI構成 レンズの調整</p> <p>アラーム設定 モーション検出 異常 アラーム入力 アラーム接点出力 アラームサーバ</p> <p>イベント設定 物体検知 妨害検知 ラインクロス 領域に入る 領域を出る ターゲットカウント 地域統計 エリア侵入検知 顔検出 ヒートマップ</p> <p>ネットワーク設定 TCP/IP ポート 追加...</p> <p>セキュリティ設定 ユーザー オンラインユーザー ブロックと許可リスト セキュリティ管理</p> <p>メンテナンス バックアップと復元 再起動 アップグレード 操作ログ</p>	<p>設定ホーム ▶ セキュリティ設定</p> <p>セキュリティ設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ユーザー ユーザーの追加、修正、削除します。(管理者アカウント: adminは削除できません。) ● オンラインユーザー オンラインのユーザーを表示します。 ● ブロックと許可リスト 特定のIPアドレスまたはMACアドレスからのアクセスを許可またはブロックします。 ● セキュリティ管理 不正ログインを検出した時にデバイスをロックします。
---	---

4.6.1 ユーザー

ユーザーの追加、変更、削除を行います。管理者アカウントの admin は削除できません。

設定ホーム ▶ セキュリティ設定 ▶ ユーザー			
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> 追加 変更 削除 </div>			
Index	ユーザー名	ユーザー区分	
1	admin	管理者	

ユーザーの追加方法

- ① **追加** をクリックすると、「ユーザーの追加」がポップアップします。

- ② ユーザー名とパスワード(パスワード確認)は、1～15文字の英数字で設定します。
 レベルは、パスワードの強度を示します。4.6.4 **セキュリティ管理**にある[パスワードセキュリティ](#)で設定したレベル以上の組み合わせが必要です。
- ③ ユーザー区分を選択します。
- ・ 管理者 : すべての権限を持っています。
 - ・ 上位ユーザ : 「ユーザー」、「ブロックと許可リスト」、「バックアップと復元」、「アップグレード」以外、管理者と同じ権限を持っています
 - ・ ノーマルユーザ : 「ライブ」の表示と「検索」のみ可能です。設定の変更はできません。
- ④ リモートで操作できる項目をチェックします。
- ⑤ [OK]をクリックして、追加します。

上位ユーザとノーマルユーザの初期権限

システム設定	基本情報		○
	日付と時刻		○
	ローカル設定		○
アラーム設定	モーション検出	検出設定	×
		エリアと感度	○
		スケジュール	○
	異常		○
	アラーム入力		○
	アラーム出力		○
ネットワーク設定			閲覧のみ
セキュリティ設定	ユーザ		○※
	オンラインユーザ		○

※ログイン中ユーザのパスワード変更

ユーザレベルと付与可能な権限

	上位ユーザー	ノーマルユーザー
ストレージ設定	○	×
画像設定（全項目）	○	○
PTZ コントロール	○	○
アラームサーバ設定	○	○
イベント設定	○	○
ネットワーク設定	○	×
セキュリティ設定	○※	×
バックアップと復元	○	×
再起動とアップグレード	○	×
ログ閲覧	○	○
音声インターホン（双方向音声通話）	○	○
プレビュー（ライブ）	○	○
再生（検索）	○	○
ユーザー管理	×	×

※ユーザー編集を除く、セキュリティメニュー

パスワードの変更方法

- ① **変更** をクリックすると、「ユーザーの編集」がポップアップします。

ユーザーの編集

ユーザー名: admin

旧パスワード: []

新しいパスワード: []

レベル: []

パスワード確認: []

ユーザー区分: 管理者

全領域を選択

- リモートストレージの設定
- リモート画像設定
- リモートPTZコントロール
- リモートアラームサーバーの設定
- リモートインテリジェントイベント設定
- リモートネットワークの詳細設定
- リモートセキュリティ管理

パスワードは、数字、特殊文字、大文字または小文字で構成できます。

OK キャンセル

- ② [新しいパスワード]にチェックを入れ、新しいパスワードを入力し、OK をクリックします。
- レベルは、パスワードの強度を示します。4.6.4 **セキュリティ管理**にある[パスワードセキュリティ](#)で設定したレベル以上の組み合わせが必要です。
- ③ リモートで操作できる項目を変更します。
- ④ [OK]をクリックして保存します。

ユーザーの削除方法

- ① 削除するユーザーを選択します。選択されているユーザーは青くなります。
- ② **削除** をクリックすると、削除の確認がポップアップするので OK をクリックして削除します。

4.6.2 オンラインユーザ

本機にアクセスしているオンラインユーザを表示します。

管理者ユーザは、他のすべてのユーザを追い出す(キックアウト)ことができます。

設定ホーム ▶ セキュリティ設定 ▶ オンラインユーザ

Index	クライアントアドレス	ポート	ユーザー名	ユーザー区分	
1	172.20.0.98	51873	admin	管理者	キックアウト

4.6.3 ブロックと許可リスト

特定の IP アドレスからのアクセスを許可またはブロックします。

[アドレスフィルタリングを有効にする]にチェックを入れ、許可/ブロックの設定を行います。

IP/MAC アドレスフィルタの追加方法

- ① [次のアドレスをブロックします]または[次のアドレスを許可します]のどちらかを選択します。
 - ・ ブロック：リスト内のみブロックし、その他のデバイスは許可されます。
 - ・ 許可：リスト内のみ許可し、その他のデバイスはブロックされます。
- ② IPv4 または IPv6 を選択し、アドレスを入力します。
- ③ **追加** をクリックすると、リストに表示されます。
- ④ **保存** をクリックして保存します。

IP/MAC アドレスフィルタの削除方法

- ① リストからアドレスを選択します。
- ② **削除** をクリックすると、選択しているアドレスを削除します。
- ③ **保存** をクリックして保存します。

4.6.4 セキュリティ管理

不正ログインを検出した時の対応を設定します。

➤ セキュリティサービス

[セキュリティサービス]タブを開き、不正ログインによるロック解除を防ぐことができます。

設定ホーム ▶ セキュリティ設定 ▶ セキュリティー管理

セキュリティサービス パスワードセキュリティ 認証する

不正ログインによるロックを有効

メールを送信

ログアウト時間 秒

保存

[不正ログインによるロックを有効]にチェックを入れると、ログイン試行に 6 回失敗するとロックされます。

ロックから 30 分後またはカメラの再起動によって、カメラは再度ログインすることができます。

[メールを送信]にチェックを入れると、通知をメールで受け取れます。送信先をチェックして選択します。

メールの送信先の設定は、「4.5.11」で登録します。

設定ホーム ▶ セキュリティ設定 ▶ セキュリティー管理

セキュリティサービス パスワードセキュリティ 認証する

不正ログインによるロックを有効

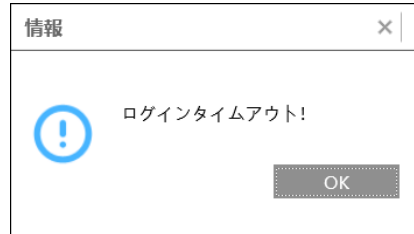
メールを送信

メールの送信先

ログアウト時間 秒

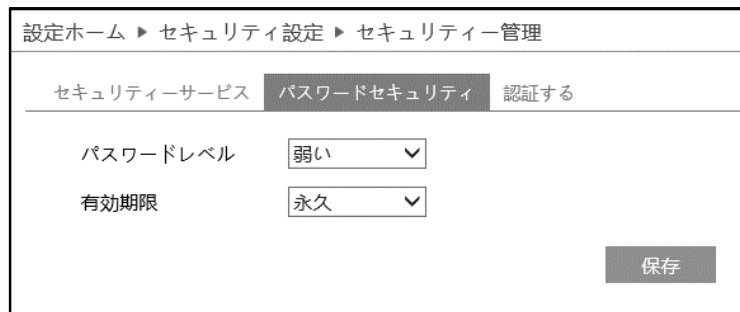
保存

[ログアウト時間]で設定した時間が経過すると（Web ブラウザなどで設定時間操作されない場合）、自動的にログアウトされます。次に操作するまで画面はそのままですが、操作しようすると、タイムアウトメッセージをポップアウトで表示して、ログインウィンドウに移動しますので、再度ログインしてください。



➤ パスワードセキュリティ

[パスワードセキュリティ]タブを開き、パスワードのレベルと有効期限を設定します。



パスワードレベルは、パスワード変更で利用できる文字の種類と長さを設定します。

弱い : 「英字の大文字」「英字の小文字」「数字」「記号」から 1 文字以上

中 : 「英字の大文字」「英字の小文字」「数字」「記号」から 2 種類以上を組合わせて 9 文字以上

強い : 「英字の大文字」「英字の小文字」「数字」「記号」の全種類を組合わせて 9 文字以上

有効期限 : 30 日、60 日、180 日、365 日、永久から選択します。

期限が切れるとパスワードの変更画面がポップアップします。

➤ 認証する

HTTP でアクセスする時の、認証方法を設定します。

認証方法は、“Basic”と“Token”から選択します。

設定ホーム ▶ セキュリティ設定 ▶ セキュリティー管理	
セキュリティサービス	パスワードセキュリティ
認証する	
HTTP認証	Basic ▼
保存	

4.7 メンテナンス

バックアップと復元、再起動、アップグレード、操作ログなどのサブメニューがあります。

<p> システム設定</p> <p>基本情報 日付と時間 ローカル設定 ストレージ</p>	<p>設定ホーム ▶ メンテナンス</p>
<p> 画像設定</p> <p>画質調整 映像/音声 OSD プライバシーマスク ROI構成 レンズの調整</p>	<p>メンテナンス</p> <ul style="list-style-type: none"> ● バックアップと復元 システム構成のバックアップ/復元、または工場出荷設定へのリセットを行います。 ● 再起動 カメラを再起動します。 ● アップグレード カメラのソフトウェアを更新します。 ● 操作ログ 操作ログを表示します。
<p> アラーム設定</p> <p>モーション検出 異常 アラーム入力 アラーム接点出力 アラームサーバ</p>	
<p> イベント設定</p> <p>物体検知 妨害検知 ラインクロス 領域に入る 領域を出る ターゲットカウント 地域統計 エリア侵入検知 顔検出 ヒートマップ</p>	
<p> ネットワーク設定</p> <p>TCP/IP ポート 追加...</p>	
<p> セキュリティ設定</p> <p>ユーザー オンラインユーザー ブロックと許可リスト セキュリティー管理</p>	
<p> メンテナンス</p> <p>バックアップと復元 再起動 アップグレード 操作ログ</p>	

4.7.1 バックアップと復元

カメラの設定情報のインポート（復元）とエクスポート（バックアップ）、工場出荷時への初期化を行います。

The screenshot shows a web interface with the following elements:

- Navigation path: 設定ホーム ▶ メンテナンス ▶ バックアップと復元
- Section header: 設定のインポート
- Input field: パス (with a 参照... button next to it)
- Action button: 設定のインポート
- Section header: 設定のエクスポート
- Action button: 設定のエクスポート
- Section header: 設定を初期化する
- Section header: 設定を保持
- Checkboxes:
 - ネットワーク設定
 - セキュリティ設定
 - 画像設定
- Action button: 工場出荷設定に戻す

➤ 設定のインポート（復元）

参照をクリックして、バックアップファイルを選択します。設定のインポート をクリックして、設定を復元します。

This close-up shows the '設定のインポート' section with the 'パス' input field and the '参照...' button, and the '設定のインポート' action button highlighted.

➤ 設定のエクスポート（バックアップ）

設定のエクスポート をクリックして、設定をバックアップします。

This close-up shows the '設定のエクスポート' section with the '設定のエクスポート' action button highlighted.

➤ 設定を初期化する

工場出荷設定に戻す をクリックして、設定を初期状態に戻します。

「設定を保持」で選択した設定項目は、初期化されず、現在の設定を保持します。

設定を初期化する

設定を保持

- ネットワーク設定
- セキュリティ設定
- 画像設定

工場出荷設定に戻す

4.7.2 再起動

カメラの再起動を行います。

設定ホーム ▶ メンテナンス ▶ 再起動

再起動

再起動

再起動には1～5分かかります。正常に起動するとブラウザは自動的に再接続します。

定刻自動再起動

時刻の設定

保存

➤ 再起動

再起動 をクリックすると、パスワード入力画面がポップアップします。パスワードを入力するとカメラは再起動を行います。再起動には1～5分かかります。正常に完了すると、自動的に再接続、ログイン画面に戻ります。

再起動

再起動

再起動には1～5分かかります。正常に起動すると、ブラウザは自動的に再接続します。

➤ 定刻自動再起動

定期的に再起動を行います。

[時刻の設定]にチェックを入れると、自動的な再起動が有効になります。毎日または週に一度、決まった時間を指定します。

定刻自動再起動

時刻の設定

週 毎日 ▼

時間 15:07

保存

4.7.3 アップグレード

カメラのソフトウェアを更新します。

設定ホーム ▶ メンテナンス ▶ アップグレード

⚠ 現在のバージョンから以前のバージョンへのダウングレードを許可しないでください。
アップグレード中は電源を切らないでください。

ローカルアップグレード

パス

ソフトウェアのアップグレード方法

- ① [保存先変更]をクリックして、アップグレードファイルを選択します。
 - ② をクリックして、ソフトウェアのアップグレードを開始します。
 - ③ アップグレード終了後、カメラは自動的に再起動します。
- ※ アップグレード中はブラウザを閉じたり、カメラをネットワークから切断したりしないでください。
- ※ アップグレード中は監視などの機能は動作しません。

4.7.4 操作ログ

ログの種類を選択、開始時間と終了時間を指定、**検索** をクリックすると、ログが表示されます。

設定ホーム ▶ メンテナンス ▶ 操作ログ

第一区分 第二区分

開始時間 終了時間 **検索** **エクスポート**

Index	時間	第一区分	第二区分	ユーザー名	ログインIP	ホスト名
1	2022-10-11 06:47:...	操作	ログイン	admin	192.168.226.189	
2	2022-10-11 06:47:...	操作	ログイン	admin	192.168.226.189	
3	2022-10-11 06:47:...	操作	ログアウト		192.168.226.189	
4	2022-10-11 06:46:...	情報	システム起動			
5	2022-10-11 06:46:...	操作	システム設定変更			
6	2022-10-11 06:46:...	操作	ログアウト	admin	192.168.226.189	
7	2022-10-11 06:46:...	操作	リポート	admin	192.168.226.189	
8	2022-10-11 05:35:...	操作	セキュアな設定変更	admin	192.168.226.189	
9	2022-10-11 05:34:...	操作	ログイン	admin	192.168.226.189	
10	2022-10-11 05:34:...	操作	ログアウト		192.168.226.189	
11	2022-10-11 05:33:...	操作	ログアウト	admin	192.168.226.189	
12	2022-10-11 05:32:...	操作	セキュアな設定変更	admin	192.168.226.189	
13	2022-10-11 05:21:...	操作	セキュアな設定変更	admin	192.168.226.189	
14	2022-10-11 05:20:...	操作	システム設定変更	admin	192.168.226.189	
15	2022-10-11 05:20:...	操作	ログイン	admin	192.168.226.189	
16	2022-10-11 05:20:...	操作	ログアウト		192.168.226.189	

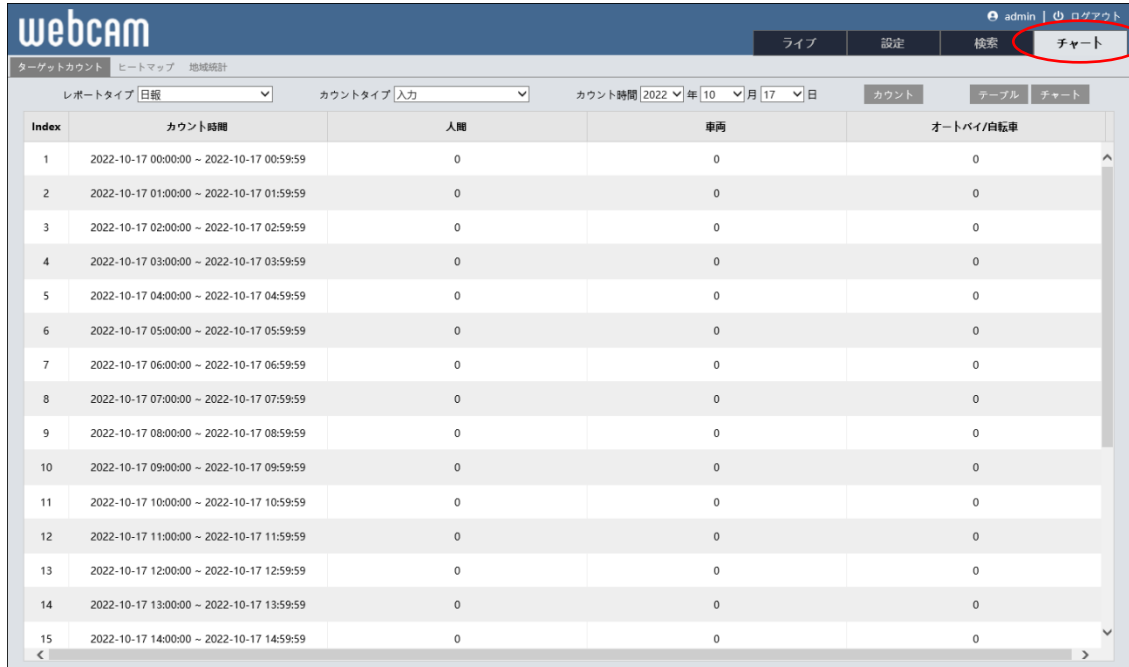
1 / 3 20 View 1 - 20 of 46

ログの取得方法

- ① 第一区分、第二区分より、取得するログの種類を選択します。
- ② 開始時間と終了時間を設定し、検索するログの時間帯を指定します。
- ③ **検索** をクリックすると、指定時間内のログを表示します。
- ④ **エクスポート** をクリックして、ログをエクスポート・保存することができます。

5. チャート

右上の[チャート]タブを開きます。

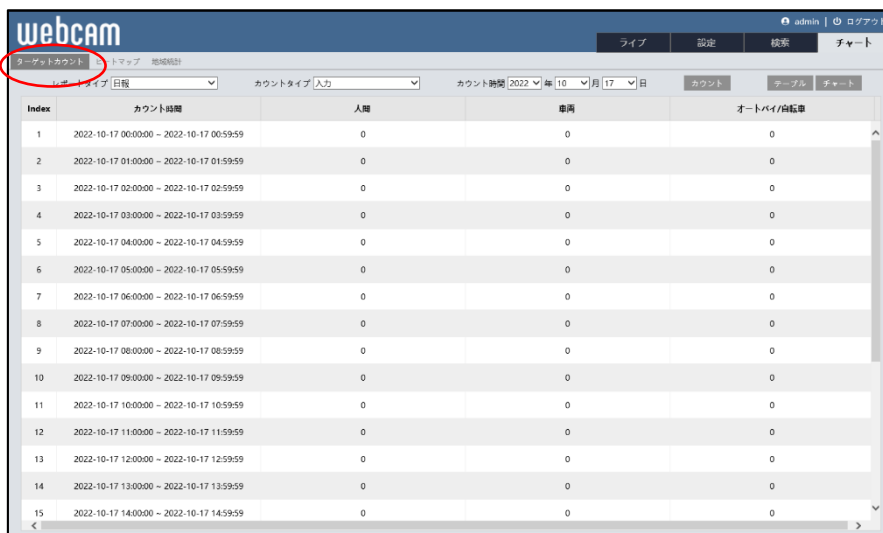


The screenshot shows the 'webcam' interface with the 'チャート' tab highlighted in red in the top right navigation bar. The main content area displays a table with the following data:

Index	カウント時間	人脚	車両	オートバイ/自転車
1	2022-10-17 00:00:00 ~ 2022-10-17 00:59:59	0	0	0
2	2022-10-17 01:00:00 ~ 2022-10-17 01:59:59	0	0	0
3	2022-10-17 02:00:00 ~ 2022-10-17 02:59:59	0	0	0
4	2022-10-17 03:00:00 ~ 2022-10-17 03:59:59	0	0	0
5	2022-10-17 04:00:00 ~ 2022-10-17 04:59:59	0	0	0
6	2022-10-17 05:00:00 ~ 2022-10-17 05:59:59	0	0	0
7	2022-10-17 06:00:00 ~ 2022-10-17 06:59:59	0	0	0
8	2022-10-17 07:00:00 ~ 2022-10-17 07:59:59	0	0	0
9	2022-10-17 08:00:00 ~ 2022-10-17 08:59:59	0	0	0
10	2022-10-17 09:00:00 ~ 2022-10-17 09:59:59	0	0	0
11	2022-10-17 10:00:00 ~ 2022-10-17 10:59:59	0	0	0
12	2022-10-17 11:00:00 ~ 2022-10-17 11:59:59	0	0	0
13	2022-10-17 12:00:00 ~ 2022-10-17 12:59:59	0	0	0
14	2022-10-17 13:00:00 ~ 2022-10-17 13:59:59	0	0	0
15	2022-10-17 14:00:00 ~ 2022-10-17 14:59:59	0	0	0

5.1 ターゲットカウント

左上のタブから[ターゲットカウント]タブを選択します。



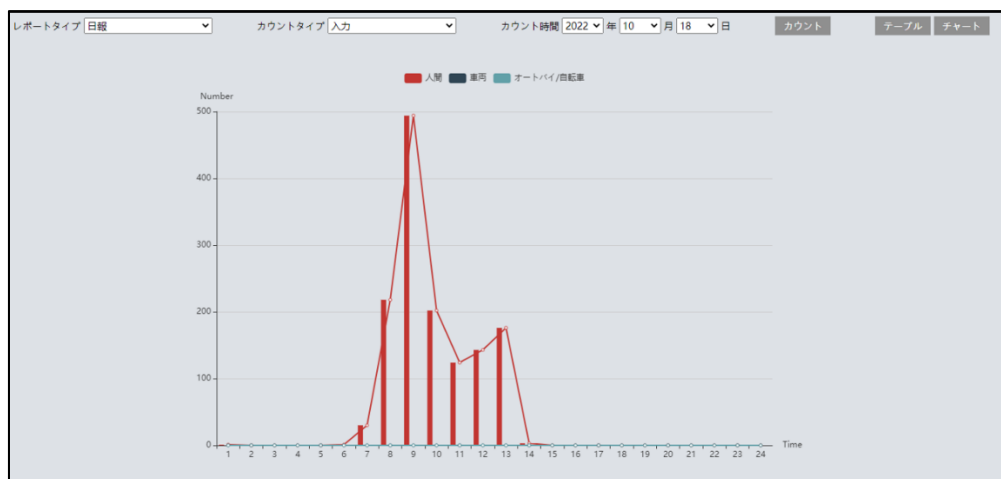
The screenshot shows the 'webcam' interface with the 'ターゲットカウント' tab highlighted in red in the top left navigation bar. The main content area displays a table with the following data:

Index	カウント時間	人脚	車両	オートバイ/自転車
1	2022-10-17 00:00:00 ~ 2022-10-17 00:59:59	0	0	0
2	2022-10-17 01:00:00 ~ 2022-10-17 01:59:59	0	0	0
3	2022-10-17 02:00:00 ~ 2022-10-17 02:59:59	0	0	0
4	2022-10-17 03:00:00 ~ 2022-10-17 03:59:59	0	0	0
5	2022-10-17 04:00:00 ~ 2022-10-17 04:59:59	0	0	0
6	2022-10-17 05:00:00 ~ 2022-10-17 05:59:59	0	0	0
7	2022-10-17 06:00:00 ~ 2022-10-17 06:59:59	0	0	0
8	2022-10-17 07:00:00 ~ 2022-10-17 07:59:59	0	0	0
9	2022-10-17 08:00:00 ~ 2022-10-17 08:59:59	0	0	0
10	2022-10-17 09:00:00 ~ 2022-10-17 09:59:59	0	0	0
11	2022-10-17 10:00:00 ~ 2022-10-17 10:59:59	0	0	0
12	2022-10-17 11:00:00 ~ 2022-10-17 11:59:59	0	0	0
13	2022-10-17 12:00:00 ~ 2022-10-17 12:59:59	0	0	0
14	2022-10-17 13:00:00 ~ 2022-10-17 13:59:59	0	0	0
15	2022-10-17 14:00:00 ~ 2022-10-17 14:59:59	0	0	0

表示	説明
レポートタイプ	レポートする単位を設定します。 日報: 1 日を時間単位で表示 週報: 1 週間を曜日単位で表示 月報: 1 月を日単位で表示 年報: 1 年を月単位で表示
カウントタイプ	“入力（入る）”と“置き去り（出る）”を選択します。
カウント時間	ターゲットカウントの開始日時を設定します。
カウント	設定したレポートタイプやカウントタイプ、日時で再計算します。
テーブル	表形式で表示します。
チャート	図形式で表示します。

図の表示方法

- ① [レポートタイプ]を選択します。
- ② [カウントタイプ]を選択します。
- ③ [カウント時間]で、カウントを開始する日時を設定します。
- ④ [カウント]ボタンをクリックして計算します。
- ⑤ [テーブル]または[チャート]をクリックすると表または図を表示します。



図の上部の[人間]、[車両]、[オートバイ/自転車]をクリックすることで表示・非表示を変更できます。

5.2 ヒートマップ

左上のタブから[ヒートマップ]タブを選択します。人間/車両/オートバイ・自転車を検知した場所が色付きで表示されます。



表示	説明
開始時間	ヒートマップの開始時間を設定します。
終了時間	ヒートマップの終了時間を設定します。
カウント <input type="button" value="カウント"/>	クリックすると設定した日時で再計算します。
種別	人間、車両、オートバイ・自転車から選択してください。
感度 <input type="range" value="100"/>	表示する感度を設定します。

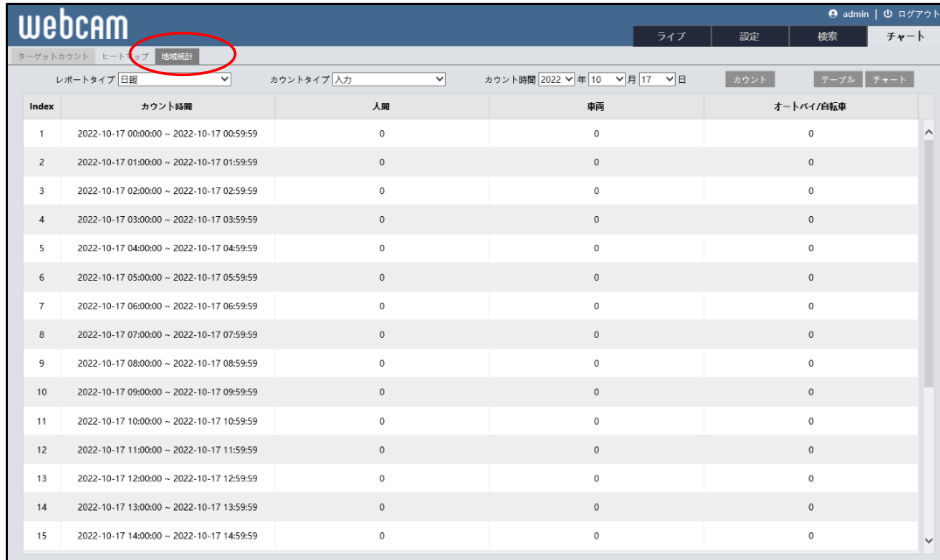
操作方法

- ① [開始時間]を設定します。
- ② [終了時間]を設定します。
- ③ [カウント]をクリックして、再計算及び画面表示を変更します。
- ④ [人間]、[車両]、[オートバイ/自転車]をクリックすると、各項目のヒートマップを選択できます。
- ⑤ 右下の[感度]のスライダを左右に動かす。または数値を手動で入力して表示する下限を変更します。



5.3 地域統計

左上のタブから[地域統計]タブを選択します。

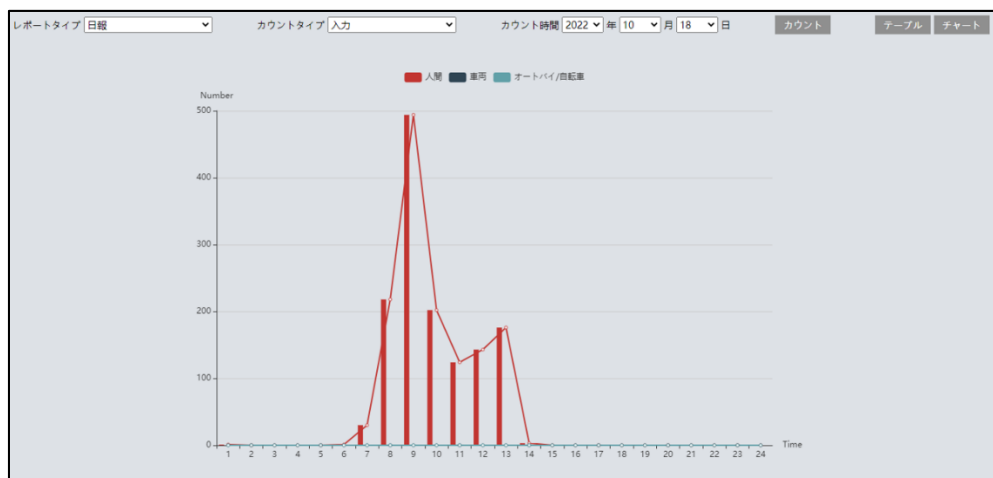


表示	説明
レポートタイプ	レポートする単位を設定します。 日報: 1 日を時間単位で表示 週報: 1 週間を曜日単位で表示 月報: 1 月を日単位で表示 年報: 1 年を月単位で表示
カウントタイプ	“入力（入る）”と“置き去り（出る）”を選択できます。
カウント時間	地域統計の開始日時を設定します。
カウント	<input type="button" value="カウント"/> 設定したレポートタイプやカウントタイプ、日時で再計算します。
テーブル	<input type="button" value="テーブル"/> 表形式で表示します。
チャート	<input type="button" value="チャート"/> 図形式で表示します。

図の表示方法

- ① [レポートタイプ]を選択します。
- ② [カウントタイプ]を選択します。
- ③ [カウント時間]で、カウントを開始する日時を設定します。
- ④ [カウント]ボタンをクリックして計算します。

- ⑤ [テーブル]または[チャート]をクリックすると表または図を表示します。

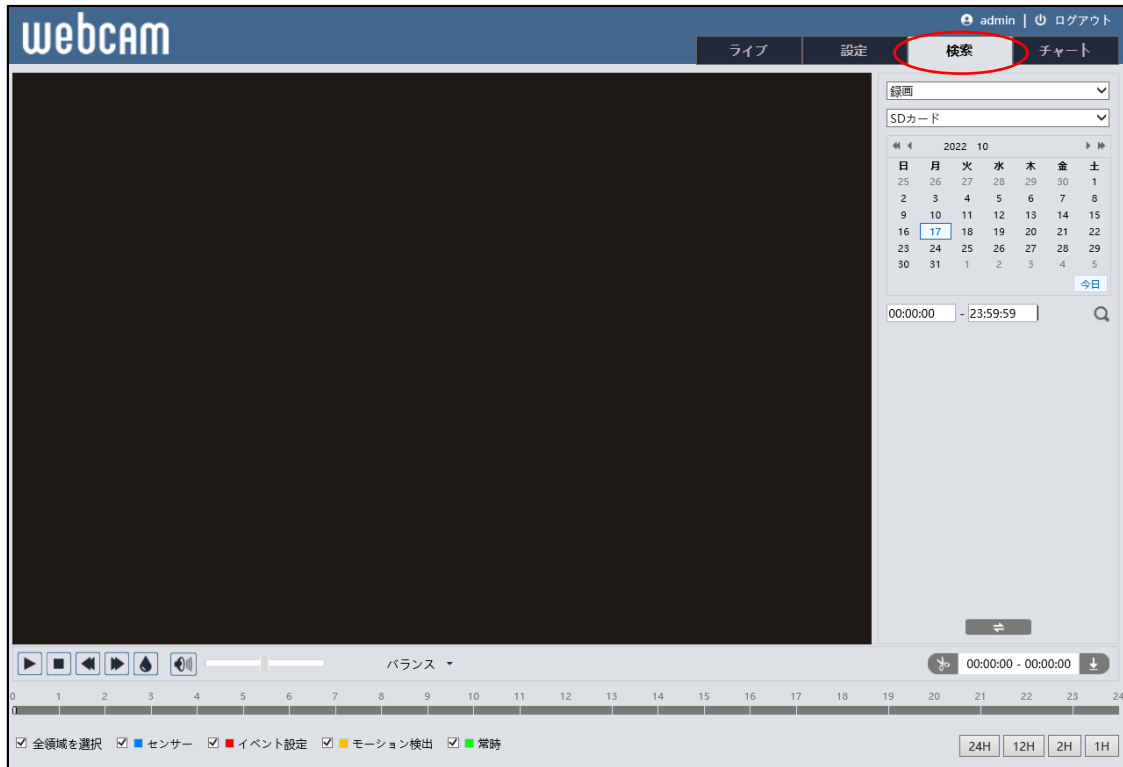


図の上部の[人間]、[車両]、[オートバイ/自転車]をクリックすることで表示・非表示を変更できます。

6. 検索

右上の[検索]タブを開きます。

ここでは、SD カードまたはローカル PC に保存されている録画と写真を表示できます。





6.1 録画検索

6.1.1 ローカル録画（動画）

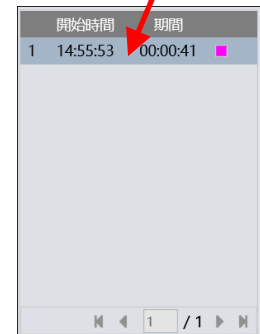
PC にローカル録画されているビデオは、ここで再生することができます。



検索方法

- ① 右上のドロップダウンメニューから、“録画”-“この PC”を選択します。
- ② 検索したい日を設定します。
※録画データがある日はカレンダーの数字が赤色になっています。
- ③ 検索時間と終了時間を設定します。
- ④  をクリックして、録画ファイルを検索します。
- ⑤ 検索後に表示する録画ファイルリスト内をダブルクリックすると再生を開始します。
- ⑥  で、検索前と検索後の画面を移動できます。
- ⑦ タイムテーブルは 24H / 12H / 2H / 1H 形式で表示できます。
(録画あり：ピンクの帯で表示しています)

ダブルクリックで再生開始



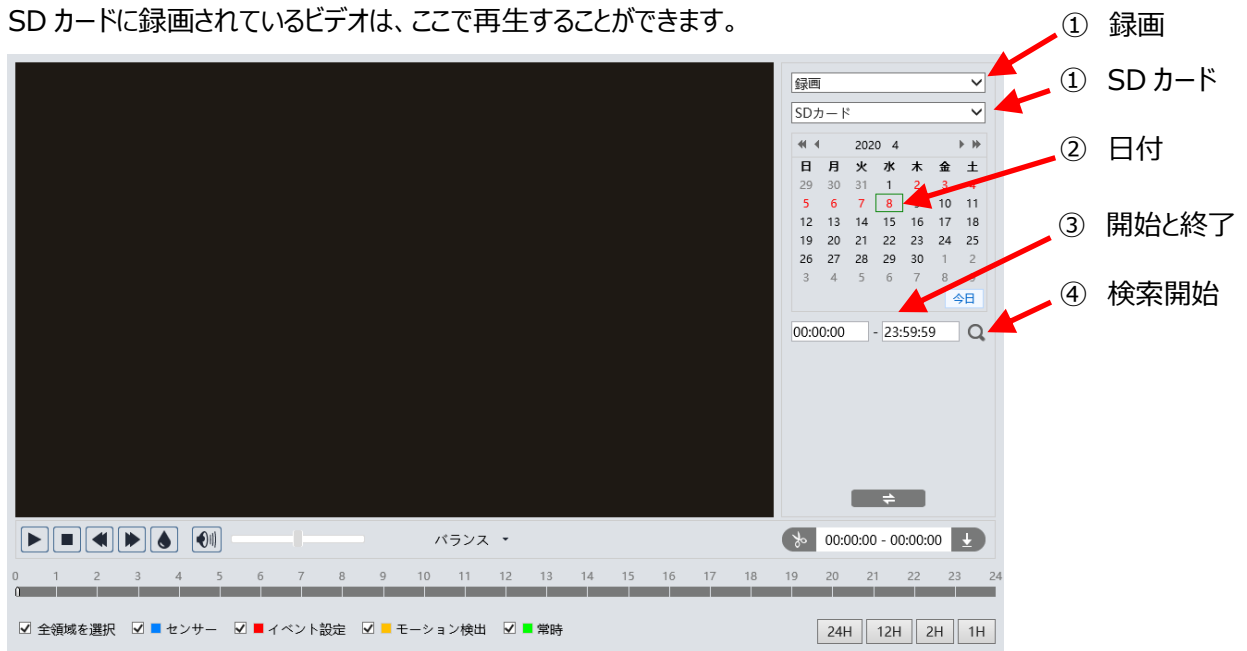
検索後に表示する録画
ファイルリスト

録画検索画面のアイコンを説明します。



アイコン	説明	アイコン	説明
	再生/一時停止ボタン		停止ボタン
	スピードダウン		スピードアップ
	電子透かし表示		スピーカ ON/OFF

6.1.2 SD カード録画（動画）

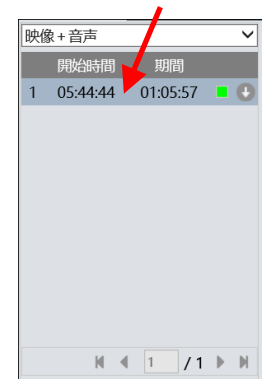
SD カードに録画されているビデオは、ここで再生することができます。



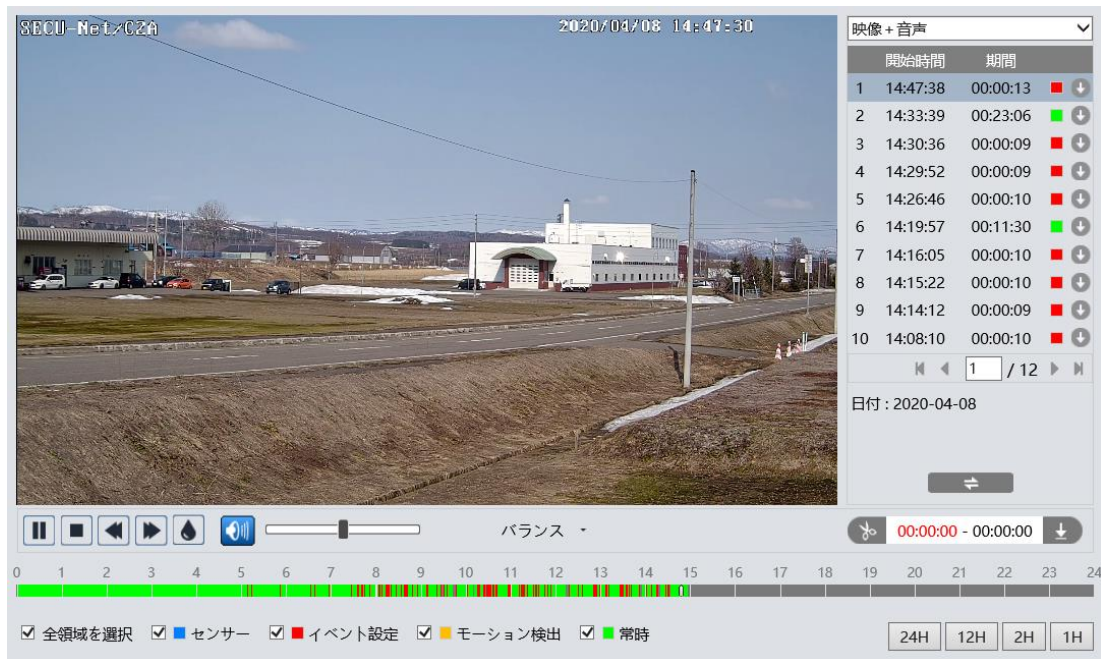
検索方法

- ① 右上のドロップダウンメニューから、“録画”-“SD カード”を選択します。
- ② 検索したい日を設定します。
※録画データがある日はカレンダーの数字が赤色になっています
- ③ 開始時間と終了時間を選択します。
- ④  をクリックして、録画ファイルを検索します。
- ⑤ ミックスストリーム(映像 + 音声)または、ビデオストリーム(映像のみ)を選択します。
- ⑥ 検索後に表示する録画ファイルリスト内のファイルをダブルクリックして再生を開始します。
- ⑦  で、検索前と検索後の画面を移動できます。
- ⑧ タイムテーブルは 24H / 12H / 2H / 1H 形式で表示できます。
センサー(青)、イベント設定(赤)、モーション検出(橙)、常時録画(緑)で色分けされています。




ダブルクリックで再生開始



検索後に表示する録画
ファイルリスト




ビデオクリップとダウンロード

- ① タイムテーブル上をクリックして、開始時間を選択します。
- ②  をクリックすると青色  に変わり、開始時間が設定されます。
- ③ 終了時間も①②と同様に行います。
- ④  をクリックして、PC にビデオファイルをダウンロードします。
- ⑤ ダウンロード中は、以下のような画面が表示されます。
 設定：PC の保存ディレクトリを指定 / パス：保存フォルダを開く
 キャンセル：ダウンロードの中止 / ON：ビデオを再生
 リストクリア：ダウンロードリストの削除 / OFF：ダウンロード画面を閉じる

Index	進捗	録画タイプ	開始時間	終了時間	パス	操作
1	10%	カット	2020-04-08 08:00:00	2020-04-08 08:10:02	NetAllIPCamera	キャンセル

設定 C:\Program Files\NetAllIPCamera

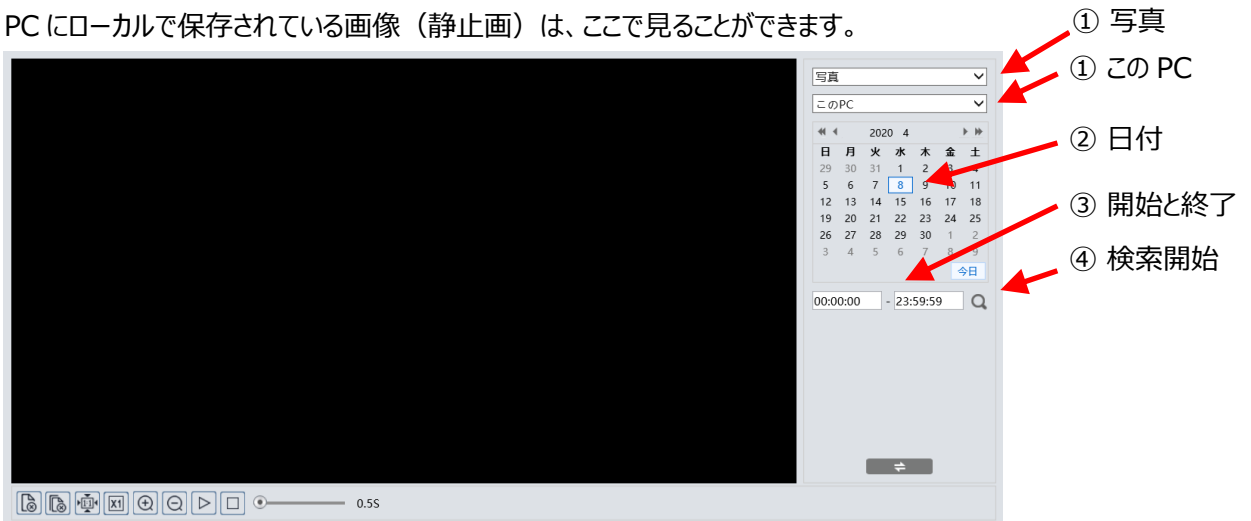
リストクリア OFF

※ ファイル横の  で、イベントごとにダウンロードすることもできます。



6.2 画像検索

6.2.1 ローカル画像（静止画）

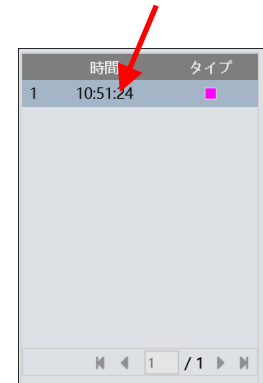
PC にローカルで保存されている画像（静止画）は、ここで見ることができます。



検索方法







- ① 右上のドロップダウンメニューから、“写真”-“この PC”を選択します。
- ② 検索したい日を設定します。
※画像データがある日はカレンダーの数字が赤色になっています。
- ③ 開始時間と終了時間を選択します。
- ④  をクリックして、画像ファイルを検索します。
- ⑤ 検索後に表示する画像ファイルリスト内をダブルクリックして、保存された画像を表示します。
- ⑥  をクリックすると、検索前と検索後の画面を移動できます。

ダブルクリックで画像を表示



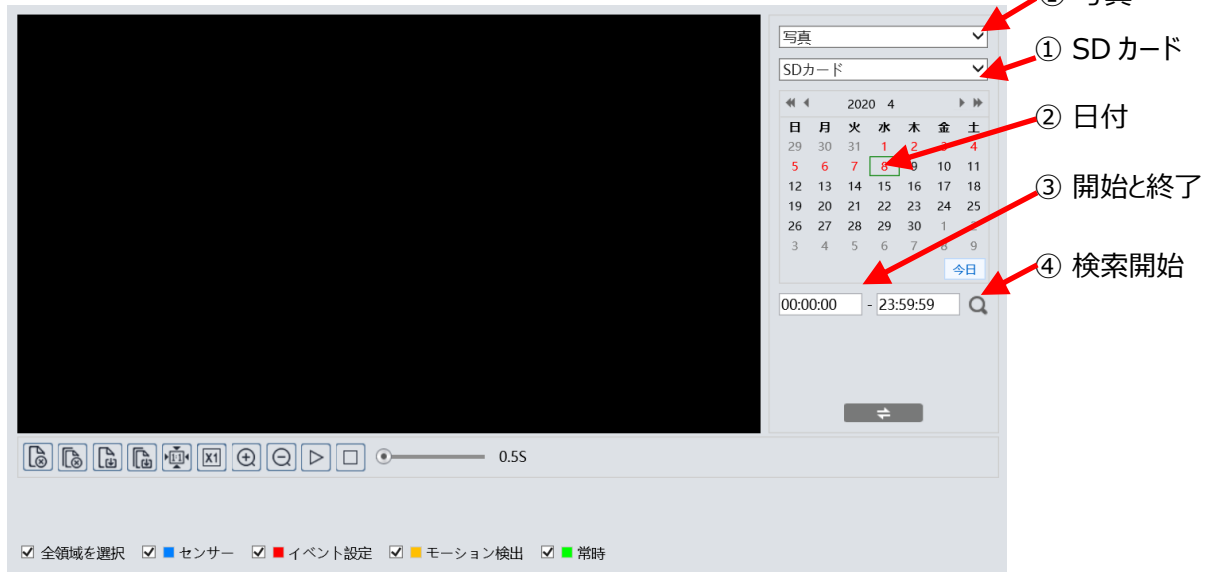
検索後に表示する画像
ファイルリスト

画像検索画面のアイコンを説明します。



アイコン	説明	アイコン	説明
	現在の画像を閉じる		すべての画像を閉じる
	現在の画像を保存		すべての画像を保存
	画面サイズに画像を調節する		実際の画像サイズ
	ズームイン/ズームアウト		スライドショー再生/一時停止
	スライドショー停止		スライドショーの再生速度

6.2.2 SD カード画像（静止画）

SD カードに保存されている画像（静止画）は、ここで見るすることができます。



検索方法

- ① 右上のドロップダウンメニューから、“写真”-“SD カード”を選択します。
- ② 検索したい日を設定します。
※画像データがある日はカレンダーの数字が赤色になっています。
- ③ 開始時間と終了時間を選択します。
- ④  をクリックして、画像ファイルを検索します。
- ⑤ 検索後に表示する画像ファイルリスト内をダブルクリックして、保存された画像を表示します。
- ⑥  をクリックすると、検索前と検索後の画面を移動できます。

ダブルクリックで画像を表示

	時間	タイプ
1	17:25:59	■
2	17:25:54	■
3	17:25:49	■
4	17:25:44	■
5	17:25:38	■
6	17:25:33	■
7	17:25:28	■
8	17:25:23	■
9	17:25:18	■
10	17:25:13	■

1 / 190

検索後に表示する画像
ファイルリスト



7. 製品仕様

●HIC-SB200/SB210

製品名	HIC-SB200	HIC-SB210
形状	バレット	ミニバレット
カメラ部		
撮像素子	1/2.8"2MP CMOS SENSOR (SONY STARVIS)	
最低被写体照度	Color : 0.005Lux@F1.6 AGC:ON / IR ON時:0Lux	
赤外線 LED	実装、照射距離 = 30~50m	
S/N 比	54dB 以上 (AGC OFF 時)	
レンズ	2.8~12mm 電動リモートレンズ (画角水平 103~32°)	2.8mm 固定焦点レンズ (画角水平 108°)
DAY&NIGHT	自動 / 昼間 / 夜 / スケジュール	
露出調整	自動 / マニュアル (シャッター・ゲイン)	
シャッター速度	自動(1/25~1/10,000) 手動 (1/3~1/10,000) 及びフリッカレス	自動(1/25~1/100,000) 手動 (1/3~1/100,000) 及びフリッカレス
ホワイトバランス	自動 / 屋内 / 屋外 / マニュアル	
DNR (ノイズ除去)	OFF / ON(LEVEL 0~255)	
WDR 機能	120dB OFF / ON(LEVEL 低、中、高)	
逆光補正(BLC)	OFF / BLC (エリア: 上 / 下 / 左 / 右 / センター) / HLC	
画像鮮明化	自動 / マニュアル	
その他の機能	ROI (8 エリア) 、プライバシーマスク (4 エリア) 、OSD (タイトル表示 / 時刻表示) 、縦モード撮影、画像回転 / 反転、SD カード録画	
スマート機能		
基本	モーション検知、妨害検知、異常検出 (ネットワーク接続、IP 競合、SD カードエラー)	
顔検出	最大 15 人/秒	
スマート検出	物体出現・消失、ライン越え、エリア侵入・退出、エリア内活動、ライン通過カウント、エリア内滞留カウント、ヒートマップ	
アラーム連携	SD カード録画、SD カード静止画保存、アラーム接点出力、FTP アップロード、E メール通知、ローカル録画、ローカル静止画保存	

DORI	Wide (2.8mm)	D:検出	O:観察	2.8mm	D:検出	O:観察	
		43m	17m		41.5m	16.6m	
		R:認識	I:識別		R:認識	I:識別	
		8.5m	4.3m		8.3m	4.2m	
	Tele (12mm)	D:検出	O:観察				
		140m	57m				
		R:認識	I:識別				
		28m	14m				
ネットワーク部							
画像圧縮方式		H.265S/H.265+/H.265/H.264S/H.264+/H.264/MJPEG					
音声圧縮		G711A/μ					
インターフェース規格		ONVIF (PROFILE S)					
画像サイズ	第 1 ストリーム	1920×1080 / 1280×720 / 640×480					
	第 2 ストリーム	1280×720 / 704×480 / 640×480 / 480×240 / 352×240					
	第 3 ストリーム	704×480 / 480×240 / 352×240					
フレームレート		1~30fps					
ビットレート		CBR / VBR (最大ビットレート設定 : 128kbps~6Mbps)					
プロトコル		UDP, IPv4, IPv6, DHCP, NTP, RTSP, RTP, RTCP, RTMP, ICMP, IGMP, FTP, PPPoE, DDNS, SMTP, SNMP, 802.1x, UPnP, HTTP, HTTPS, QoS					
同時アクセス数		6					
その他機能		オンラインユーザ表示、IP アドレスフィルタ、MAC アドレスフィルタ、パスワード保護、不正ログインロック、Edge/Chrome/FireFox 接続 (※注 1)、CMS/VMS 接続、モバイルアプリ接続					
外部インターフェース							
SD カードスロット		Micro SD / SDHC / SDXC (最大 128GB サポート)					
音声		入力 : 1 系統 (LINE) 出力 : 1 系統	入力 : 1 系統 (LINE) 出力 : 無し				
アナログ映像出力		BNC CVBS 1.0Vp-p (NTSC/PAL)	無し				
イーサネット		RJ-45 (10/100BASE-T)					
アラーム IN/OUT		入力 : 1 系統 / 出力 : 1 系統 ※無電圧接点制御	無し				
電源入力コネクタ		DC +12V (φ2.1mm 標準 DC ジャック)					

一般		
電源	DC12V(±10%)/ PoE IEEE802.3af	
消費電力 (最大)	IR LED OFF / AI OFF = 2.4W (DC12V / 200mA)	IR LED OFF / AI OFF = 2.16W (DC12V / 180mA)
	IR LED OFF / AI ON = 3.0W (DC12V / 250mA)	IR LED OFF / AI ON = 2.76W (DC12V / 230mA)
	IR LED ON / AI OFF = 6.72W (DC12V / 560mA)	IR LED ON / AI OFF = 4.44W (DC12V / 370mA)
	IR LED ON / AI ON = 7.2W (DC12V / 600mA)	IR LED ON / AI ON = 5.04W (DC12V / 420mA)
運用温度	-30℃～+60℃ (湿度 0%RH～90%RH)	
寸法	100(W) x85(H) x280(D) mm (突起部含まず)	81(W) x80(H) x218(D) mm (突起部含まず)
防水/防滴構造	IP67	
耐衝撃構造	未対応	
重量	1040 g	670 g
製品保証期間	1 年間	

注 1 : Edge/Chrome/FireFox 接続では、SD カード録画のダウンロードはできません。カメラのフル機能を操作するためには、Edge の IE 互換モードでの運用を推奨します。

●HIC-SD200/SD210

製品名	HIC-SD200	HIC-SD210
形状	バンダルドーム	ミニバンダルドーム
カメラ部		
撮像素子	1/2.8"2MP CMOS SENSOR (SONY STARVIS)	
最低被写体照度	Color : 0.005Lux@F1.6 AGC:ON / IR ON 時:0Lux	
赤外線 LED	実装、照射距離 = 30~50m	実装、照射距離 = 20~30m
S/N 比	54dB 以上 (AGC OFF 時)	
レンズ	2.8~12mm 電動リモートレンズ (画角水平 103~32°)	2.8mm 固定焦点レンズ (画角水平 108°)
DAY&NIGHT	自動 / 昼間 / 夜 / スケジュール	
露出調整	自動 / マニュアル (シャッター・ゲイン)	
シャッター速度	自動(1/25~1/10,000) 手動 (1/3~1/10,000) 及びフリッカレス	自動(1/25~1/100,000) 手動 (1/3~1/100,000) 及びフリッカレス
ホワイトバランス	自動 / 屋内 / 屋外 / マニュアル	
DNR (ノイズ除去)	OFF / ON(LEVEL 0~255)	
WDR 機能	120dB OFF / ON(LEVEL 低、中、高)	
逆光補正(BLC)	OFF / BLC (エリア: 上 / 下 / 左 / 右 / センター) / HLC	
画像鮮明化	自動 / マニュアル	
その他の機能	ROI (8 エリア) 、プライバシーマスク (4 エリア) 、OSD (タイトル表示 / 時刻表示) 、縦モード撮影、画像回転 / 反転、SD カード録画	
スマート機能		
基本	モーション検知、妨害検知、異常検出 (ネットワーク接続、IP 競合、SD カードエラー)	
顔検出	最大 15 人/秒	
スマート検出	物体出現・消失、ライン越え、エリア侵入・退出、エリア内活動、ライン通過カウント、エリア内滞留カウント、ヒートマップ	
アラーム連携	SD カード録画、SD カード静止画保存、アラーム接点出力、FTP アップロード、E メール通知、ローカル録画、ローカル静止画保存	

DORI	Wide (2.8mm)	D:検出	O:観察	2.8mm	D:検出	O:観察	
		43m	17m		41.5m	16.6m	
		R:認識	I:識別		R:認識	I:識別	
		8.5m	4.3m		8.3m	4.2m	
	Tele (12mm)	D:検出	O:観察				
		140m	57m				
		R:認識	I:識別				
		28m	14m				
ネットワーク部							
画像圧縮方式		H.265S/H.265+/H.265/H.264S/H.264+/H.264/MJPEG					
音声圧縮		G711A/μ					
インターフェース規格		ONVIF (PROFILE S)					
画像サイズ	第 1 ストリーム	1920×1080 / 1280×720 / 640×480					
	第 2 ストリーム	1280×720 / 704×480 / 640×480 / 480×240 / 352×240					
	第 3 ストリーム	704×480 / 480×240 / 352×240					
フレームレート		1~30fps					
ビットレート		CBR / VBR (最大ビットレート設定 : 128kbps~6Mbps)					
プロトコル		UDP, IPv4, IPv6, DHCP, NTP, RTSP, RTP, RTCP, RTMP, ICMP, IGMP, FTP, PPPoE, DDNS, SMTP, SNMP, 802.1x, UPnP, HTTP, HTTPS, QoS					
同時アクセス数		6					
その他機能		オンラインユーザ表示、IP アドレスフィルタ、MAC アドレスフィルタ、パスワード保護、不正ログインロック、Edge/Chrome/FireFox 接続 (※注 1)、CMS/VMS 接続、モバイルアプリ接続					
外部インターフェース							
SD カードスロット		Micro SD / SDHC / SDXC (最大 128GB サポート)					
音声		入力 : 1 系統 (LINE/内蔵 MIC) 出力 : 1 系統	入力 : 1 系統 (LINE/内蔵 MIC) 出力 : 無し				
アナログ映像出力		BNC CVBS 1.0Vp-p (NTSC/PAL)	無し				
イーサネット		RJ-45 (10/100BASE-T)					
アラーム IN/OUT		入力 : 1 系統 / 出力 : 1 系統 ※無電圧接点制御	入力 : 1 系統 / 出力 : 1 系統 ※無電圧接点制御				
電源入力コネクタ		DC +12V (φ2.1mm 標準 DC ジャック)					

一般		
電源	DC12V(±10%)/ PoE IEEE802.3af	
消費電力 (最大)	IR LED OFF / AI OFF = 2.4W (DC12V / 200mA)	IR LED OFF / AI OFF = 2.16W (DC12V / 180mA)
	IR LED OFF / AI ON = 3.0W (DC12V / 250mA)	IR LED OFF / AI ON = 2.76W (DC12V / 230mA)
	IR LED ON / AI OFF = 6.72W (DC12V / 560mA)	IR LED ON / AI OFF = 4.44W (DC12V / 370mA)
	IR LED ON / AI ON = 7.2W (DC12V / 600mA)	IR LED ON / AI ON = 5.04W (DC12V / 420mA)
運用温度	-30℃～+60℃ (湿度 0%RH～90%RH)	
寸法	141(φ) x100(H)mm (突起部含まず)	119(φ) x87(H) mm (突起部含まず)
防水/防滴構造	IP67	
耐衝撃構造	IK10	
重量	890 g	650 g
製品保証期間	1 年間	

注 1 : Edge/Chrome/FireFox 接続では、SD カード録画のダウンロードはできません。カメラのフル機能を操作するためには、Edge の IE 互換モードでの運用を推奨します。

8. 困ったときには

本製品の使用中に何らかのトラブルが発生したときの対処方法について説明いたします。

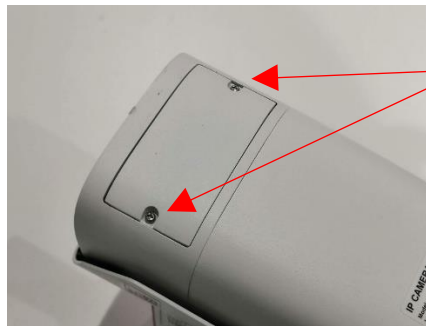
パスワードを忘れたときの対処方法

- デバイスを出荷時のデフォルト設定にリセットします。

※ デフォルト IP : 192.168.226.201 / ユーザー名 : admin / パスワード : 123456

カメラのリセットボタンを押して工場出荷状態に戻す方法（HIC-SB200 の場合）

- ① ドライバでカバーを外す。



ドライバで外す（2 か所）

- ② リセットスイッチを 10 秒以上長押しする。



細い棒で 10 秒以上長押しする

- ③ カメラが再起動して初期値に戻ります。
- ④ カバーを元通りに取付けます。※ゴムパッキンを挟まないよう注意してカバーを取付けます。

カメラのリセットボタンを押して工場出荷状態に戻す方法（HIC-SD200 の場合）

- ① 黒いカバーを外す。六角レンチでドームカバーを外す。



六角レンチで外す（4か所）

- ② リセットスイッチを 10 秒以上長押しする。




細い棒で 10 秒以上長押しする

- ③ カメラが再起動して初期値に戻ります。
④ ドームカバーを元通りに取付けます。※ゴムパッキンを挟まないよう注意して取付けます。

本機から YouTube Live 配信設定手順

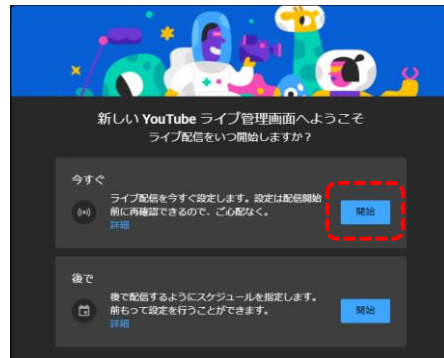
- (1) YouTube を開いて Google アカウントでログインします。



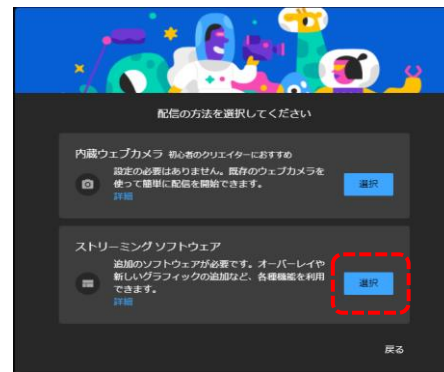
- (2)  をクリックして、「ライブ配信を開始」をクリックします。 ※チャンネルの確認をまだ行っていない場合は、画面の指示に沿ってチャンネルの確認を完了させます。ライブ配信が最初に有効になるまで、最大 24 時間かかることがあります。



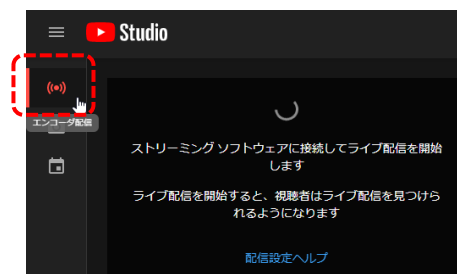
- (3) 「新しい YouTube ライブ管理画面へようこそ」が表示されたら、今すぐ「開始」をクリックします。



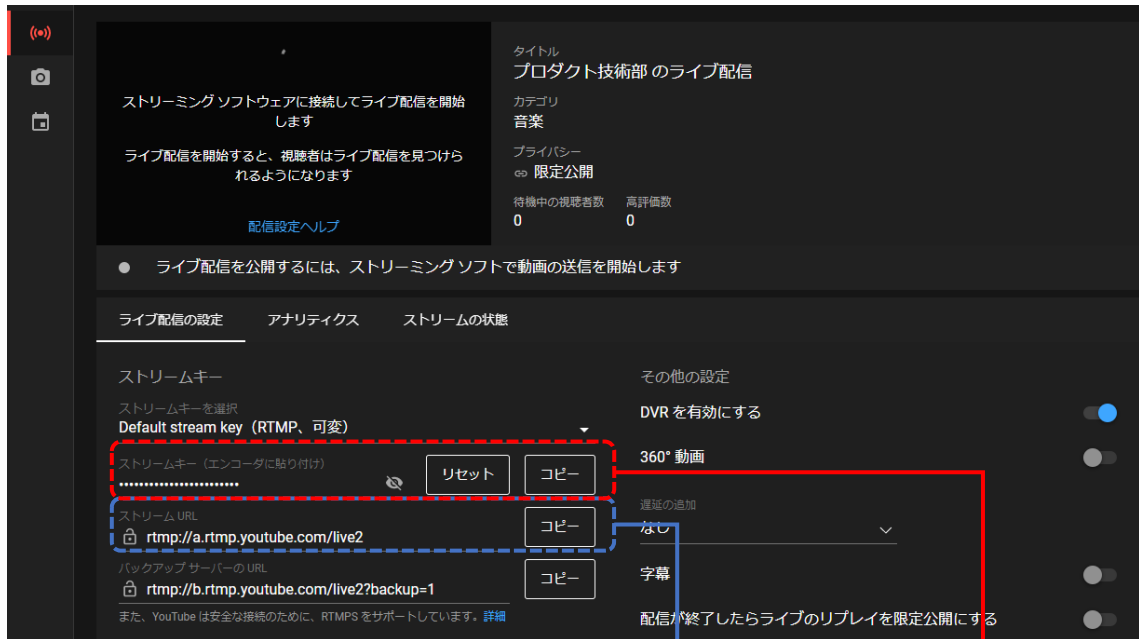
- (4) 「配信方法を選択してください」が表示されたら、「ストリーミングソフトウェア」を選択します。



- (5) YouTube Studio の画面が開くので、エンコーダ配信ボタンをクリックします。



(6) エンコーダ配信の画面にて、ストリーム URL とストリームキーをコピーします。



rtmp://a.rtmp.youtube.com/live2/abcd-efgh-ijkl-mnop-qrst
 後ほど使用しますので、ストリーム URL とストリームキーは/で区切って、
 メモ帳などに記録しておいてください。

(7) カメラに YouTube 配信に使用するストリームを設定します。

ストリーム設定は「[4.2.2 映像/音声](#)」で設定します。通信回線の速度に応じて、最適な設定を行います。ビデオ圧縮は必ず、「**H.264**」を設定する必要があります。

設定ホーム ▶ 画像設定 ▶ 映像/音声

Index	ストリーム名	解像度	フレームレ	ビットレート	ビットレ	ビデオ品質	フレーム間隔	ビデオ圧縮	プロファイル
1	第1ストリーム	1920x1080	30	CBR	3072	中	120	H264	High Profile
2	第2ストリーム	704x480	30	CBR	768	中	120	H264	High Profile
3	第3ストリーム	352x240	30	CBR	512	中	120	H264	High Profile

- (8) カメラのネットワーク設定 (RTMP) に YouTube Studio でメモしたストリーム URL/ストリームキーを設定します。

設定ホーム ▶ ネットワーク設定 ▶ 高度な設定

ポート サーバー ONVIF DDNS SNMP 802.1X RTSP **RTMP** UPnP Email FTP HTTP POST HTTPS QoS

有効 (H264のみをサポート)

ストリーム形式 第1ストリーム 第2ストリーム 第3ストリーム

タイムアウト後に再接続する 30 秒

サーバアドレス example: rtmp://127.0.0.1:1935/live/liv

接続状態 接続されていません 更新

保存

rtmp://a.rtmp.youtube.com/live2/abcd-efgh-ijkl-mnop-qrst
Youtube Studio でメモしたストリーム URL/ストリームキーを貼り付ける。

「接続完了」の表示になれば YouTube との接続は完了です。

(9) カメラからの RTMP 接続が正常に行われている場合、ライブ配信が開始され、以下のような画面となります。ライブ配信を終了したい場合は、画面右上の“ライブ配信を終了” ボタンをクリックします。

編集ボタンをクリックすることで、動画のタイトル、概要欄の編集、また、公開範囲の設定等が行えます。

ライブ配信を終了

画像を右クリックすると
・動画の URL/・埋め込みコード
がコピーできます。

動画を右クリックすると
・動画の URL をコピー
・埋め込みコードをコピー
・デバッグ情報をコピー
・再生に関する問題をトラブルシューティングする
・詳細統計情報

ボタンをクリックすると、動画リンクを取得出来ます。

ライブ配信の共有

動画リンク
<https://youtu.be/MKh4bYBFCUw>
動画のリンクをコピー
閉じる

動画リンクをコピー

設定を編集

詳細
カスタマイズ

タイトル (必須) ①
HICカメラのライブ配信

説明 ②
このライブ配信について視聴者に詳しく説明しましょう

公開設定
● 限定公開
○ 非公開
○ 公開

・限定公開 (リンクを知っている人だけが見れる)
・非公開
・公開 (誰でも見られる)
が選択出来ます。

本体の電源が入らない

以下の点を確認してください。

- 電源コンセントには、電源が供給されているか。
- 電源には、適切な電圧が供給されているか。
- 正しいポートに、電圧が供給されているか。

RJ-45 ポートでリンクが確立しない

以下の点を確認してください。

- 接続先の機器の電源は入っているか。
- 各コネクタとケーブルが正しく接続されているか。

IE ブラウザ経由でデバイスを接続できない

以下の点を確認してください。

- ネットワークが正しく接続されていることを確認してください。
- IP が利用できない可能性(IP の競合など)があります。有効な IP にリセットしてください。
- Web ポート番号が改定されました。管理者に連絡して、正しいポート番号を取得してください。

※ 上記の 3 つの理由以外の場合、IP-Tool でデフォルト設定に戻します。

デフォルト IP : 192.168.226.201 / サブネットマスク : 255.255.255.0

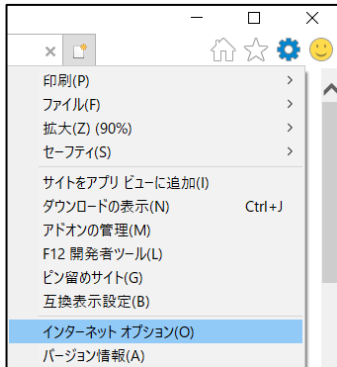
IP-Tool でデバイスを見つけられない

- コンピュータのウイルス対策ソフトウェアが原因である可能性があります。終了して、デバイスを再度検索してください。

IE が ActiveX コントロールをダウンロードできない

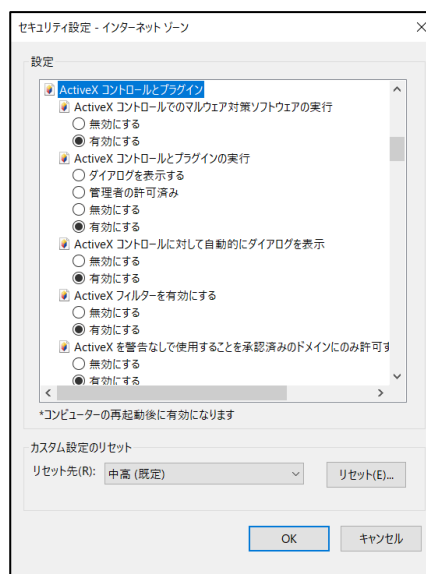
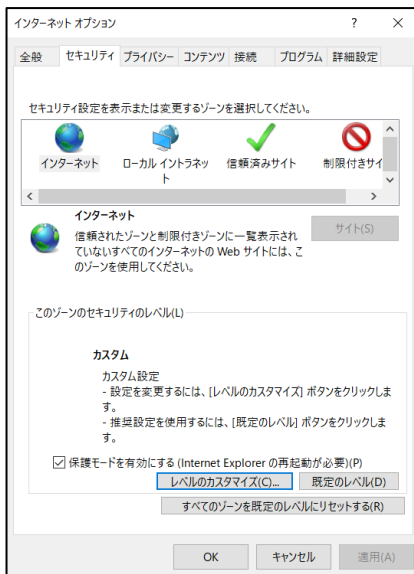
- IE ブラウザが ActiveX をブロックしている可能性があります。以下のようにお試しください。

- ① IE ブラウザを開きます。右上のツール  → インターネットオプションをクリックします。



- ② [セキュリティ]タブの[レベルのカスタマイズ]を選択します。(左図)

- ③ 「ActiveX コントロールとプラグイン」下の、すべてのサブオプションを有効にします。(右図)



- ④ OK をクリックして、設定を終了します。

- 他のプラグインまたは ActiveX がアンチウイルスブロックされています。アンインストールするか閉じてください。

9. 製品保証

- ◆ 故障かなと思われた場合には、弊社カスタマサポートまでご連絡ください。
 - 1) 修理を依頼される前に今一度、この取扱説明書をご確認ください。
 - 2) 本製品の保証期間内の自然故障につきましては無償修理させていただきます
 - 3) 故障の内容により、修理ではなく同等品との交換にさせて頂く事があります。
 - 4) 弊社への送料はお客様の負担とさせていただきますのでご了承ください。

初期不良保証期間：

ご購入日より **3ヶ月間** (弊社での状態確認作業後、交換機器発送による対応)

製品保証期間：

《本体》ご購入日より **1年間**(お預かりによる修理、または交換対応)

- ◆ 保証期間内であっても、以下の場合は有償修理とさせていただきます。
(修理できない場合もあります)
 - 1) 使用上の誤り、お客様による修理や改造による故障、損傷
 - 2) 自然災害、公害、異常電圧その他外部に起因する故障、損傷
 - 3) 本製品に水漏れ・結露などによる腐食が発見された場合
- ◆ 保証期間を過ぎますと有償修理となりますのでご注意ください。
- ◆ 一部の機器は、設定を本体内に記録する機能を有しております。これらの機器は修理時に設定を初期化しますので、お客様が行った設定内容は失われます。恐れ入りますが、修理をご依頼頂く前に、設定内容をお客様にてお控えください。
- ◆ 本製品に起因する損害や機会の損失については補償致しません。
- ◆ 修理期間中における代替品の貸し出しは、基本的に行っておりません。別途、有償サポート契約にて対応させて頂いております。有償サポートにつきましてはお買い上げの販売店にご相談ください。
- ◆ 本製品の保証は日本国内での使用においてのみ有効です。

製品に関するご質問・お問い合わせ先

ハイテクインター株式会社

カスタマサポート

TEL 0570-060030

E-mail support@hytec.co.jp

受付時間 平日 9 : 00 ~ 17 : 00